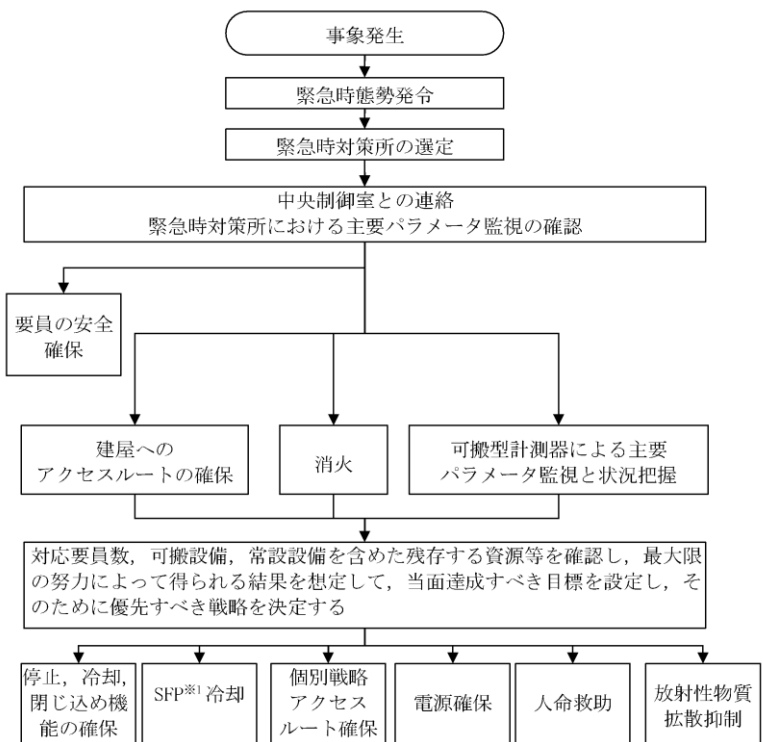
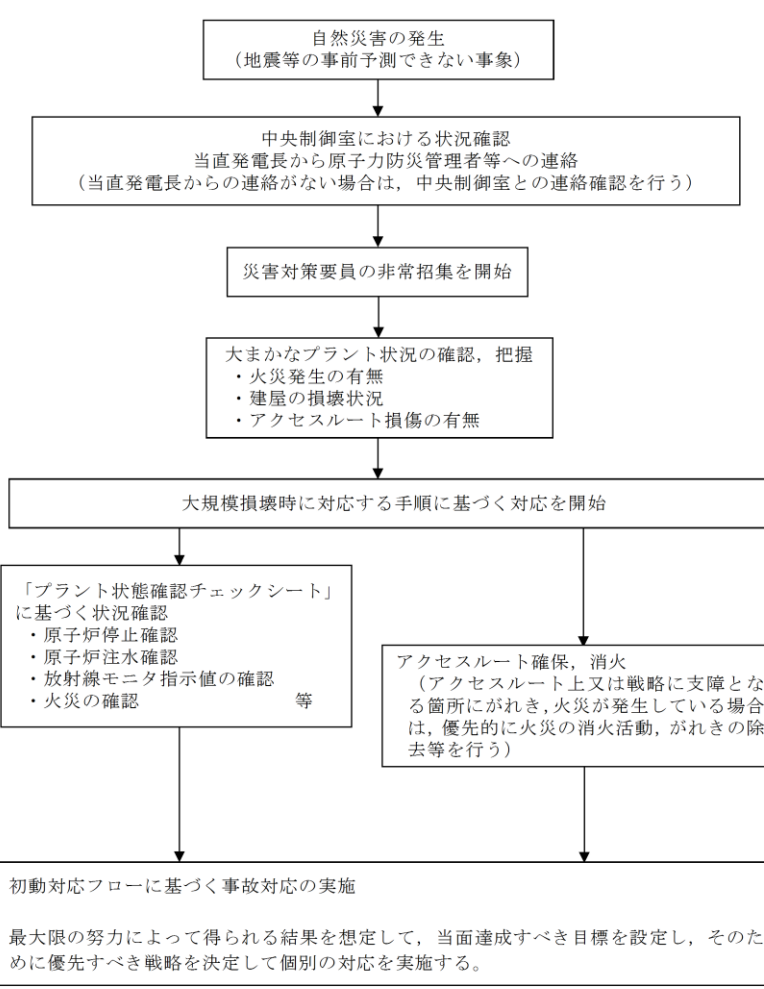
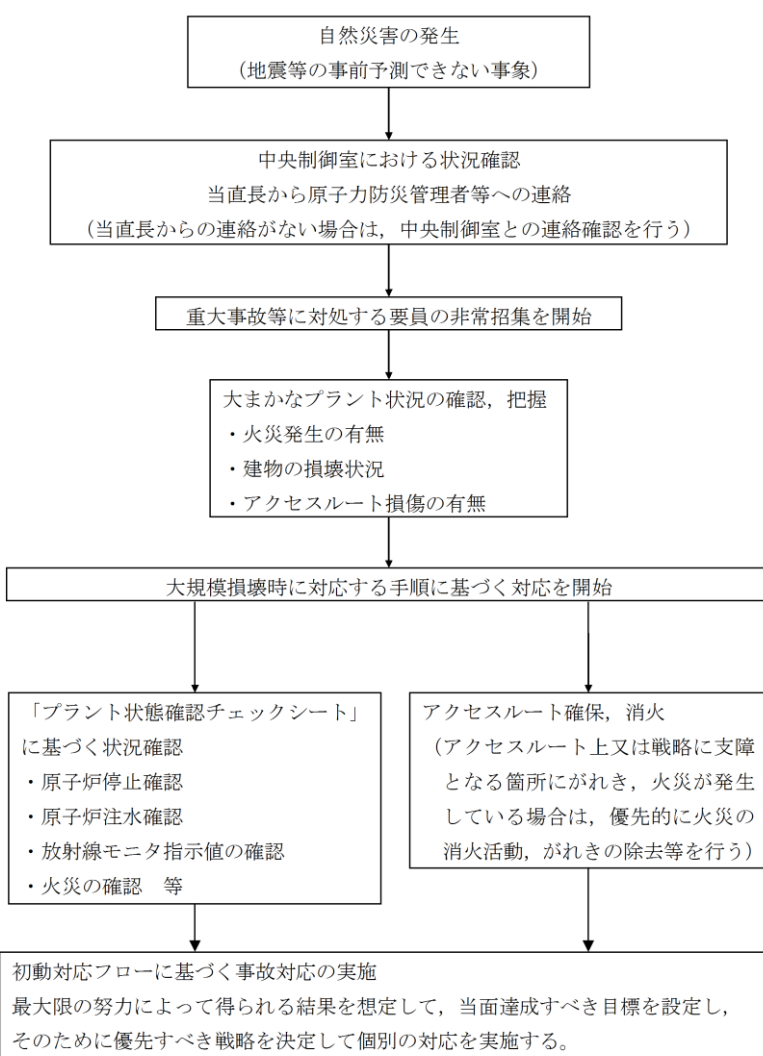
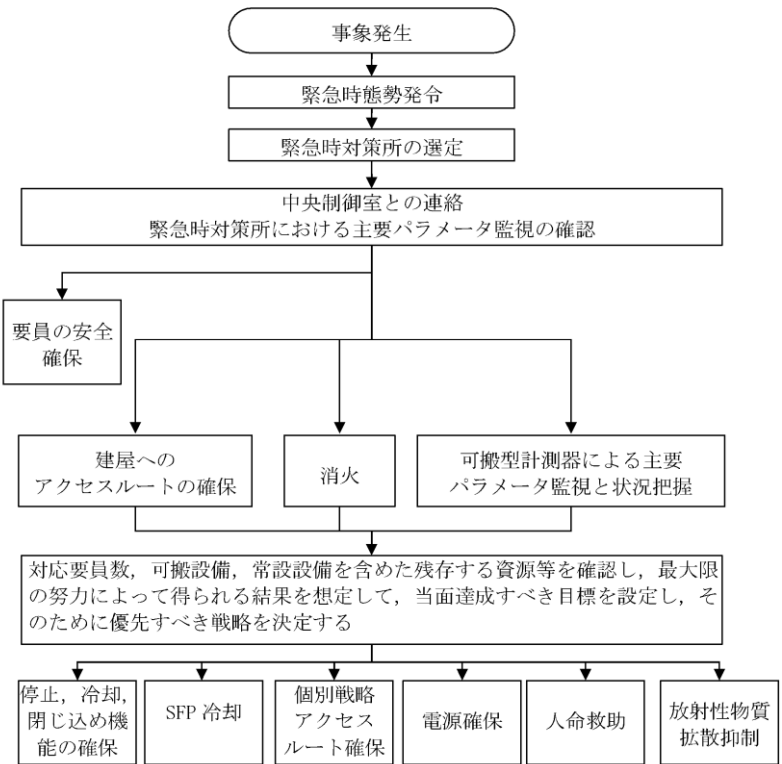
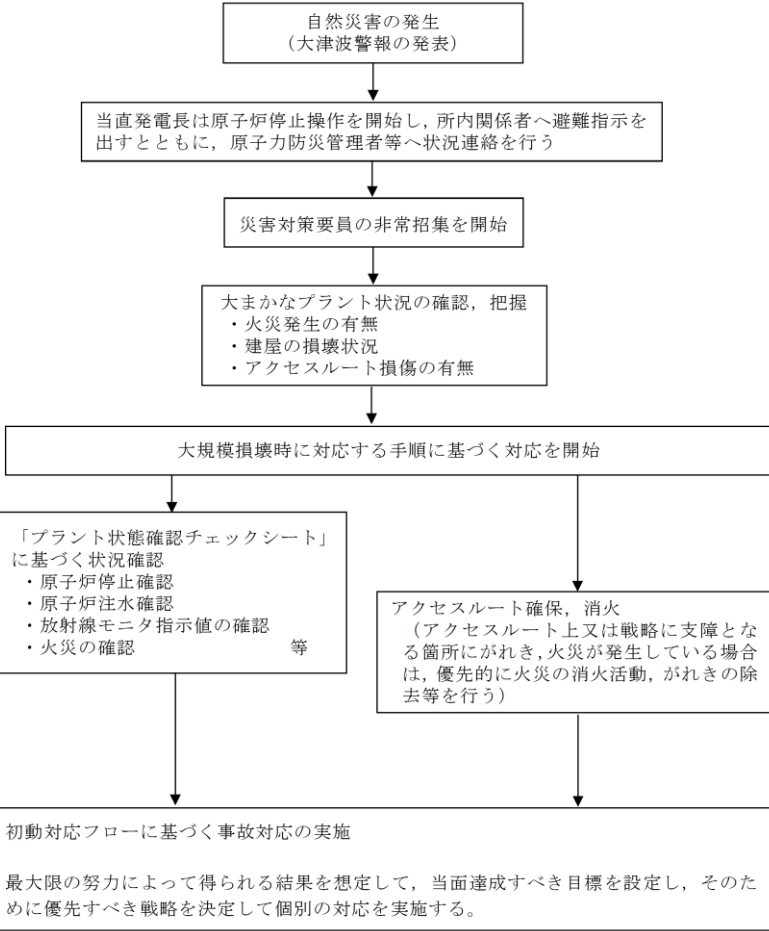
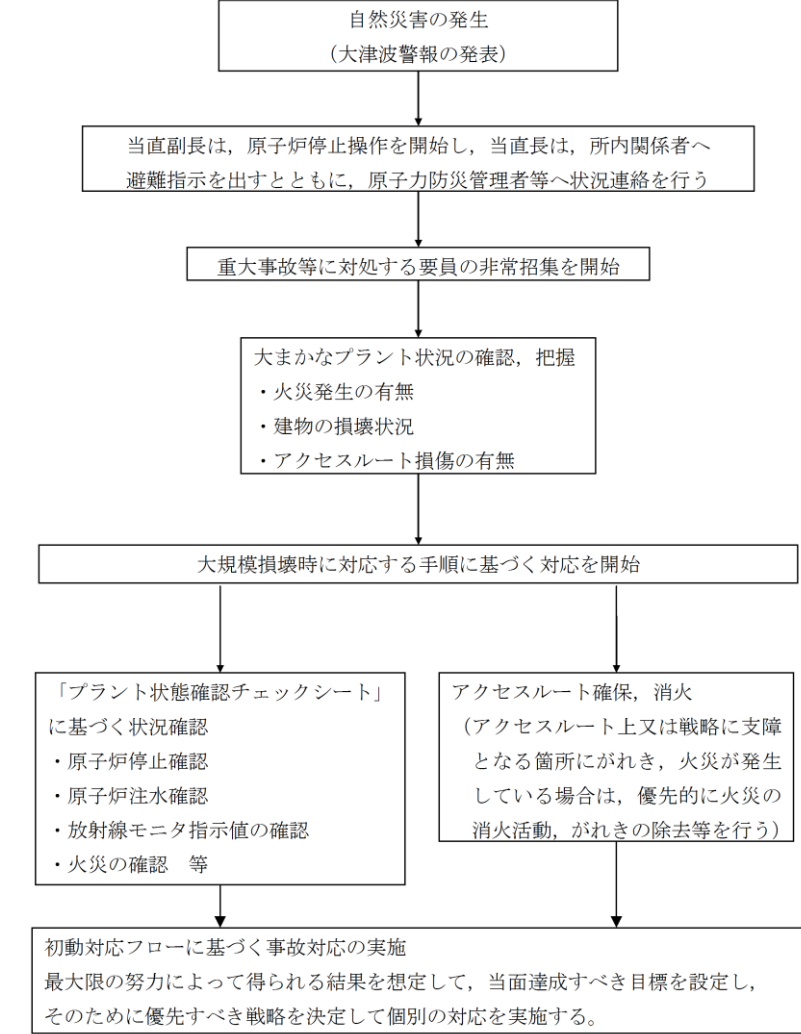


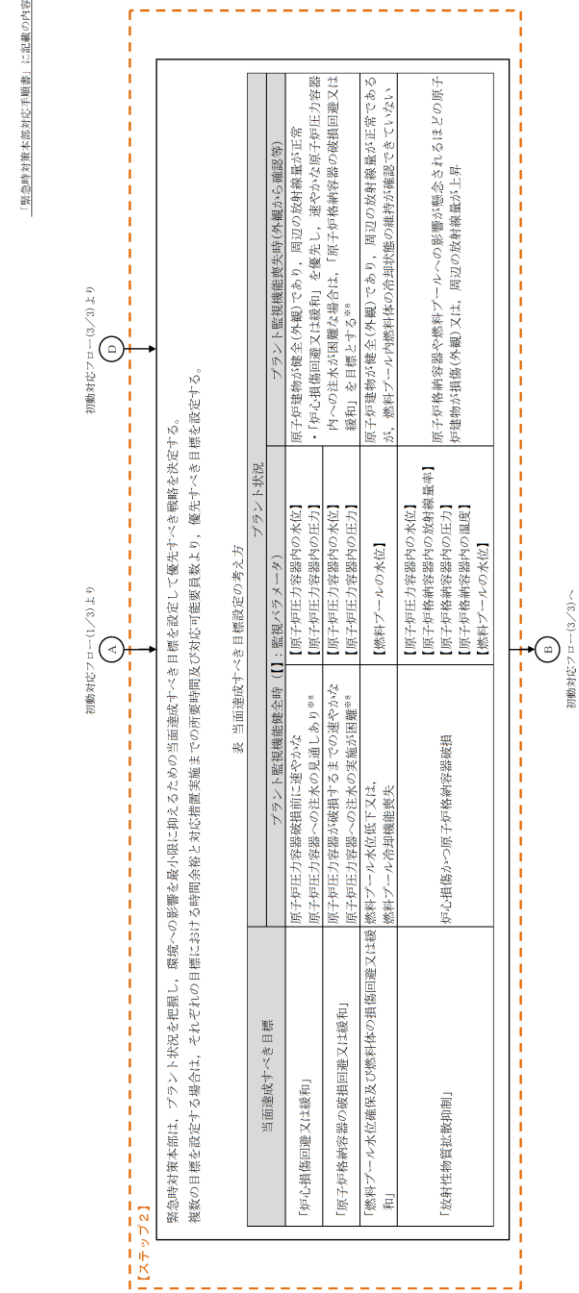
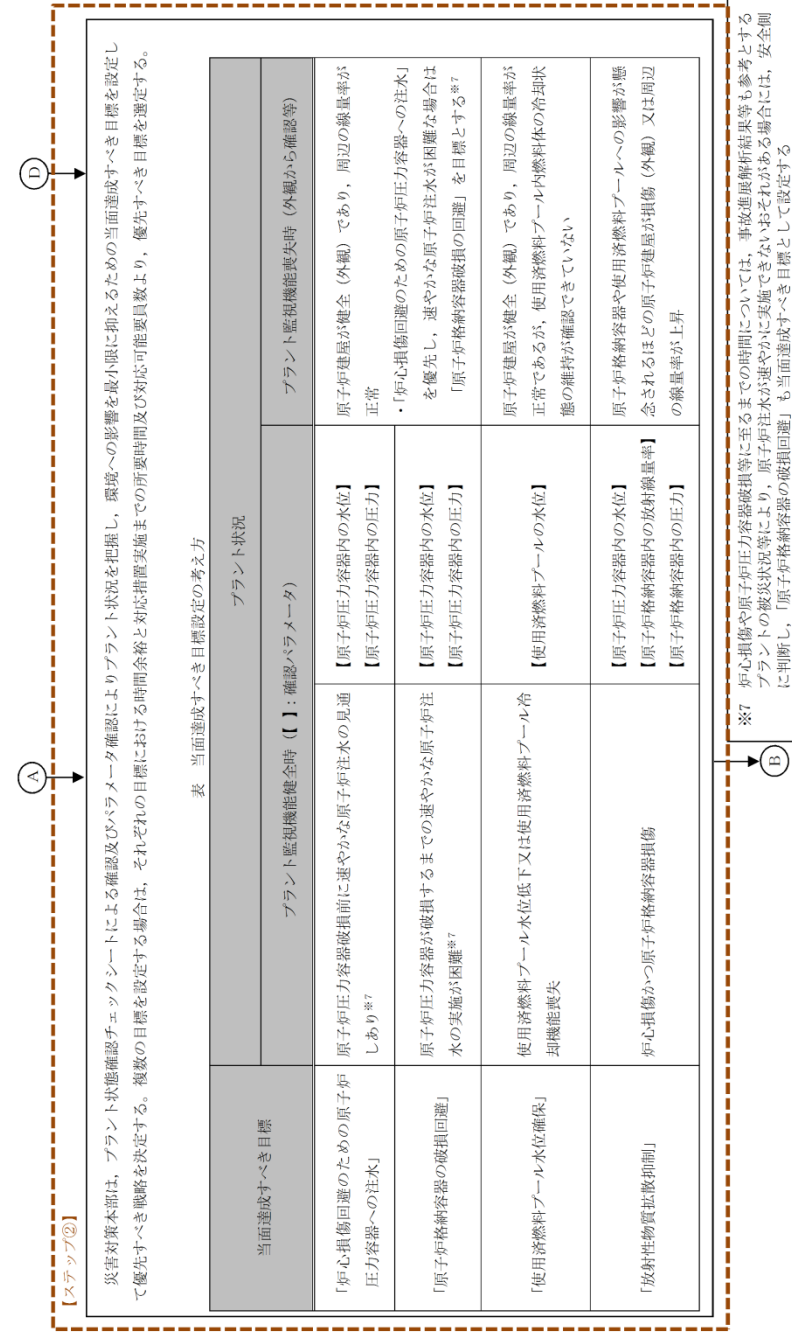
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: right;">添付資料 2. 1. 11</p> <p style="text-align: center;">大規模損壊発生時の対応</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム発生時の対応概要</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊発生時には、プラントの監視及び制御機能の喪失や大型航空機衝突等による大規模火災等の発生が想定され、このような状況において、初動対応を行う上で最も優先すべきはプラントの状況を把握することである。</p> <p>このため、事象が発生した場合、<u>発電所対策本部</u>は、中央制御室の状況、大まかなプラント状況の確認、把握を可能な範囲で行った後、速やかに「プラント状態確認チェックシート」を用いて、具体的にプラント被災状況、対応可能要員の把握等を行う。</p> <p><u>当該号炉に関する対応操作の優先順位付けや実施の判断は、一義的に事故発生号炉の当直副長が行う。万一、中央制御室の機能喪失時や中央制御室との連絡が取れない場合等、当直副長の指揮下で対応できない場合には、発電所対策本部長は、当該号炉の運転員又は発電所対策本部の号機班の中から当該号炉の対応操作の責任者を定め対応に当たらせる。</u></p> <p><u>当直副長又は当該号炉の対応操作の責任者が判断した結果及びそれに基づき実施した監視や操作については、発電所対策本部に報告し、各機能班の責任者（統括又は班長）は、その時点における他号炉の状況、リソースや対応の優先順位付け等を判断し、必要な支援や対応を行う。</u></p> <p><u>また、発電所対策本部は、プラントの影響予測を行い、その結果を基に各機能の責任者は必要となる対応を予想して先行的に準備を行う。</u></p> <p><u>発電所対策本部長は、これらの情報を収集し、発電所全体の対応について総括的な責任を担う。</u></p> <p>以下に、初期対応の概要、<u>発電所対策本部で使用する対応フロー</u>、プラント状態確認チェックシートを示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2. 1. 10</p> <p style="text-align: center;">大規模損壊発生時の対応</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム発生時の対応概要</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊発生時には、プラントの監視及び制御機能の喪失や航空機墜落等による大規模火災等の発生が想定され、このような状況において、初動対応を行う上で最も優先すべきはプラントの状況を把握することである。</p> <p>このため、事象が発生した場合、<u>災害対策本部</u>は、中央制御室の状況、大まかなプラント状況の確認、把握を可能な範囲で行った後、速やかに「プラント状態確認チェックシート」を用いて、具体的にプラント被災状況、対応可能要員の把握等を行う。</p> <p>以下に、初期対応の概要、大規模損壊発生時対応フロー、プラント状態確認チェックシートを示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2. 1. 11</p> <p style="text-align: center;">大規模損壊発生時の対応</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム発生時の対応概要</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊発生時には、プラントの監視及び制御機能の喪失や航空機墜落等による大規模火災等の発生が想定され、このような状況において、初動対応を行う<u>うえ</u>で最も優先すべきはプラントの状況を把握することである。</p> <p>このため、事象が発生した場合、<u>緊急時対策本部</u>は、中央制御室の状況、大まかなプラント状況の確認、把握を可能な範囲で行った後、速やかに「プラント状態確認チェックシート」を用いて、具体的にプラント被災状況、対応可能要員の把握等を行う。</p> <p>以下に、初期対応の概要、<u>大規模損壊発生時対応フロー</u>、プラント状態確認チェックシートを示す。</p>	<p>備考</p> <p>・運用の相違</p> <p>【柏崎 6/7】</p> <p>島根 2号炉は、プラント状態等により大規模損壊発生を判断し、大規模損壊発生時の対応手順に移行</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>1. 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突時の対応概要</p> <p>(1) 対応の全体フロー概略 (大地震等の事前予測ができない事象の場合)</p>  <p>※1 使用済燃料プール (以下, 本添付資料において「SFP」という。)</p>	<p>1. 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突時の対応概要</p> <p>(1) 対応の全体フロー概略 (地震等の事前予測ができない事象の場合)</p> 	<p>1. 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突時の対応概要</p> <p>(1) 対応の全体フロー概略 (地震等の事前予測ができない事象の場合)</p> 	<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用の相違 【柏崎 6/7】 島根 2号炉は, プラント状態等により大規模損壊発生を判断し, 大規模損壊発生時の対応手順に移行

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>(2) 対応の全体フロー概略 (大津波警報の発表 (事前予測ができる事象) の場合)</p> 	<p>(2) 対応の全体フロー概略 (大津波警報の発表 (事前予測ができる事象) の場合)</p> 	<p>(2) 対応の全体フロー概略 (大津波警報の発表 (事前予測ができない事象) の場合)</p> 	<p>・運用の相違 【柏崎 6/7】 島根 2号炉は, プラント状態等により大規模損壊発生を判断し, 大規模損壊発生時の対応手順に移行</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>(3) 対応の全体フロー概略 (大型航空機の衝突の場合)</p> <pre> graph TD A[大型航空機の衝突] --> B[緊急時態勢発令] B --> C[緊急時対策所の選定] C --> D[中央制御室との連絡 緊急時対策所における主要パラメータ監視の確認] D --> E[要員の安全確保] D --> F[建屋へのアクセスルートの確保] D --> G[消火] D --> H[可搬型計測器による主要パラメータ監視と状況把握] E --> I[対応要員数、可搬設備、常設設備を含めた残存する資源等を確認し、最大限の努力によって得られる結果を想定して、当面達成すべき目標を設定し、そのために優先すべき戦略を決定する] F --> I G --> I H --> I I --> J1[停止、冷却、閉じ込め機能の確保] I --> J2[SFP冷却] I --> J3[個別戦略アクセスルート確保] I --> J4[電源確保] I --> J5[人命救助] I --> J6[放射性物質拡散抑制] </pre>	<p>(3) 対応の全体フロー概略 (大型航空機の衝突の場合)</p> <pre> graph TD A[大型航空機の衝突発生] --> B[中央制御室における状況確認 当直発電長から原子力防災管理者等への連絡 (当直発電長からの連絡がない場合は、中央制御室との連絡確認を行う)] B --> C[災害対策要員の非常招集を開始] C --> D[大まかなプラント状況の確認、把握 ・火災発生の有無 ・建屋の損壊状況 ・アクセスルート損傷の有無] D --> E[大規模損壊時に対応する手順に基づく対応を開始] E --> F["「プラント状態確認チェックシート」 に基づく状況確認 ・原子炉停止確認 ・原子炉注水確認 ・放射線モニタ指示値の確認 ・火災の確認 等"] E --> G[アクセスルート確保、消火 (アクセスルート上又は戦略に支障となる箇所がれき、火災が発生している場合は、優先的に火災の消火活動、がれきの除去等を行う)] F --> H[初動対応フローに基づく事故対応の実施 最大限の努力によって得られる結果を想定して、当面達成すべき目標を設定し、そのために優先すべき戦略を決定して個別の対応を実施する。] G --> H </pre> <p>○予兆情報、事前対応外部からの通報等により、大型航空機衝突の予兆情報を入手した場合は、事前対応として原子炉停止操作等の必要な措置を行う。</p>	<p>(3) 対応の全体フロー概略 (大型航空機の衝突の場合)</p> <pre> graph TD A[大型航空機の衝突発生] --> B[中央制御室における状況確認 当直長から原子力防災管理者等への連絡 (当直長からの連絡がない場合は、中央制御室との連絡確認を行う)] B --> C[重大事故等に対処する要員の非常招集を開始] C --> D[大まかなプラント状況の確認、把握 ・火災発生の有無 ・建物の損壊状況 ・アクセスルート損傷の有無] D --> E[大規模損壊時に対応する手順に基づく対応を開始] E --> F["「プラント状態確認チェックシート」 に基づく状況確認 ・原子炉停止確認 ・原子炉注水確認 ・放射線モニタ指示値の確認 ・火災の確認 等"] E --> G[アクセスルート確保、消火 (アクセスルート上又は戦略に支障となる箇所がれき、火災が発生している場合は、優先的に火災の消火活動、がれきの除去等を行う)] F --> H[初動対応フローに基づく事故対応の実施 最大限の努力によって得られる結果を想定して、当面達成すべき目標を設定し、そのために優先すべき戦略を決定して個別の対応を実施する。] G --> H </pre> <p>○予兆情報、事前対応外部からの通報等により、大型航空機衝突の予兆情報を入手した場合は、事前対応として原子炉停止操作等の必要な措置を行う。</p>	<p>・運用の相違</p> <p>【柏崎 6/7】</p> <p>島根 2号炉は、プラント状態等により大規模損壊発生を判断し、大規模損壊発生時の対応手順に移行</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>(4) 対応の全体フロー概略 (テロリズムの発生の場合)</p> 	<p>(4) 対応の全体フロー概略 (テロリズムの発生の場合)</p> 	<p>(4) 対応の全体フロー概略 (テロリズムの発生の場合)</p> 	



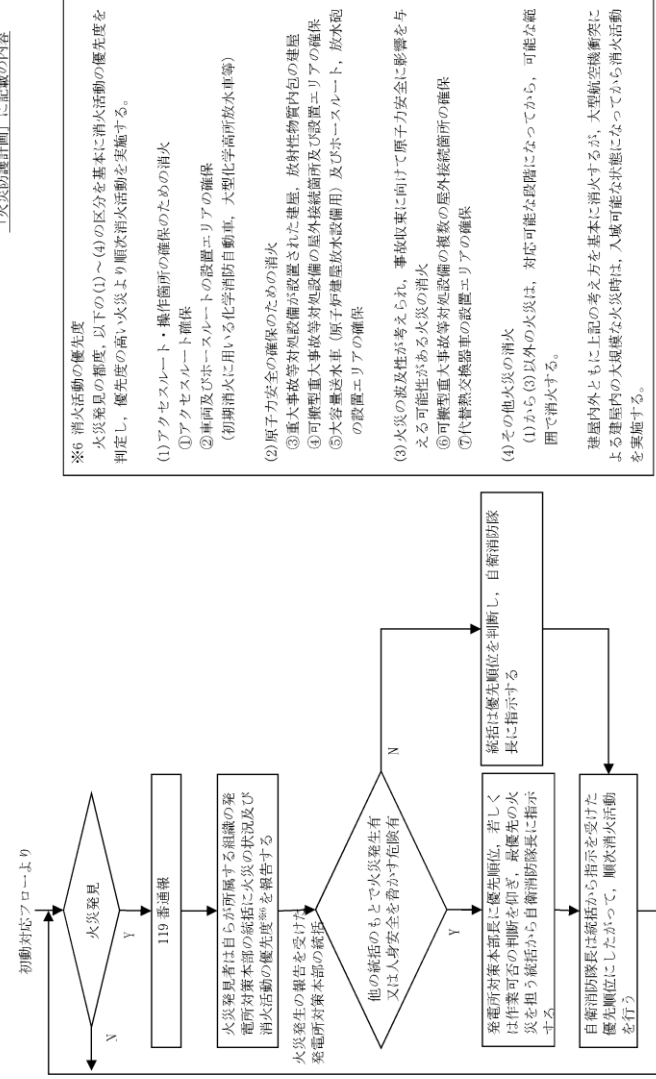
初動対応フロー (2 / 3)

・運用の相違
【柏崎6/7】
島根2号炉は、プラント状態等により大規模損壊発生を判断し、大規模損壊発生時の対応手順に移行

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: center;">個別戦略フロー ①-1 建屋へのアクセスルート確保戦略</p> <p style="text-align: center;">「緊急時対応本運用重要順」の概要図</p> <p style="text-align: center;">注) 手順については、今後の訓練によって見直す可能性がある</p>			<p>・記載表現の相違 【柏崎 6/7】 島根 2号炉は、個別戦略フローについて、別冊 I 第 2-2 図に記載</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: center;">①-2 個別戦略アクセスルート確保戦略</p> <p style="text-align: center;">「緊急時対策本部運営要領」の概要図</p> <p style="text-align: center;">注) 手順については、今後の訓練によって見直す可能性がある</p>			

②消火戦略

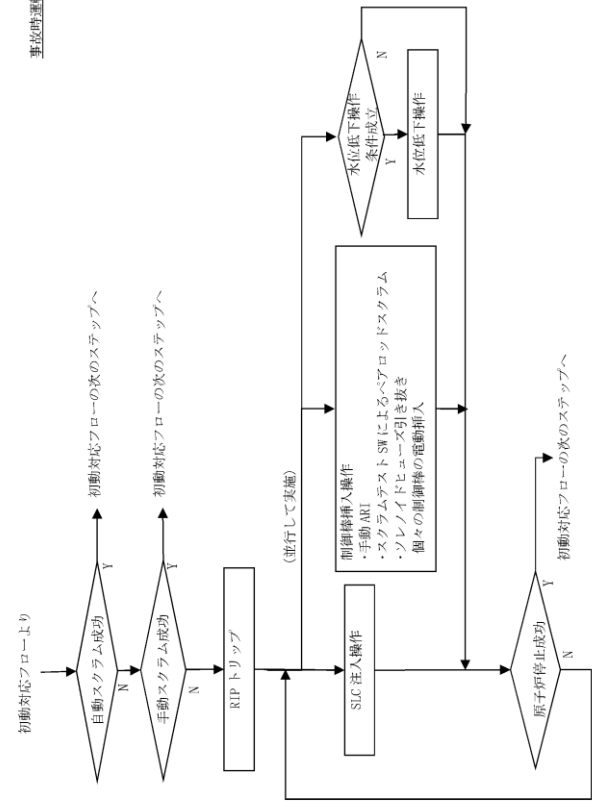


「火災防護計画」に記載の内容

- ※6 消火活動の優先度
火災発見の都度、以下の(1)～(4)の区分を基本に消火活動の優先度を判定し、優先度の高い火災より順次消火活動を実施する。
- (1)アクセスルート・操作箇所確保のための消火
 - ①アクセスルート確保
 - ②車両及びボースルートの設置エリアの確保
(初期消火に用いる化学消防自動車、大型化学高所放水車等)
 - (2)原子力安全の確保のための消火
 - ③重大事故等対処設備が設置された建屋、放射性物質貯留内の建屋
 - ④可搬型重大事故等対処設備の屋外接続箇所及び設置エリアの確保
 - ⑤大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)及びボースルートの、放水砲の設置エリアの確保
 - (3)火災の波及性が考えられ、事故収束に向けて原子力安全に影響を与える可能性がある火災の消火
 - ⑥可搬型重大事故等対処設備の複数の屋外接続箇所の確保
 - ⑦代替熱交換器車の設置エリアの確保
 - (4)その他火災の消火
 - ⑧(1)から(3)以外の火災は、対応可能な段階になってから、可能な範囲で消火する。
- 建屋内外とも以上に上記の考え方を基本に消火するが、大型航空機衝突による建屋内の大規模な火災時は、入城可能な状態になってから消火活動を実施する。

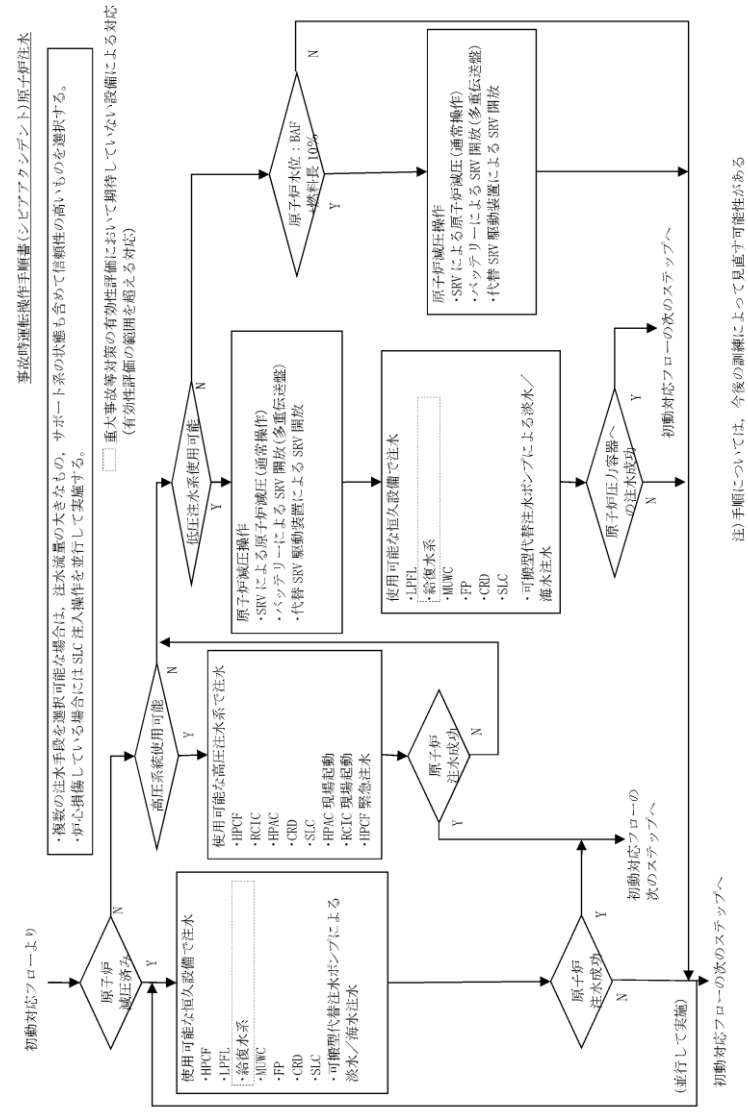
③原子炉停止戦略

事故時運転操作手順書(低圧ベーンズ)反応制御型

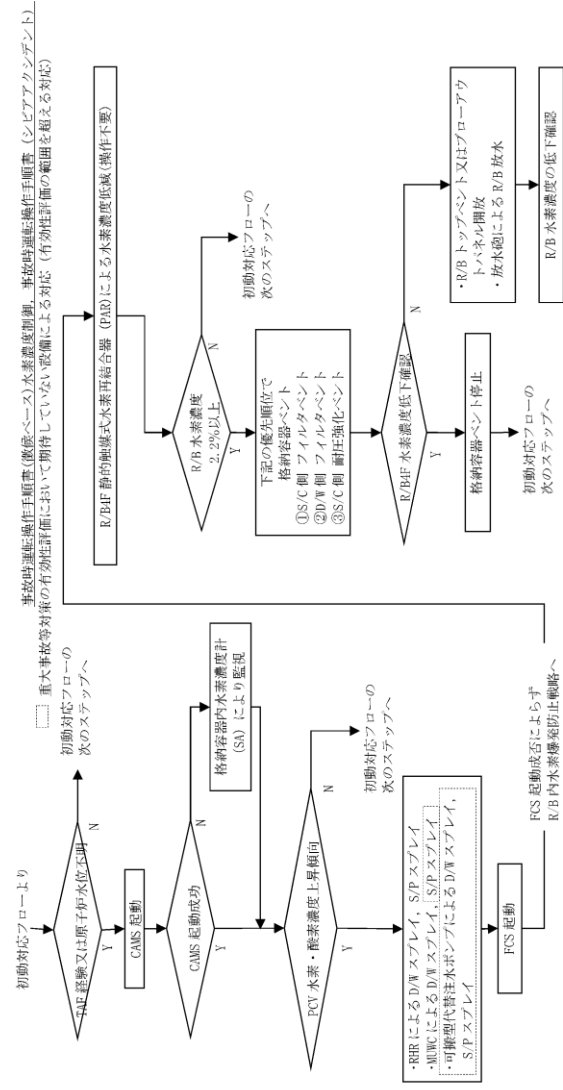


注) 手順については、今後の訓練によって見直す可能性がある

④原子炉圧力容器への注水戦略



⑤水素爆発防止戦略

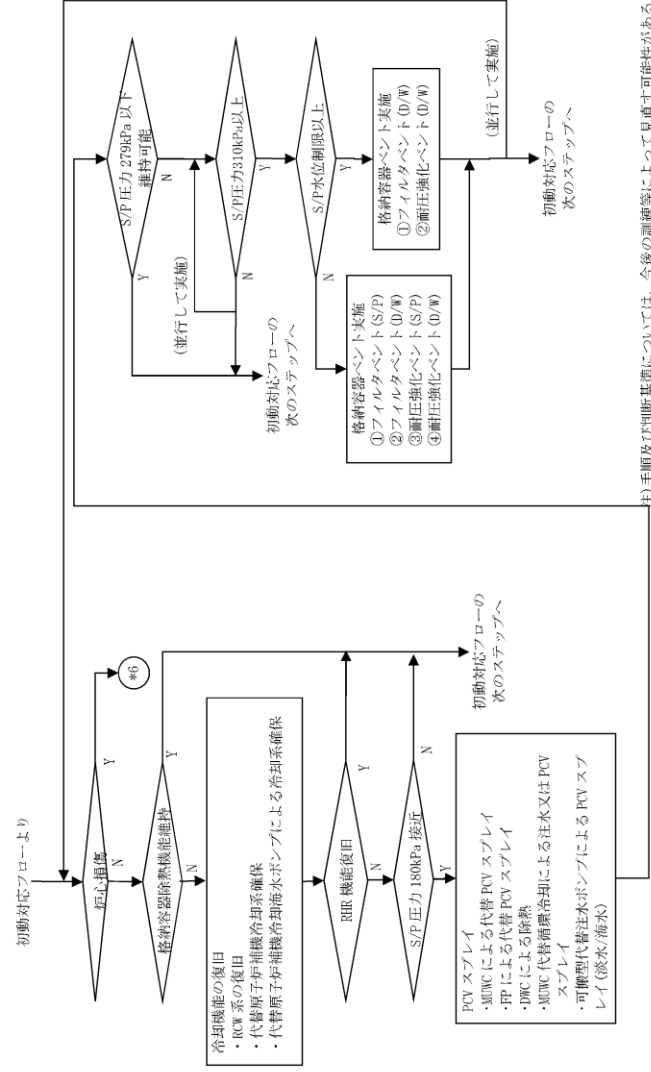


□ 重大事故等対策の有効性評価において期待していない設備による対応 (有効性評価の範囲を超える対応)

注) 手順及び判断基準については、今後の訓練等によって見直す可能性がある

⑥-1 格納容器除熱戦略 (炉心損傷前)

事故時運転操作手順書(最終ベージ)PCV圧力制御



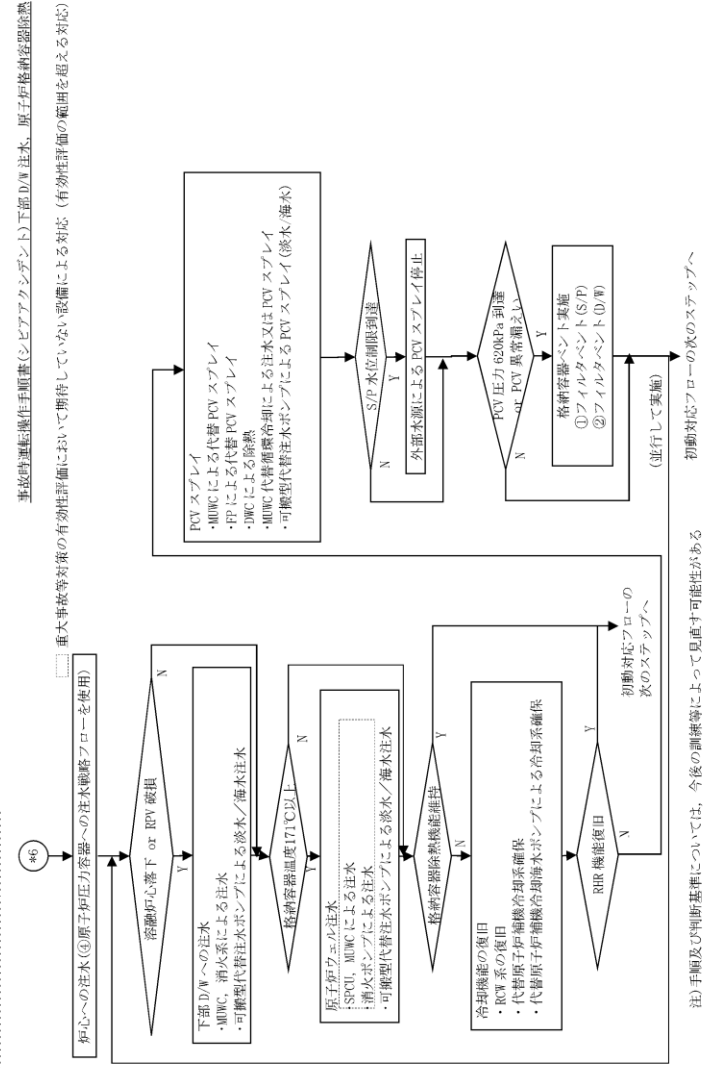
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20版)

東海第二発電所 (2018. 9. 18版)

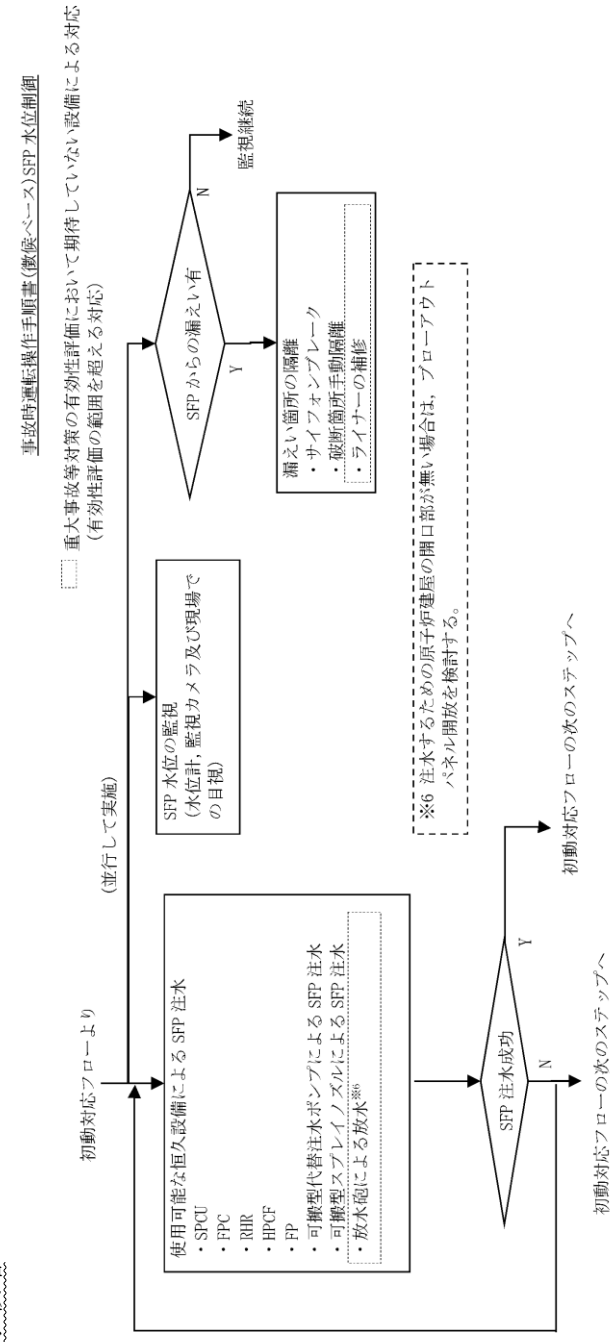
島根原子力発電所 2号炉

備考

⑥-2 格納容器除熱戦略 (炉心損傷後)



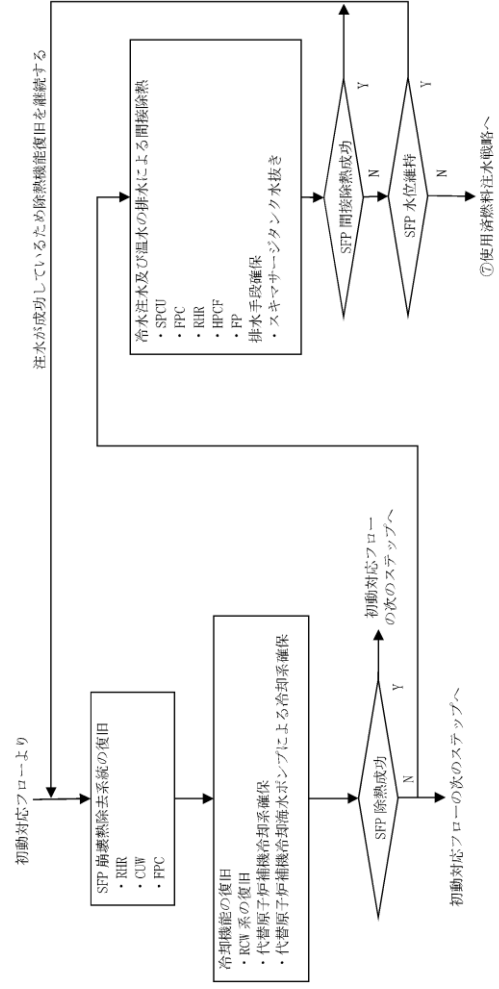
⑦ SFP 注水戦略



注) 手順については、今後の訓練によって見直す可能性がある

⑧使用済燃料除熱戦略

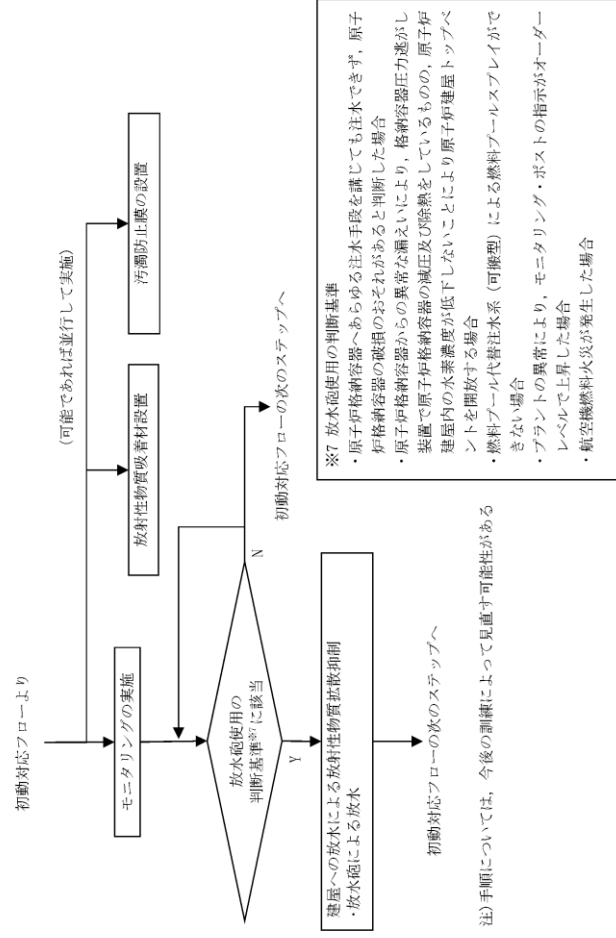
事故時運転操作手順書(最終ページ)SFP本温度制御



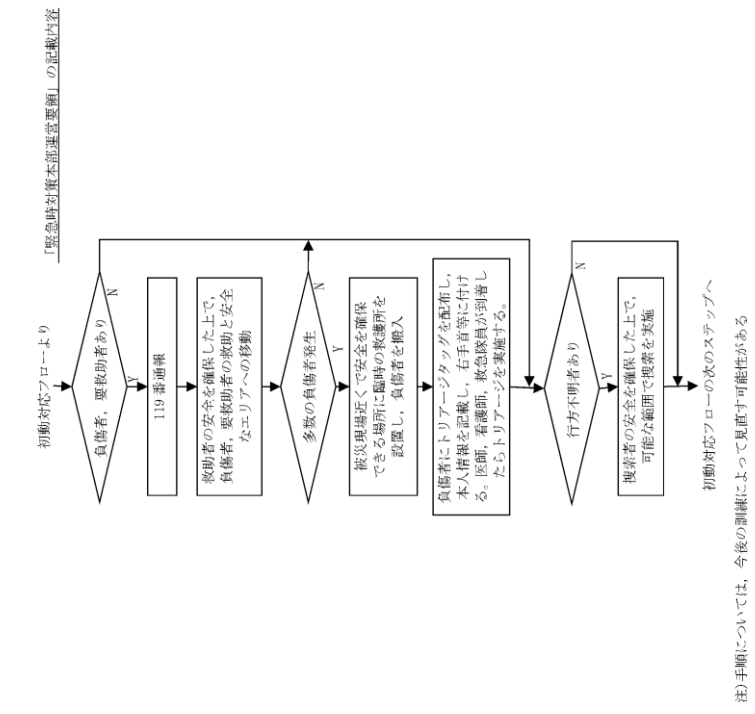
注) 手順については、今後の訓練によって見直す可能性がある

⑨放射線物質拡散抑制のための戦略

「緊急時対策本部運営要領」の概要図



① 人命救助戦略



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																																																																																																																																				
<p>3. プラント状態確認チェックシートにおける確認項目</p> <p>プラント、体制等の状況を把握するために、「プラント状態確認チェックシート」の各項目を確認する。チェックシートは、目標設定や戦略の検討等発電所対策本部の情報共有に利用する。</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チェックシートには、本部責任者の指示、又は各対応班の担当者が必要に応じ確認した情報を記載し作成する。計画・情報統括及び計画班長が取りまとめ、本部内に情報共有する。 2. 共通1.～3.項の確認を最優先に実施する。 3. 周囲の状況に十分注意しながらチェックし、チェック困難な場合には「不明」とする。(建屋の損壊状況、周辺線量等に注意) 4. 動作可能、使用可能は、外観及び警報等で判断する。 <p>(1)プラント状態確認項目(共通)</p> <p>共通1. 中央制御室との連絡と運転員の対応可能人数の確認</p> <table border="1" data-bbox="201 625 896 850"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1号炉中央制御室と連絡可能</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td>対応可能 名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2号炉中央制御室と連絡可能</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td>対応可能 名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3号炉中央制御室と連絡可能</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td>対応可能 名</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4号炉中央制御室と連絡可能</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td>対応可能 名</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5号炉中央制御室と連絡可能</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td>対応可能 名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6号及び7号炉中央制御室と連絡可能</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td>対応可能 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>共通2. モニタ指示確認</p> <table border="1" data-bbox="201 898 896 976"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>屋外モニタ指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>共通3. 火災の確認</p> <table border="1" data-bbox="201 1024 896 1159"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>揮発性物質(航空機燃料・軽油等)による火災発生</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td>1・2・3・4号炉</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>上記以外による火災発生</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td>5・6・7号炉 その他</td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目	状態	備考	1	1号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名	2	2号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名	3	3号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名	4	4号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名	5	5号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名	6	6号及び7号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名	番号	項目	状態	備考	1	屋外モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明		番号	項目	状態	備考	1	揮発性物質(航空機燃料・軽油等)による火災発生	火災あり・火災なし・不明	1・2・3・4号炉	2	上記以外による火災発生	火災あり・火災なし・不明	5・6・7号炉 その他	<p>第1表 プラント状態確認チェックシート (1/10)</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チェックシートには、災害対策本部長代理又は統括待機当番者の指示に基づき確認した情報又は各作業班の担当者が必要に応じ確認した情報を記載する。 2. 確認結果は、情報班に報告する。 3. 情報班は、報告された確認結果を取りまとめ、本部内に情報共有する。 4. 確認項目1.項～3.項の確認を最優先に実施し、その後その他の確認項目の確認を行う。 5. 建屋の損壊状況、周辺線量等、周囲の状況に十分注意しながらチェックし、チェック困難な場合には「不明」とする。 6. 動作可能及び使用可能は、外観、警報等で判断する。 7. プラント状態の確認は、複数名で実施する。 <p>【ステップ①-1】</p> <p>1. 中央制御室との連絡及びパラメータの確認</p> <p>確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="964 646 1697 793"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-1</td> <td>中央制御室と連絡</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>中央制御室でのパラメータ確認</td> <td>確認可能・確認不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-3</td> <td>緊急時対策所でのパラメータ確認</td> <td>確認可能・確認不可</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 原子炉停止、原子炉注水及びモニタ指示確認</p> <p>確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="964 865 1697 1045"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-1</td> <td>原子炉停止 (確認日時: / :)</td> <td>成功・失敗・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-2</td> <td>原子炉注水</td> <td>成功・失敗・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>エリアモニタ指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-4</td> <td>屋外モニタ指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 火災の確認</p> <p>確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="964 1117 1697 1276"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3-1</td> <td>航空機燃料等による火災</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-2</td> <td>可搬型設備保管場所、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-3</td> <td>上記以外の火災</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目	状態	備考	1-1	中央制御室と連絡	連絡可能・連絡不可		1-2	中央制御室でのパラメータ確認	確認可能・確認不可		1-3	緊急時対策所でのパラメータ確認	確認可能・確認不可		番号	項目	状態	備考	2-1	原子炉停止 (確認日時: / :)	成功・失敗・不明		2-2	原子炉注水	成功・失敗・不明		2-3	エリアモニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明		2-4	屋外モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明		番号	項目	状態	備考	3-1	航空機燃料等による火災	火災あり・火災なし・不明		3-2	可搬型設備保管場所、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災あり・火災なし・不明		3-3	上記以外の火災	火災あり・火災なし・不明		<p>3. プラント状態確認チェックシートによる確認項目</p> <p>プラント、体制等の状況を把握するために、チェックシートの各項目を確認する。チェックシートは目標設定や戦略の検討等、緊急時対策本部の情報共有に利用する。</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チェックシートには、緊急時対策本部長(夜間・休日昼間については、指示者)の指示に基づき確認した情報又は各班が必要に応じて確認した情報を記載する。 2. 確認結果は、技術班(夜間・休日昼間については、連絡責任者)に報告する。 3. 技術班(夜間・休日昼間については、連絡責任者)は、報告された確認結果を取りまとめ、本部内に情報共有する。 4. 確認項目1.～3.項の確認を最優先に実施し、報告する。その後その他の確認項目の確認を行う。 5. 建物の損壊状況、周辺線量率等、周囲の状況に十分注意しながら確認を行い、確認が困難な場合には「不明」とする。 6. 動作可能及び使用可能は、外観、警報等で判断する。 7. プラント状態の確認は、複数名で実施する。 <p>1. 中央制御室との連絡及びプラントパラメータの監視機能確認【ステップ1-1】</p> <p>確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="1757 697 2469 844"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1号及び2号中央制御室との連絡確認</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td>対応可能: 名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3号中央制御室との連絡確認</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td>対応可能: 名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>中央制御室でのパラメータ確認</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>緊急時対策所でのパラメータ確認</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. プラント状態の確認(初期状態確認)【ステップ1-1】</p> <p>確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分</p> <p>(1) 原子炉</p> <table border="1" data-bbox="1757 949 2469 1306"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>原子炉停止 (停止日時: 月 日 時 分)</td> <td>成功・失敗・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>原子炉注水</td> <td>成功・失敗・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>原子炉水位</td> <td>cm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>原子炉圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>主蒸気隔離弁</td> <td>全開・全閉・一部開・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ECCS作動要求</td> <td>作動要求なし・作動要求あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>原子炉圧力容器破損</td> <td>破損なし・破損あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>格納容器内雰囲気モニタ指示(D/W)</td> <td>Sv/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>格納容器内雰囲気モニタ指示(トータス)</td> <td>Sv/h</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある</p>	番号	項目	状態	備考	1	1号及び2号中央制御室との連絡確認	連絡可能・連絡不可	対応可能: 名	2	3号中央制御室との連絡確認	連絡可能・連絡不可	対応可能: 名	3	中央制御室でのパラメータ確認	可能・不可		4	緊急時対策所でのパラメータ確認	可能・不可		番号	項目	状態	備考	1	原子炉停止 (停止日時: 月 日 時 分)	成功・失敗・不明		2	原子炉注水	成功・失敗・不明		3	原子炉水位	cm		4	原子炉圧力	MPa		5	主蒸気隔離弁	全開・全閉・一部開・不明		6	ECCS作動要求	作動要求なし・作動要求あり・不明		7	原子炉圧力容器破損	破損なし・破損あり・不明		8	原子炉圧力容器温度	℃		9	格納容器内雰囲気モニタ指示(D/W)	Sv/h		10	格納容器内雰囲気モニタ指示(トータス)	Sv/h		<p>・体制の相違</p> <p>【柏崎6/7, 東海第二】</p> <p>・設備及び運用の相違</p> <p>【柏崎6/7, 東海第二】</p> <p>設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																				
1	1号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名																																																																																																																																																																				
2	2号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名																																																																																																																																																																				
3	3号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名																																																																																																																																																																				
4	4号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名																																																																																																																																																																				
5	5号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名																																																																																																																																																																				
6	6号及び7号炉中央制御室と連絡可能	連絡可能・連絡不可	対応可能 名																																																																																																																																																																				
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																				
1	屋外モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																				
1	揮発性物質(航空機燃料・軽油等)による火災発生	火災あり・火災なし・不明	1・2・3・4号炉																																																																																																																																																																				
2	上記以外による火災発生	火災あり・火災なし・不明	5・6・7号炉 その他																																																																																																																																																																				
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																				
1-1	中央制御室と連絡	連絡可能・連絡不可																																																																																																																																																																					
1-2	中央制御室でのパラメータ確認	確認可能・確認不可																																																																																																																																																																					
1-3	緊急時対策所でのパラメータ確認	確認可能・確認不可																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																				
2-1	原子炉停止 (確認日時: / :)	成功・失敗・不明																																																																																																																																																																					
2-2	原子炉注水	成功・失敗・不明																																																																																																																																																																					
2-3	エリアモニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																					
2-4	屋外モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																				
3-1	航空機燃料等による火災	火災あり・火災なし・不明																																																																																																																																																																					
3-2	可搬型設備保管場所、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災あり・火災なし・不明																																																																																																																																																																					
3-3	上記以外の火災	火災あり・火災なし・不明																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																				
1	1号及び2号中央制御室との連絡確認	連絡可能・連絡不可	対応可能: 名																																																																																																																																																																				
2	3号中央制御室との連絡確認	連絡可能・連絡不可	対応可能: 名																																																																																																																																																																				
3	中央制御室でのパラメータ確認	可能・不可																																																																																																																																																																					
4	緊急時対策所でのパラメータ確認	可能・不可																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																				
1	原子炉停止 (停止日時: 月 日 時 分)	成功・失敗・不明																																																																																																																																																																					
2	原子炉注水	成功・失敗・不明																																																																																																																																																																					
3	原子炉水位	cm																																																																																																																																																																					
4	原子炉圧力	MPa																																																																																																																																																																					
5	主蒸気隔離弁	全開・全閉・一部開・不明																																																																																																																																																																					
6	ECCS作動要求	作動要求なし・作動要求あり・不明																																																																																																																																																																					
7	原子炉圧力容器破損	破損なし・破損あり・不明																																																																																																																																																																					
8	原子炉圧力容器温度	℃																																																																																																																																																																					
9	格納容器内雰囲気モニタ指示(D/W)	Sv/h																																																																																																																																																																					
10	格納容器内雰囲気モニタ指示(トータス)	Sv/h																																																																																																																																																																					

共通 4. 通信関係の確認

番号	項目	状態	備考
1	送受話器 (ページング)	使用可能・使用不可・不明	
2	電力保安通信用電話設備	使用可能・使用不可・不明	
3	衛星電話設備 (常設)	使用可能・使用不可・不明	
4	衛星電話設備 (可搬型)	使用可能・使用不可・不明	
5	無線連絡設備 (常設)	使用可能・使用不可・不明	
6	無線連絡設備 (可搬型)	使用可能・使用不可・不明	
7	緊急時対策支援システム伝送装置	使用可能・使用不可・不明	
8	SPDS 表示装置	使用可能・使用不可・不明	
9	加入電話機	使用可能・使用不可・不明	
10	加入 FAX	使用可能・使用不可・不明	
11	テレビ会議システム	使用可能・使用不可・不明	
12	専用電話設備 (ホットライン)	使用可能・使用不可・不明	
13	IP-電話機	使用可能・使用不可・不明	
14	IP-FAX	使用可能・使用不可・不明	

共通 5. 対応可能な要員の確認

番号	項目 ^{※1}	状態	備考
1	発電所対策本部長・本部機能 (4名)	名	
2	原子炉主任技術者 (2名) ^{※2}	名	
3	対外対応機能 (5名)	名	
4	情報収集・計画立案機能 (4名)	名	
5	現場対応機能 (15名)	名	
6	ロジスティック・リソース管理機能 (2名)	名	
7	復旧班現場要員 (16名)	名	
8	保安班機能 (4名)	名	
9	自衛消防隊 (10名)	名	

※1 カッコ内は発電所内での必要最低人数

※2 6号及び7号炉の原子炉主任技術者それぞれ1名は、早期に非常参集が可能なエリアに待機する。

第1表 プラント状態チェックシート (2/10)

4. 対応可能な要員の確認

【ステップ①-2】

確認者	確認日時	年	月	日	時	分
番号	項目*	要員数		備考		
4-1	原子力防災管理者 (0名)			名		
4-2	副原子力防災管理者 (1名)			名		
4-3	対応可能な当直 (運転員) 数 (7名)			名		
4-4	対応可能な災害対策要員数 (自衛消防隊を除く) (20名)			名		
4-5	対応可能な災害対策要員数 (自衛消防隊) (11名)			名		

※ カッコ内は夜間・休日 (平日の勤務時間帯以外) において必要な要員として発電所内に確保している人数

5. 通信設備の確認

確認者	確認日時	年	月	日	時	分
番号	項目	状態		備考		
5-1	TV会議システム (原子力防災ネットワーク)	使用可能・使用不可・不明				
5-2	TV会議システム (社内)	使用可能・使用不可・不明				
5-3	一斉通報装置	使用可能・使用不可・不明				
5-4	加入電話	使用可能・使用不可・不明				
5-5	IP電話 (有線系)	使用可能・使用不可・不明				
5-6	IP電話 (衛星系)	使用可能・使用不可・不明				
5-7	保安電話 (固定型)	使用可能・使用不可・不明				
5-8	保安電話 (携帯型)	使用可能・使用不可・不明				
5-9	衛星電話 (固定型)	使用可能・使用不可・不明				
5-10	衛星電話 (携帯型)	使用可能・使用不可・不明				
5-11	無線連絡設備 (固定型)	使用可能・使用不可・不明				
5-12	無線連絡設備 (携帯型)	使用可能・使用不可・不明				
5-13	携行型有線通話装置	使用可能・使用不可・不明				
5-14	IP-FAX	使用可能・使用不可・不明				
5-15	送受話器 (ページング)	使用可能・使用不可・不明				
5-16	SPDS	使用可能・使用不可・不明				
5-17	社内LAN	使用可能・使用不可・不明				
5-18	FAX	使用可能・使用不可・不明				

(2) 注水系統 (常設)

番号	項目	状態	備考
1	復水・給水系 (CW/FW)	使用可能・使用不可・不明	
2	原子炉隔離時冷却系 (RCIC)	使用可能・使用不可・不明	
3	高圧原子炉代替注水系 (HPAC)	使用可能・使用不可・不明	
4	高圧炉心スプレイ系 (HPCS)	使用可能・使用不可・不明	
5	低圧炉心スプレイ系 (LPCS)	使用可能・使用不可・不明	
6	A-残留熱除去系 (A-RHR)	使用可能・使用不可・不明	
7	B-残留熱除去系 (B-RHR)	使用可能・使用不可・不明	
8	C-残留熱除去系 (C-RHR)	使用可能・使用不可・不明	
9	制御棒駆動水圧系 (CRD)	使用可能・使用不可・不明	
10	復水輸送系 (CWT)	使用可能・使用不可・不明	
11	消火系 (FP)	使用可能・使用不可・不明	
12	ほう酸水注入系 (SLC)	使用可能・使用不可・不明	
13	低圧原子炉代替注水系 (FLSR)	使用可能・使用不可・不明	
14	残留熱代替除去系 (RHAR)	使用可能・使用不可・不明	

(3) 補機冷却系

番号	項目	状態	備考
1	I-原子炉補機冷却系 (I-RCW)	使用可能・使用不可・不明	
2	I-原子炉補機海水系 (I-RSW)	使用可能・使用不可・不明	
3	II-原子炉補機冷却系 (II-RCW)	使用可能・使用不可・不明	
4	II-原子炉補機海水系 (II-RSW)	使用可能・使用不可・不明	
5	高圧炉心スプレイ補機冷却系 (HPCW)	使用可能・使用不可・不明	
6	高圧炉心スプレイ補機海水系 (HPSW)	使用可能・使用不可・不明	
7	タービン補機冷却系 (TCW)	使用可能・使用不可・不明	
8	タービン補機海水系 (TSW)	使用可能・使用不可・不明	

(4) 格納容器

番号	項目	状態	備考
1	格納容器圧力	kPa[abs]	
2	格納容器温度	℃	
3	格納容器破損	破損なし・破損あり・不明	

(5) モニタ

番号	項目	状態	備考
1	エリア放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明	
2	プロセス放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明	
3	モニタリング・ポスト指示	上昇なし・上昇あり・不明	

注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある

共通6. 水源, その他

番号	項目	状態	備考
1	淡水貯水池	使用可能・使用不可・不明	
2	ろ過水タンク (荒浜側 No. 1)	使用可能・使用不可・不明	タンクレベル m
3	ろ過水タンク (荒浜側 No. 2)	使用可能・使用不可・不明	タンクレベル m
4	純水タンク (荒浜側 No. 1)	使用可能・使用不可・不明	タンクレベル m
5	純水タンク (荒浜側 No. 2)	使用可能・使用不可・不明	タンクレベル m
6	ろ過水タンク (大湊側 No. 3)	使用可能・使用不可・不明	タンクレベル m
7	ろ過水タンク (大湊側 No. 4)	使用可能・使用不可・不明	タンクレベル m
8	純水タンク (大湊側 No. 3)	使用可能・使用不可・不明	タンクレベル m
9	純水タンク (大湊側 No. 4)	使用可能・使用不可・不明	タンクレベル m
10	荒浜側防火水槽	使用可能・使用不可・不明	
11	大湊側防火水槽	使用可能・使用不可・不明	

共通7. 設備及び資機材の確認

番号	項目	状態	備考
7-1. 消火及び注水設備 荒浜側エリア【常設設備】			
1	荒浜側ディーゼル駆動消火ポンプ	運転中・停止中・使用不可・不明	
2	荒浜側電動消火ポンプ	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
3	純水移送ポンプ(A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	1・2号炉共用
4	純水移送ポンプ(B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	1・2号炉共用
5	純水移送ポンプ(C)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	1・2号炉共用
6	純水移送ポンプ(A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	3・4号炉共用
7	純水移送ポンプ(B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	3・4号炉共用
8	純水移送ポンプ(C)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	3・4号炉共用

第1表 プラント状態チェックシート (3/10)

6. 建屋等へのアクセス性確認 【ステップ①-3】

番号	項目*	状態	備考
6-1	中央制御室へのアクセス	可能・不可・不明	
6-2	原子炉建屋へのアクセス	可能・不可・不明	
6-3	タービン建屋へのアクセス	可能・不可・不明	
6-4	サービス建屋へのアクセス	可能・不可・不明	
6-5	復水貯蔵タンク外部接続口	可能・不可・不明	
6-6	代替淡水貯槽	可能・不可・不明	
6-7	西側淡水貯水設備	可能・不可・不明	
6-8	原子炉建屋東側接続口	可能・不可・不明	
6-9	原子炉建屋西側接続口	可能・不可・不明	
6-10	高所東側接続口	可能・不可・不明	
6-11	高所西側接続口	可能・不可・不明	

※ 建屋又は接続口の損壊状態を含め、事故対応への支障の有無の観点から確認する。

7. 施設損壊状態確認

番号	項目	状態	備考
7-1	原子炉建屋	損傷あり・損傷なし・不明	
7-2	タービン建屋	損傷あり・損傷なし・不明	
7-3	サービス建屋	損傷あり・損傷なし・不明	
7-4	使用済燃料乾式貯蔵建屋	損傷あり・損傷なし・不明	

(6) 燃料プール

番号	項目	状態	備考
1	燃料プール水位	通常水位・水位低下傾向・不明 m	
2	燃料プール温度	℃	
3	燃料プール冷却系 (FPC)	使用可能・使用不可・不明	
4	燃料プール補給水系 (FMW)	使用可能・使用不可・不明	
5	復水輸送系 (CWT)	使用可能・使用不可・不明	
6	補給水系 (MUW)	使用可能・使用不可・不明	
7	消火系 (FP)	使用可能・使用不可・不明	
8	A-残留熱除去系 (A-RHR)	使用可能・使用不可・不明	
9	B-残留熱除去系 (B-RHR)	使用可能・使用不可・不明	

(7) 電源

番号	項目	状態	備考
1	外部電源受電	受電中・停電中・使用不可・不明	
2	A-非常用ディーゼル発電機	運転中・待機中・冷却水なし ・使用不可・不明	
3	B-非常用ディーゼル発電機	運転中・待機中・冷却水なし ・使用不可・不明	
4	HPCS-非常用ディーゼル発電機	運転中・待機中・冷却水なし ・使用不可・不明	
5	ガスタービン発電機 (2号用)	運転中・待機中・使用不可・不明	
6	ガスタービン発電機 (予備)	運転中・待機中・使用不可・不明	
7	電源融通	使用可能・使用不可・不明	

注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)				東海第二発電所 (2018.9.18版)				島根原子力発電所 2号炉				備考									
7-2. 消火及び注水設備 大湊側エリア【常設設備】				8. 電源系統の確認 【ステップ①-4】				3. プラント状態の確認 (火災の確認)【ステップ1-1】													
番号	項目	状態	備考	確認者	確認日時	年	月	日	時	分	確認者	確認日時	年	月	日	時	分	番号	項目	状態	備考
1	大湊側ディーゼル駆動消火ポンプ	運転中・停止中・使用不可・不明		8-1	外部電源						8-1	外部電源						1	航空機燃料等による火災	火災あり・火災なし・不明	発生場所: ・2号R/B ・2号T/B ・2号Rw/B ・2号C/B ・その他 ()
2	大湊側電動消火ポンプ	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		8-2	高压母線(2E)						8-2	高压母線(2E)						2	可搬型設備保管場所、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災あり・火災なし・不明	発生場所: ・保管エリア () ・接続口周辺 () ・アクセスルート上 ()
3	純水移送ポンプ(A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	5・6・7号炉共用	8-3	2C非常用ディーゼル発電機						8-3	2C非常用ディーゼル発電機						3	上記以外の火災	火災あり・火災なし・不明	発生場所: () ()
4	純水移送ポンプ(B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	5・6・7号炉共用	8-4	M/C 2C						8-4	M/C 2C									
5	純水移送ポンプ(C)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	5・6・7号炉共用	8-5	P/C 2C						8-5	P/C 2C									
6	純水移送ポンプ(D)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	5・6・7号炉共用	8-6	125V系蓄電池A系						8-6	125V系蓄電池A系									
7-3. 大湊側エリア設備・資機材				8-7	2D非常用ディーゼル発電機						8-7	2D非常用ディーゼル発電機									
1	常設代替交流電源設備(第一ガスタービン発電機)	使用可能・使用不可・不明		8-8	M/C 2D						8-8	M/C 2D									
2	第一ガスタービン発電機用燃料タンク	使用可能・使用不可・不明		8-9	P/C 2D						8-9	P/C 2D									
3	可搬型代替交流電源設備(交流電源車)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台	8-10	125V系蓄電池B系						8-10	125V系蓄電池B系									
4	可搬型直流電源設備(直流給電車)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台	8-11	高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機						8-11	高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機									
5	仮設発電機	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台	8-12	M/C HPCS						8-12	M/C HPCS									
6	移動式変圧器	使用可能・使用不可・不明		8-13	125V系蓄電池HPCS系						8-13	125V系蓄電池HPCS系									
7	大湊側緊急用M/C	使用可能・使用不可・不明		8-14	軽油貯蔵タンク						8-14	軽油貯蔵タンク									
8	可搬型代替注水ポンプ(A-1級又はA-2級)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台	8-15	常設代替高压電源装置						8-15	常設代替高压電源装置									
9	代替原子炉補機冷却系	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 式	8-16	緊急用M/C						8-16	緊急用M/C									
10	可搬型窒素供給装置	使用可能・使用不可・不明		8-17	緊急用P/C						8-17	緊急用P/C									
11	大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台	8-18	緊急用125V系蓄電池						8-18	緊急用125V系蓄電池									
12	放水砲	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台	8-19	緊急用電源切替盤						8-19	緊急用電源切替盤									
13	ホース展開車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台																		
14	汚濁防止膜	使用可能・使用不可・不明																			
15	放射性物質吸着材	使用可能・使用不可・不明																			
16	小型船舶	使用可能・使用不可・不明	使用可能艘数 艘																		
17	タンクローリ(4KL)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台																		
18	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台																		

注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある

番号	項目	状態	備考
19	大型化学高所放水車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
20	泡原液搬送車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
21	泡原液混合装置	使用可能・使用不可・不明	
7-4. 荒浜エリア設備・資機材			
1	第二代替交流電源設備 (第二ガスタービン発電機)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
2	第二ガスタービン発電機用燃料タンク	使用可能・使用不可・不明	
3	第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ	使用可能・使用不可・不明	
4	可搬型代替交流電源設備 (交流電源車)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
5	可搬型直流電源設備 (直流給電車)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
6	緊急用M/C	使用可能・使用不可・不明	
7	仮設発電機	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
8	可搬型代替注水ポンプ (A-1級又はA-2級)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
9	代替原子炉補機冷却系	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 式
10	可搬型窒素供給装置	使用可能・使用不可・不明	
11	可搬型格納容器窒素供給設備	使用可能・使用不可・不明	
12	大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
13	放水砲	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
14	ホース展張車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
15	汚濁防止膜	使用可能・使用不可・不明	
16	放射性物質吸着材	使用可能・使用不可・不明	
17	小型船舶	使用可能・使用不可・不明	使用可能艘数 艘
18	タンクローリ (4kL)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
19	タンクローリ (16kL)	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
20	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
21	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
22	大型化学高所放水車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
23	泡原液搬送車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
24	泡原液混合装置	使用可能・使用不可・不明	

第1表 プラント状態チェックシート (5/10)

9. 常設設備の確認 (1/2) 【ステップ①-4】

確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分

番号	項目	状態	備考
9-1	高圧炉心スプレイ系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-2	原子炉隔離時冷却系	運転中・待機中・使用不可・不明	
9-3	高圧代替注水系	運転中・待機中・使用不可・不明	
9-4	低圧炉心スプレイ系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-5	残留熱除去系 (A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-6	残留熱除去系 (B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-7	残留熱除去系 (C)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-8	低圧代替注水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-9	代替循環冷却系 (A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-10	代替循環冷却系 (B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-11	制御棒駆動水圧系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-12	ほう酸水注入系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-13	ほう酸水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明	
9-14	ほう酸水テストタンク	使用可能・使用不可・不明	
9-15	給水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-16	復水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-17	消火系 (ディーゼル駆動消火ポンプ)	運転中・停止中・使用不可・不明	
9-18	消火系 (電動機駆動消火ポンプ)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-19	復水移送系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-20	純水移送系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-21	逃がし安全弁	使用可能・使用不可・不明	
9-22	非常用窒素供給系	使用可能・使用不可・不明	
9-23	非常用逃がし安全弁駆動系	使用可能・使用不可・不明	
9-24	残留熱除去系海水系 (A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-25	残留熱除去系海水系 (B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-26	緊急用海水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明	
9-27	格納容器圧力逃がし装置	使用可能・使用不可・不明	

5. 通信設備の確認【ステップ1-2】

確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分

番号	項目	状態	備考
1	所内通信連絡設備	使用可能・使用不可・不明	
2	電力保安通信用電話設備	使用可能・使用不可・不明	
3	衛星電話設備 (固定型)	使用可能・使用不可・不明	
4	衛星電話設備 (携帯型)	使用可能・使用不可・不明	
5	無線通信設備 (固定型)	使用可能・使用不可・不明	
6	無線通信設備 (携帯型)	使用可能・使用不可・不明	
7	安全パラメータ表示システム (SPDS)	使用可能・使用不可・不明	
8	局線加入電話設備	使用可能・使用不可・不明	
9	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備	使用可能・使用不可・不明	
10	テレビ会議システム (社内用)	使用可能・使用不可・不明	
11	専用電話設備	使用可能・使用不可・不明	
12	有線式通信設備	使用可能・使用不可・不明	

6. 建物等へのアクセスルート確認【ステップ1-3】

確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分

番号	項目	状態*	備考
1	中央制御室へのアクセス	可能・不可・不明	
2	原子炉建物へのアクセス	可能・不可・不明	
3	タービン建物へのアクセス	可能・不可・不明	
4	廃棄物処理建物へのアクセス	可能・不可・不明	
5	第1保管エリア (EL50m) へのアクセス	可能・不可・不明	
6	第2保管エリア (EL44m) へのアクセス	可能・不可・不明	
7	第3保管エリア (EL13~33m) へのアクセス	可能・不可・不明	
8	第4保管エリア (EL8.5m) へのアクセス	可能・不可・不明	
9	原子炉建物南側接続口へのアクセス	可能・不可・不明	
10	原子炉建物西側接続口へのアクセス	可能・不可・不明	
11	廃棄物処理建物南側接続口へのアクセス	可能・不可・不明	
12	建物内接続口へのアクセス	可能・不可・不明	
13	GTG建物接続口へのアクセス	可能・不可・不明	
14	輪谷貯水槽 (西1/西2) へのアクセス	可能・不可・不明	

※: 建物の損壊状況も含め、事故対応への支障の有無の観点から確認する。

注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある

番号	項目	状態	備考
7-5. 消火設備 自衛消防隊詰め所			
1	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
2	水槽付消防ポンプ自動車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台
3	泡消火薬剤備蓄車	使用可能・使用不可・不明	使用可能台数 台

第1表 プラント状態チェックシート (6/10)

9. 常設設備の確認 (2/2) 【ステップ①-4】

確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分

番号	項目	状態	備考
9-28	耐圧強化ベント系	使用可能・使用不可・不明	
9-29	ドライウェル冷却系	運転中・停止中・電源なし・ 使用不可・不明	
9-30	タービンバイパス系	使用可能・使用不可・不明	
9-31	原子炉補機冷却水系	運転中・停止中・電源なし・ 使用不可・不明	
9-32	タービン補機冷却水系	運転中・停止中・電源なし・ 使用不可・不明	
9-33	補機冷却海水系	運転中・停止中・電源なし・ 使用不可・不明	
9-34	循環水系	運転中・停止中・電源なし・ 使用不可・不明	
9-35	可燃性ガス濃度制御系	運転中・停止中・電源なし・ 使用不可・不明	
9-36	静的触媒式水素再結合器	使用可能・使用不可・不明	
9-37	燃料プール冷却浄化系	運転中・停止中・電源なし・ 使用不可・不明	
9-38	代替燃料プール冷却系	運転中・停止中・電源なし・ 使用不可・不明	

7. 施設損壊状態の確認【ステップ1-3】

確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分

番号	項目	状態	備考
1	原子炉建物	損傷あり・損傷なし・不明	
2	タービン建物	損傷あり・損傷なし・不明	
3	廃棄物処理建物	損傷あり・損傷なし・不明	
4	制御室建物	損傷あり・損傷なし・不明	

8. 各機器の確認 (電源系統の確認)【ステップ1-4】

確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分

番号	項目	状態	備考
1	2C-M/C	受電中・停電中・使用不可・不明	
2	2C-L/C	受電中・停電中・使用不可・不明	
3	C系C/C	受電中・停電中・使用不可・不明	
4	2A-計装C/C	受電中・停電中・使用不可・不明	
5	A-115V系直流盤	受電中・停電中・使用不可・不明	
6	A-原子炉中性子計装用母線	受電中・停電中・使用不可・不明	
7	A-非常用ディーゼル発電機	運転中・待機中・冷却水なし ・使用不可・不明	
8	A-燃料デイトンク	使用可能・使用不可・不明	
9	A-ディーゼル燃料移送ポンプ	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明	
10	A-ディーゼル燃料貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明	
11	2D-M/C	受電中・停電中・使用不可・不明	
12	2D-L/C	受電中・停電中・使用不可・不明	
13	D系C/C	受電中・停電中・使用不可・不明	
14	2B-計装C/C	受電中・停電中・使用不可・不明	
15	B-115V系直流盤	受電中・停電中・使用不可・不明	
16	B-115V系直流盤(SA)	受電中・停電中・使用不可・不明	
17	B-原子炉中性子計装用母線	受電中・停電中・使用不可・不明	
18	230V系直流盤(RCIC)	受電中・停電中・使用不可・不明	
19	SA対策設備用分電盤(2)	受電中・停電中・使用不可・不明	
20	B-非常用ディーゼル発電機	運転中・待機中・冷却水なし ・使用不可・不明	
21	B-燃料デイトンク	使用可能・使用不可・不明	
22	B-ディーゼル燃料移送ポンプ	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明	
23	B-ディーゼル燃料貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明	

注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																																																																																																																																																																																
<p>(2)プラント状態確認項目(6号及び7号炉用個別)</p> <p>個別1. 初期状態の確認</p> <table border="1" data-bbox="201 321 908 720"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プラント状況の確認が可能*</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>原子炉停止 (確認日時 / :)</td> <td>成功・失敗・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>原子炉水位</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>原子炉圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>kPa[abs]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>主蒸気隔離弁</td> <td>全開・全閉・一部開・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>SFP 水位</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>SFP 温度</td> <td>℃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ECCS 作動要求</td> <td>作動要求あり・ 作動要求なし・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>外部電源受電</td> <td>受電中・停電中・ 使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※中央制御室又は緊急時対策所にてプラント状況の確認を実施する。</p> <p>個別2. モニタ指示確認</p> <table border="1" data-bbox="201 800 908 888"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プロセスモニタ指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>エリアモニタ指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>個別3. 通信関係の確認</p> <table border="1" data-bbox="201 936 908 1199"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>送受信器 (ベージング)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>電力保安通信用電話設備</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>携帯型音声呼出電話設備</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>衛星電話設備 (常設)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>無線連絡設備 (常設)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>プロセス計算機</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>データ伝送装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>加入電話機</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目	状態	備考	1	プラント状況の確認が可能*	可能・不可		2	原子炉停止 (確認日時 / :)	成功・失敗・不明		3	原子炉水位	mm		4	原子炉圧力	MPa		5	原子炉格納容器圧力	kPa[abs]		6	主蒸気隔離弁	全開・全閉・一部開・不明		7	SFP 水位	m		8	SFP 温度	℃		9	ECCS 作動要求	作動要求あり・ 作動要求なし・不明		10	外部電源受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明		番号	項目	状態	備考	1	プロセスモニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明		2	エリアモニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明		番号	項目	状態	備考	1	送受信器 (ベージング)	使用可能・使用不可・不明		2	電力保安通信用電話設備	使用可能・使用不可・不明		3	携帯型音声呼出電話設備	使用可能・使用不可・不明		4	衛星電話設備 (常設)	使用可能・使用不可・不明		5	無線連絡設備 (常設)	使用可能・使用不可・不明		6	プロセス計算機	使用可能・使用不可・不明		7	データ伝送装置	使用可能・使用不可・不明		8	加入電話機	使用可能・使用不可・不明			<table border="1" data-bbox="1745 226 2487 1230"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>HPCS-M/C</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>HPCS-C/C</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>高圧炉心スプレイ系直流流盤</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>HPCS-非常用ディーゼル発電機</td> <td>運転中・待機中・冷却水なし ・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>HPCS-燃料デイトンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>HPCS-ディーゼル燃料移送ポンプ</td> <td>使用可能・電源なし・使用不可 ・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>HPCS-ディーゼル燃料貯蔵タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>緊急用M/C</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>SA-L/C</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>33</td> <td>SA1-C/C</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>34</td> <td>SA2-C/C</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>メタクラ切替盤</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>SA電源切替盤</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>37</td> <td>充電器電源切替盤</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>ガスタービン発電機 (2号炉)</td> <td>運転中・待機中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>ガスタービン発電機用サービスタンク (2号炉用)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>ガスタービン発電機燃料移送ポンプ (2号炉用)</td> <td>使用可能・電源なし・使用不可 ・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>41</td> <td>ガスタービン発電機 (予備)</td> <td>運転中・待機中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>42</td> <td>ガスタービン発電機用サービスタンク (予備)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>43</td> <td>ガスタービン発電機燃料移送ポンプ (予備)</td> <td>使用可能・電源なし・使用不可 ・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>44</td> <td>ガスタービン発電機用軽油タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>45</td> <td>2A-M/C</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>2B-M/C</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>230V系直流流盤 (常用)</td> <td>受電中・停電中・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>号炉間電力融通ケーブル</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>49</td> <td>号炉間連絡ケーブル</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>主蒸気逃がし安全弁用蓄電池 (補助盤室)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>51</td> <td>主蒸気逃がし安全弁用蓄電池 (原子炉建物)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="2101 1373 2475 1392">注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある</p>	番号	項目	状態	備考	24	HPCS-M/C	受電中・停電中・使用不可・不明		25	HPCS-C/C	受電中・停電中・使用不可・不明		26	高圧炉心スプレイ系直流流盤	受電中・停電中・使用不可・不明		27	HPCS-非常用ディーゼル発電機	運転中・待機中・冷却水なし ・使用不可・不明		28	HPCS-燃料デイトンク	使用可能・使用不可・不明		29	HPCS-ディーゼル燃料移送ポンプ	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明		30	HPCS-ディーゼル燃料貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明		31	緊急用M/C	受電中・停電中・使用不可・不明		32	SA-L/C	受電中・停電中・使用不可・不明		33	SA1-C/C	受電中・停電中・使用不可・不明		34	SA2-C/C	受電中・停電中・使用不可・不明		35	メタクラ切替盤	受電中・停電中・使用不可・不明		36	SA電源切替盤	受電中・停電中・使用不可・不明		37	充電器電源切替盤	受電中・停電中・使用不可・不明		38	ガスタービン発電機 (2号炉)	運転中・待機中・使用不可・不明		39	ガスタービン発電機用サービスタンク (2号炉用)	使用可能・使用不可・不明		40	ガスタービン発電機燃料移送ポンプ (2号炉用)	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明		41	ガスタービン発電機 (予備)	運転中・待機中・使用不可・不明		42	ガスタービン発電機用サービスタンク (予備)	使用可能・使用不可・不明		43	ガスタービン発電機燃料移送ポンプ (予備)	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明		44	ガスタービン発電機用軽油タンク	使用可能・使用不可・不明		45	2A-M/C	受電中・停電中・使用不可・不明		46	2B-M/C	受電中・停電中・使用不可・不明		47	230V系直流流盤 (常用)	受電中・停電中・使用不可・不明		48	号炉間電力融通ケーブル	使用可能・使用不可・不明		49	号炉間連絡ケーブル	使用可能・使用不可・不明		50	主蒸気逃がし安全弁用蓄電池 (補助盤室)	使用可能・使用不可・不明		51	主蒸気逃がし安全弁用蓄電池 (原子炉建物)	使用可能・使用不可・不明		
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																
1	プラント状況の確認が可能*	可能・不可																																																																																																																																																																																																																	
2	原子炉停止 (確認日時 / :)	成功・失敗・不明																																																																																																																																																																																																																	
3	原子炉水位	mm																																																																																																																																																																																																																	
4	原子炉圧力	MPa																																																																																																																																																																																																																	
5	原子炉格納容器圧力	kPa[abs]																																																																																																																																																																																																																	
6	主蒸気隔離弁	全開・全閉・一部開・不明																																																																																																																																																																																																																	
7	SFP 水位	m																																																																																																																																																																																																																	
8	SFP 温度	℃																																																																																																																																																																																																																	
9	ECCS 作動要求	作動要求あり・ 作動要求なし・不明																																																																																																																																																																																																																	
10	外部電源受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																
1	プロセスモニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																																																																	
2	エリアモニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																
1	送受信器 (ベージング)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
2	電力保安通信用電話設備	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
3	携帯型音声呼出電話設備	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
4	衛星電話設備 (常設)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
5	無線連絡設備 (常設)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
6	プロセス計算機	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
7	データ伝送装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
8	加入電話機	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																
24	HPCS-M/C	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
25	HPCS-C/C	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
26	高圧炉心スプレイ系直流流盤	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
27	HPCS-非常用ディーゼル発電機	運転中・待機中・冷却水なし ・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
28	HPCS-燃料デイトンク	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
29	HPCS-ディーゼル燃料移送ポンプ	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明																																																																																																																																																																																																																	
30	HPCS-ディーゼル燃料貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
31	緊急用M/C	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
32	SA-L/C	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
33	SA1-C/C	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
34	SA2-C/C	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
35	メタクラ切替盤	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
36	SA電源切替盤	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
37	充電器電源切替盤	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
38	ガスタービン発電機 (2号炉)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
39	ガスタービン発電機用サービスタンク (2号炉用)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
40	ガスタービン発電機燃料移送ポンプ (2号炉用)	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明																																																																																																																																																																																																																	
41	ガスタービン発電機 (予備)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
42	ガスタービン発電機用サービスタンク (予備)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
43	ガスタービン発電機燃料移送ポンプ (予備)	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明																																																																																																																																																																																																																	
44	ガスタービン発電機用軽油タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
45	2A-M/C	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
46	2B-M/C	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
47	230V系直流流盤 (常用)	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
48	号炉間電力融通ケーブル	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
49	号炉間連絡ケーブル	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
50	主蒸気逃がし安全弁用蓄電池 (補助盤室)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	
51	主蒸気逃がし安全弁用蓄電池 (原子炉建物)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																																																																																				
<p>個別4. 建屋アクセス性の確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>中央制御室へのアクセス性</td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>コントロール建屋へのアクセス性</td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>原子炉建屋へのアクセス性</td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>タービン建屋へのアクセス性</td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>廃棄物処理建屋へのアクセス性</td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>サービス建屋へのアクセス性</td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>海水熱交換器建屋へのアクセス性</td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所へのアクセス性</td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>発電所外からのアクセス性</td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※建屋の損壊状態を含め、事故対応への支障の有無の観点から確認する。</p>	番号	項目	状態	備考	1	中央制御室へのアクセス性	可能・不可・不明		2	コントロール建屋へのアクセス性	可能・不可・不明		3	原子炉建屋へのアクセス性	可能・不可・不明		4	タービン建屋へのアクセス性	可能・不可・不明		5	廃棄物処理建屋へのアクセス性	可能・不可・不明		6	サービス建屋へのアクセス性	可能・不可・不明		7	海水熱交換器建屋へのアクセス性	可能・不可・不明		8	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所へのアクセス性	可能・不可・不明		9	発電所外からのアクセス性	可能・不可・不明			<p>9. 各機器の確認 (常設設備の確認) 【ステップ1-4】</p> <p>確認者: _____ 確認日時: _____ 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">9.1 原子炉注水, 原子炉格納容器除熱設備【常設設備】</td> </tr> <tr><td>1</td><td>高圧炉心スプレイ・ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>原子炉隔離時冷却ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>高圧原子炉代替注水ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>A-ほう酸水注入ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>B-ほう酸水注入ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>原子炉浄化補助ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>A-制御棒駆動水圧ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>B-制御棒駆動水圧ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>低圧炉心スプレイ・ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>A-残留熱除去ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>B-残留熱除去ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>C-残留熱除去ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>A-復水輸送ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>B-復水輸送ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>C-復水輸送ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>A-消火ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明</td><td>消火設備兼用</td></tr> <tr><td>17</td><td>B-消火ポンプ</td><td>運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明</td><td>消火設備兼用</td></tr> </tbody> </table>	番号	項目	状態	備考	9.1 原子炉注水, 原子炉格納容器除熱設備【常設設備】				1	高圧炉心スプレイ・ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明		2	原子炉隔離時冷却ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明		3	高圧原子炉代替注水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明		4	A-ほう酸水注入ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明		5	B-ほう酸水注入ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明		6	原子炉浄化補助ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明		7	A-制御棒駆動水圧ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明		8	B-制御棒駆動水圧ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明		9	低圧炉心スプレイ・ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明		10	A-残留熱除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明		11	B-残留熱除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明		12	C-残留熱除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明		13	A-復水輸送ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明		14	B-復水輸送ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明		15	C-復水輸送ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明		16	A-消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用	17	B-消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																				
1	中央制御室へのアクセス性	可能・不可・不明																																																																																																																					
2	コントロール建屋へのアクセス性	可能・不可・不明																																																																																																																					
3	原子炉建屋へのアクセス性	可能・不可・不明																																																																																																																					
4	タービン建屋へのアクセス性	可能・不可・不明																																																																																																																					
5	廃棄物処理建屋へのアクセス性	可能・不可・不明																																																																																																																					
6	サービス建屋へのアクセス性	可能・不可・不明																																																																																																																					
7	海水熱交換器建屋へのアクセス性	可能・不可・不明																																																																																																																					
8	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所へのアクセス性	可能・不可・不明																																																																																																																					
9	発電所外からのアクセス性	可能・不可・不明																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																				
9.1 原子炉注水, 原子炉格納容器除熱設備【常設設備】																																																																																																																							
1	高圧炉心スプレイ・ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明																																																																																																																					
2	原子炉隔離時冷却ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明																																																																																																																					
3	高圧原子炉代替注水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明																																																																																																																					
4	A-ほう酸水注入ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明																																																																																																																					
5	B-ほう酸水注入ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明																																																																																																																					
6	原子炉浄化補助ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明																																																																																																																					
7	A-制御棒駆動水圧ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明																																																																																																																					
8	B-制御棒駆動水圧ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明																																																																																																																					
9	低圧炉心スプレイ・ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明																																																																																																																					
10	A-残留熱除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明																																																																																																																					
11	B-残留熱除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明																																																																																																																					
12	C-残留熱除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明																																																																																																																					
13	A-復水輸送ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明																																																																																																																					
14	B-復水輸送ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明																																																																																																																					
15	C-復水輸送ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明																																																																																																																					
16	A-消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用																																																																																																																				
17	B-消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用																																																																																																																				
<p>個別5. 施設損壊状態確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>SFP 損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>原子炉格納容器損傷 (ドライウエル)</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>原子炉格納容器損傷 (サブプレッション・チェンバ)</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>復水貯蔵槽損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td>水位 m</td></tr> <tr><td>5</td><td>原子炉建屋損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>タービン建屋損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>コントロール建屋損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>廃棄物処理建屋損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>サービス建屋損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>非常用取水設備損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>主排気筒損傷</td><td>損傷あり・損傷なし・不明</td><td></td></tr> </tbody> </table>	番号	項目	状態	備考	1	SFP 損傷	損傷あり・損傷なし・不明		2	原子炉格納容器損傷 (ドライウエル)	損傷あり・損傷なし・不明		3	原子炉格納容器損傷 (サブプレッション・チェンバ)	損傷あり・損傷なし・不明		4	復水貯蔵槽損傷	損傷あり・損傷なし・不明	水位 m	5	原子炉建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明		6	タービン建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明		7	コントロール建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明		8	廃棄物処理建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明		9	サービス建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明		10	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所損傷	損傷あり・損傷なし・不明		11	非常用取水設備損傷	損傷あり・損傷なし・不明		12	主排気筒損傷	損傷あり・損傷なし・不明			<p>注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直す可能性がある</p>																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																				
1	SFP 損傷	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
2	原子炉格納容器損傷 (ドライウエル)	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
3	原子炉格納容器損傷 (サブプレッション・チェンバ)	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
4	復水貯蔵槽損傷	損傷あり・損傷なし・不明	水位 m																																																																																																																				
5	原子炉建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
6	タービン建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
7	コントロール建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
8	廃棄物処理建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
9	サービス建屋損傷	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
10	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所損傷	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
11	非常用取水設備損傷	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					
12	主排気筒損傷	損傷あり・損傷なし・不明																																																																																																																					

個別6. 電源系統の確認

番号	項目	状態	備考
1	非常用ディーゼル発電機 (A)	運転中・待機中・使用不可・不明	
2	非常用ディーゼル発電機 (A)燃料ディタンク	使用可能・使用不可・不明	
3	非常用ディーゼル発電機 (A)燃料移送ポンプ	使用可能・使用不可・不明	
4	非常用ディーゼル発電機 (B)	運転中・待機中・使用不可・不明	
5	非常用ディーゼル発電機 (B)燃料ディタンク	使用可能・使用不可・不明	
6	非常用ディーゼル発電機 (B)燃料移送ポンプ	使用可能・使用不可・不明	
7	非常用ディーゼル発電機 (C)	運転中・待機中・使用不可・不明	
8	非常用ディーゼル発電機 (C)燃料ディタンク	使用可能・使用不可・不明	
9	非常用ディーゼル発電機 (C)燃料移送ポンプ	使用可能・使用不可・不明	
10	軽油タンク (A)	使用可能・使用不可・不明	
11	軽油タンク (B)	使用可能・使用不可・不明	
12	非常用 M/C (C)受電	受電中・停電中・使用不可・不明	
13	非常用 M/C (D)受電	受電中・停電中・使用不可・不明	
14	非常用 M/C (E)受電	受電中・停電中・使用不可・不明	
15	非常用 P/C (C-1)受電	受電中・停電中・使用不可・不明	
16	非常用 P/C (C-2)受電	受電中・停電中・使用不可・不明	
17	非常用 P/C (D-1)受電	受電中・停電中・使用不可・不明	
18	非常用 P/C (D-2)受電	受電中・停電中・使用不可・不明	
19	非常用 P/C (E-1)受電	受電中・停電中・使用不可・不明	
20	非常用 P/C (E-2)受電	受電中・停電中・使用不可・不明	

第1表 プラント状態チェックシート (7/10)

10. 可搬型設備、資機材等の確認 (1/3) 【ステップ①-④】

(1) 西側保管場所

確認者	確認日時	年	月	日	時	分	
番号	項目	状態					備考
10-1	可搬型代替注水大型ポンプ (原子炉注水等用)	使用可能・使用不可・不明					
10-2	可搬型代替注水大型ポンプ (放水用)	使用可能・使用不可・不明					
10-3	可搬型代替注水中型ポンプ (原子炉注水等用)	使用可能・使用不可・不明					
10-4	可搬型代替注水中型ポンプ (消火用)	使用可能・使用不可・不明					
10-5	ホース (150A)	使用可能・使用不可・不明					
10-6	ホース (200A)	使用可能・使用不可・不明					
10-7	ホース (250A)	使用可能・使用不可・不明					
10-8	ホース (放水用) (300A)	使用可能・使用不可・不明					
10-9	ホース展開車 (消火用)	使用可能・使用不可・不明					
10-10	ホース展開車 (原子炉注水等用)	使用可能・使用不可・不明					
10-11	ホース展開車 (放水/代替RHS用)	使用可能・使用不可・不明					
10-12	放水砲	使用可能・使用不可・不明					
10-13	泡消火薬剤容器 (大型ポンプ用)	使用可能・使用不可・不明					
10-14	放水砲/泡消火薬剤運搬車	使用可能・使用不可・不明					
10-15	放水銃	使用可能・使用不可・不明					
10-16	水槽付消防ポンプ自動車	使用可能・使用不可・不明					
10-17	泡消火薬剤容器 (消防用)	使用可能・使用不可・不明					
10-18	可搬型代替低圧電源車	使用可能・使用不可・不明					
10-19	ケーブル	使用可能・使用不可・不明					
10-20	可搬型ケーブル運搬車	使用可能・使用不可・不明					
10-21	可搬型整流器	使用可能・使用不可・不明					
10-22	可搬型整流器運搬車	使用可能・使用不可・不明					
10-23	窒素供給装置	使用可能・使用不可・不明					
10-24	窒素供給装置用電源車	使用可能・使用不可・不明					
10-25	汚濁防止膜	使用可能・使用不可・不明					
10-26	汚濁防止膜運搬車	使用可能・使用不可・不明					
10-27	放射性物質吸着材	使用可能・使用不可・不明					
10-28	小型船舶	使用可能・使用不可・不明					
10-29	小型船舶運搬車	使用可能・使用不可・不明					
10-30	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明					
10-31	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明					

番号	項目	状態	備考
18	A-補助消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用
19	B-補助消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用
20	A-低圧原子炉代替注水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
21	B-低圧原子炉代替注水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
22	A-残留熱代替除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
23	B-残留熱代替除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
24	A-復水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
25	B-復水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
26	C-復水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
27	A-復水昇圧ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
28	B-復水昇圧ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
29	C-復水昇圧ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
30	A-タービン駆動原子炉給水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
31	B-タービン駆動原子炉給水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
32	A-電動機駆動原子炉給水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
33	B-電動機駆動原子炉給水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
34	タービンバイパス弁	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明	
35	逃がし安全弁	使用可能・電源なし・使用不可 ・不明	

注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直す可能性がある

番号	項目	状態	備考
21	計器用バイタル(A)受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明	
22	計器用バイタル(B)受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明	
23	計器用バイタル(C)受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明	
24	計器用バイタル(D)受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明	
25	直流 125V 主母線(A)受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明	
26	直流 125V 主母線(B)受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明	
27	直流 125V 主母線(C)受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明	
28	直流 125V 主母線(D)受電	受電中・停電中・ 使用不可・不明	
29	安全系蓄電池用充電器	使用可能・使用不可・ 不明	
30	常設代替直流電源設備 (AM 用直流電源)	使用可能・使用不可・ 不明	
31	号炉間融通設備	使用可能・使用不可・ 不明	
32	代替所内電気設備	使用可能・使用不可・ 不明	
33	大湊側緊急用高圧母線	使用可能・使用不可・ 不明	
34	荒浜側緊急用高圧母線	使用可能・使用不可・ 不明	
35	可搬型直流電源設備	使用可能・使用不可・ 不明	

個別 7. 機器状態の確認

番号	項目	状態	備考
7-1. 炉心注水, 原子炉格納容器除熱機器【常設設備】			
1	原子炉隔離時冷却ポンプ	運転中・待機中・ 使用不可・不明	
2	高圧代替注水ポンプ	運転中・待機中・ 使用不可・不明	
3	高圧炉心注水ポンプ(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	

第 1 表 プラント状態チェックシート (8/10)

10. 可搬型設備, 資機材等の確認 (2/3) 【ステップ①-4】

(2) 南側保管場所

確認者	確認日時	年	月	日	時	分
番号	項目	状態		備考		
10-32	可搬型代替注水大型ポンプ (原子炉注水等用)	使用可能・使用不可・不明				
10-33	可搬型代替注水大型ポンプ (放水用)	使用可能・使用不可・不明				
10-34	可搬型代替注水中型ポンプ (原子炉注水等用)	使用可能・使用不可・不明				
10-35	ホース (200A)	使用可能・使用不可・不明				
10-36	ホース (250A)	使用可能・使用不可・不明				
10-37	ホース (放水用) (300A)	使用可能・使用不可・不明				
10-38	ホース展開車 (原子炉注水等用)	使用可能・使用不可・不明				
10-39	ホース展開車 (放水/代替RHS用)	使用可能・使用不可・不明				
10-40	放水砲	使用可能・使用不可・不明				
10-41	泡消火薬剤容器 (大型ポンプ用)	使用可能・使用不可・不明				
10-42	放水砲/泡消火薬剤運搬車	使用可能・使用不可・不明				
10-43	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明				
10-44	泡消火薬剤容器 (消防用)	使用可能・使用不可・不明				
10-45	可搬型代替低圧電源車	使用可能・使用不可・不明				
10-46	ケーブル	使用可能・使用不可・不明				
10-47	可搬型ケーブル運搬車	使用可能・使用不可・不明				
10-48	可搬型整流器	使用可能・使用不可・不明				
10-49	可搬型整流器運搬車	使用可能・使用不可・不明				
10-50	窒素供給装置	使用可能・使用不可・不明				
10-51	窒素供給装置用電源車	使用可能・使用不可・不明				
10-52	汚濁防止膜	使用可能・使用不可・不明				
10-53	汚濁防止膜運搬車	使用可能・使用不可・不明				
10-54	放射性物質吸着材	使用可能・使用不可・不明				
10-55	小型船舶	使用可能・使用不可・不明				
10-56	小型船舶運搬車	使用可能・使用不可・不明				
10-57	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明				
10-58	油圧ショベル	使用可能・使用不可・不明				
10-59	ブルドーザ	使用可能・使用不可・不明				
10-60	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明				

番号	項目	状態	備考
36	逃がし安全弁窒素ガス代替供給設備	使用可能・電源なし・使用不可・ 不明	
37	逃がし安全弁用窒素ガスポンプ	使用可能・使用不可・不明	
38	格納容器フィルタベント系	使用可能・電源なし・使用不可・ 不明	
39	耐圧強化ベントライン	使用可能・電源なし・使用不可・ 不明	
40	遠隔手動弁操作機構	使用可能・使用不可・不明	
41	ドライウェル冷却装置	運転中・待機中・電源なし・ 冷却水なし・使用不可・不明	
42	サブプレッション・プール水 pH制御系	使用可能・電源なし・使用不可・ 不明	
9.2 水素爆発防止設備【常設設備】			
1	A-可燃性ガス濃度制御系再結合装置	運転中・待機中・電源なし・ 冷却水なし・使用不可・不明	
2	A-可燃性ガス濃度制御系再結合器ブロウ	運転中・待機中・電源なし・ 使用不可・不明	
3	B-可燃性ガス濃度制御系再結合装置	運転中・待機中・電源なし・ 冷却水なし・使用不可・不明	
4	B-可燃性ガス濃度制御系再結合器ブロウ	運転中・待機中・電源なし・ 使用不可・不明	
5	静的触媒式水素処理装置	使用可能・使用不可・不明	
6	原子炉建物燃料取替階ブローアウトパネル	使用可能・使用不可・不明	
7	窒素ガス制御系	使用可能・電源なし・使用不可・ 不明	

(注) プラント状態確認チェックシートは, 今後の訓練によって見直し可能性がある

番号	項目	状態	備考
4	高压炉心注水ポンプ(C)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
5	ほう酸水注入系ポンプ(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
6	ほう酸水注入系ポンプ(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
7	ほう酸水注入系貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明	
8	制御棒駆動水ポンプ(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
9	制御棒駆動水ポンプ(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
10	逃がし安全弁	使用可能・使用不可・不明	
11	タービンバイパス弁(タービン制御系)	使用可能・使用不可・不明	
12	高压窒素ガス供給系(高压窒素ガスポンプ)	使用可能・使用不可・不明	
13	残留熱除去系ポンプ(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
14	残留熱除去系ポンプ(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
15	残留熱除去系ポンプ(C)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
16	復水移送ポンプ(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
17	復水移送ポンプ(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
18	復水移送ポンプ(C)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
19	ドライウエル冷却送風機(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
20	ドライウエル冷却送風機(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
21	ドライウエル冷却送風機(C)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
22	ドライウエル除湿冷却器(A)	使用可能・使用不可・不明	
23	ドライウエル除湿冷却器(B)	使用可能・使用不可・不明	
24	低压復水ポンプ(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	

第1表 プラント状態チェックシート (9/10)

10. 可搬型設備、資機材等の確認 (3/3) 【ステップ①-4】

(3) 予備機置場

確認者	確認日時	年	月	日	時	分
番号	項目	状態		備考		
10-61	可搬型代替注水大型ポンプ(原子炉注水等用)	使用可能・使用不可・不明				
10-62	可搬型代替注水中型ポンプ(原子炉注水等用)	使用可能・使用不可・不明				
10-63	ホース展張車(原子炉注水等用)	使用可能・使用不可・不明				
10-64	ホース展張車(放水/代替RHRS用)	使用可能・使用不可・不明				
10-65	可搬型代替低圧電源車	使用可能・使用不可・不明				
10-66	可搬型高圧窒素供給装置	使用可能・使用不可・不明				
10-67	放射能観測車	使用可能・使用不可・不明				
10-68	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明				
10-69	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明				

(4) 監視所付近

確認者	確認日時	年	月	日	時	分
番号	項目	状態		備考		
10-70	水槽付消防ポンプ自動車	使用可能・使用不可・不明				
10-71	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明				
10-72	泡消火薬剤容器(消防用)	使用可能・使用不可・不明				

(5) 原子炉建屋内

確認者	確認日時	年	月	日	時	分
番号	項目	状態		備考		
10-73	可搬型スプレインゾル	使用可能・使用不可・不明				
10-74	ホース(65A)	使用可能・使用不可・不明				
10-75	高圧窒素ポンプ	使用可能・使用不可・不明				
10-76	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	使用可能・使用不可・不明				

番号	項目	状態	備考
9.3 補機冷却設備【常設設備】			
1	A-原子炉補機冷却水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
2	B-原子炉補機冷却水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
3	C-原子炉補機冷却水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
4	D-原子炉補機冷却水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
5	A-原子炉補機海水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
6	B-原子炉補機海水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
7	C-原子炉補機海水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
8	D-原子炉補機海水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
9	高压炉心スプレイ補機冷却水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
10	高压炉心スプレイ補機海水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
11	A-タービン補機冷却水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
12	B-タービン補機冷却水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
13	C-タービン補機冷却水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
14	A-タービン補機海水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
15	B-タービン補機海水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
16	C-タービン補機海水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	

(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある

番号	項目	状態	備考
25	低圧復水ポンプ(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
26	低圧復水ポンプ(C)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
27	高圧復水ポンプ(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
28	高圧復水ポンプ(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
29	高圧復水ポンプ(C)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
30	電動駆動給水ポンプ(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
31	電動駆動給水ポンプ(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
32	タービン駆動給水ポンプ (A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
33	タービン駆動給水ポンプ (B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
34	格納容器圧力逃がし装置 (フィルタベント)	使用可能・使用不可・不明	
35	耐圧強化ベント	使用可能・使用不可・不明	
36	格納容器 pH 制御装置	使用可能・使用不可・不明	
37	遠隔手動弁操作設備 (エクステンション)	使用可能・使用不可・不明	
38	空気駆動弁操作ポンプ	使用可能・使用不可・不明	
39	非常用ガス処理系	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
40	真空破壊弁	使用可能・使用不可・不明	
7-2. SFP 注水, 除熱機器【常設設備】			
1	燃料プール冷却ポンプ(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
2	燃料プール冷却ポンプ(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
3	サブプレッションプール浄化 系ポンプ	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
4	常設スプレイヘッダ	使用可能・使用不可・不明	
5	可搬型スプレイヘッダ	使用可能・使用不可・不明	
6	ステンレス鋼板	使用可能・使用不可・不明	

第1表 プラント状態チェックシート (10/10)

11. 水源の確認 【ステップ①-4】

確認者	確認日時	年	月	日	時	分	
番号	項目	状態					備考
11-1	サブプレッション・チェンバ	使用可能・使用不可・不明					
11-2	代替淡水貯槽	使用可能・使用不可・不明					
11-3	西側淡水貯水設備	使用可能・使用不可・不明					
11-4	復水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明					
11-5	ろ過水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明					
11-6	多目的タンク	使用可能・使用不可・不明					
11-7	純水タンク	使用可能・使用不可・不明					
11-8	原水タンク	使用可能・使用不可・不明					

番号	項目	状態	備考
9.4 燃料プール注水, 除熱設備【常設設備】			
1	A-燃料プール冷却ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
2	B-燃料プール冷却ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
3	燃料プール補給水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
4	燃料プール監視カメラ(SA)	使用可能・電源なし・冷却水なし ・使用不可・不明	
5	燃料プール監視カメラ用冷却設備	使用可能・使用不可・電源なし ・不明	
6	A-残留熱除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
7	B-残留熱除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
8	C-残留熱除去ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・冷却水なし・使用不可・不明	
9	A-復水輸送ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
10	B-復水輸送ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
11	C-復水輸送ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
12	A-消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用
13	B-消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用
14	A-補助消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用
15	B-補助消火ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	消火設備兼用
16	A-補給水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
17	B-補給水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	
18	C-補給水ポンプ	運転中・待機中・電源なし ・使用不可・不明	

注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

番号	項目	状態	備考
7-3. 水素爆発防止設備【常設設備】			
1	格納容器内雰囲気モニタ 水素・酸素濃度	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
2	再結合器プロア(A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
3	再結合器プロア(B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
4	静的触媒式水素再結合装置 (原子炉建屋水素処理設備)	使用可能・使用不可・不明	
5	不活性ガス系	使用可能・使用不可・不明	
6	原子炉建屋トップベント	使用可能・使用不可・不明	
7-4. 補機冷却設備【常設設備】			
1	原子炉補機冷却水ポンプ (A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
2	原子炉補機冷却水ポンプ (B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
3	原子炉補機冷却水ポンプ (C)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
4	原子炉補機冷却水ポンプ (D)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
5	原子炉補機冷却水ポンプ (E)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
6	原子炉補機冷却水ポンプ (F)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
7	原子炉補機冷却海水ポンプ (A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
8	原子炉補機冷却海水ポンプ (B)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
9	原子炉補機冷却海水ポンプ (C)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
10	原子炉補機冷却海水ポンプ (D)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
11	原子炉補機冷却海水ポンプ (E)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
12	原子炉補機冷却海水ポンプ (F)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	
13	タービン補機冷却水ポンプ (A)	運転中・停止中・ 電源なし・使用不可・不明	

番号	項目	状態	備考
9.5 可搬型設備接続口			
1	低圧原子炉代替注水系(可搬型)接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・西側 ・建物内
2	格納容器代替スプレイ系(可搬型)接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・西側 ・建物内
3	ペDESTAL代替注水系(可搬型)接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・西側 ・建物内
4	燃料プールのスプレイ系(常設スプレイヘッ ダ)接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・西側
5	原子炉補機代替冷却系接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・西側 ・建物内
6	高圧発電機車接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・西側 ・GTG建物
7	直流給電車接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・ Rw/B南側
8	原子炉ウエル代替注水系接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・西側
9	窒素ガス代替注入系サブプレッション・チェン パ側供給用接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・建物内
10	窒素ガス代替注入系ドライウエル側供給用 接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・建物内
11	格納容器フィルタベント系窒素ガス供給用 接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側・建物内
12	格納容器フィルタベント系スクラバ水補給 用接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側
13	格納容器フィルタベント系水素濃度測定用 接続口	使用可能・使用不可・不明	使用可能な接続口: R/B南側

注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																																																																																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">10.2 第2保管エリア (EL4.4m)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>大量送水車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>中型ホース展張車 (150A)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>可搬型ストレータ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td colspan="4">10.3 第3保管エリア (EL13～33m)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>大量送水車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>可搬型ストレータ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>中型ホース展張車 (150A)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>大型送水ポンプ車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ホイールローダ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>タンクローリ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>高圧発電機車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>移動式代替熱交換設備</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td colspan="4">10.4 第4保管エリア (EL8.5m)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>第1ベントフィルタ出口水素濃度</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>高圧発電機車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>移動式代替熱交換設備</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>250A ホース</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 本</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ホース運搬車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>大型送水ポンプ車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>300A ホース</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 本</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>大型ホース展張車 (300A)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>可搬式窒素供給装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>放射性物質吸着材</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 組</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>放射性物質吸着材運搬車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>シルトフェンス運搬車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>シルトフェンス</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 組</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>タンクローリ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>ホイールローダ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>放水砲</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>化学消防自動車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>泡消火薬剤容器運搬車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>小型動力ポンプ付水槽車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>小型放水砲</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>泡消火薬剤容器</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 個</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>大量送水車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>大型ホース展張車 (150A)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td>使用可能： 台</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直す可能性がある</p>	番号	項目	状態	備考	10.2 第2保管エリア (EL4.4m)				1	大量送水車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	2	中型ホース展張車 (150A)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	3	可搬型ストレータ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	10.3 第3保管エリア (EL13～33m)				1	大量送水車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	2	可搬型ストレータ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	3	中型ホース展張車 (150A)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	4	大型送水ポンプ車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	5	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	6	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	7	高圧発電機車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	8	移動式代替熱交換設備	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	10.4 第4保管エリア (EL8.5m)				1	第1ベントフィルタ出口水素濃度	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	2	高圧発電機車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	3	移動式代替熱交換設備	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	4	250A ホース	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 本	5	ホース運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	6	大型送水ポンプ車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	7	300A ホース	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 本	8	大型ホース展張車 (300A)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	9	可搬式窒素供給装置	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	10	放射性物質吸着材	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 組	11	放射性物質吸着材運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	12	シルトフェンス運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	13	シルトフェンス	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 組	14	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	15	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	16	放水砲	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	17	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	18	泡消火薬剤容器運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	19	小型動力ポンプ付水槽車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	20	小型放水砲	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	21	泡消火薬剤容器	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 個	22	大量送水車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	23	大型ホース展張車 (150A)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																								
10.2 第2保管エリア (EL4.4m)																																																																																																																																																											
1	大量送水車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
2	中型ホース展張車 (150A)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
3	可搬型ストレータ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
10.3 第3保管エリア (EL13～33m)																																																																																																																																																											
1	大量送水車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
2	可搬型ストレータ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
3	中型ホース展張車 (150A)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
4	大型送水ポンプ車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
5	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
6	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
7	高圧発電機車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
8	移動式代替熱交換設備	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
10.4 第4保管エリア (EL8.5m)																																																																																																																																																											
1	第1ベントフィルタ出口水素濃度	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
2	高圧発電機車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
3	移動式代替熱交換設備	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
4	250A ホース	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 本																																																																																																																																																								
5	ホース運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
6	大型送水ポンプ車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
7	300A ホース	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 本																																																																																																																																																								
8	大型ホース展張車 (300A)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
9	可搬式窒素供給装置	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
10	放射性物質吸着材	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 組																																																																																																																																																								
11	放射性物質吸着材運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
12	シルトフェンス運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
13	シルトフェンス	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 組																																																																																																																																																								
14	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
15	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
16	放水砲	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
17	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
18	泡消火薬剤容器運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
19	小型動力ポンプ付水槽車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
20	小型放水砲	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
21	泡消火薬剤容器	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 個																																																																																																																																																								
22	大量送水車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								
23	大型ホース展張車 (150A)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																																																								

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																																																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>24</td><td>可搬型ストレナ</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 台</td></tr> <tr><td>25</td><td>小型船舶</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 隻</td></tr> <tr><td>26</td><td>小型船舶運搬車</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 台</td></tr> <tr><td>27</td><td>可搬式モニタリング・ポスト</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 台</td></tr> <tr><td>28</td><td>モニタリング設備運搬車</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 台</td></tr> <tr><td>29</td><td>可搬式気象観測装置</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 台</td></tr> <tr><td>30</td><td>緊急時対策所用発電機</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 台</td></tr> <tr><td>31</td><td>緊急時対策所空気浄化送風機</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 台</td></tr> <tr><td>32</td><td>緊急時対策所空気浄化フィルタユニット</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 台</td></tr> <tr><td>33</td><td>緊急時対策所正圧化装置 (空気ポンペ)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>使用可能： 式</td></tr> </tbody> </table> <p>11. 水源の確認【ステップ1-4】</p> <p>確認者： _____ 確認日時： _____ 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ほう酸水貯蔵タンク</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m</td></tr> <tr><td>2</td><td>ほう酸水注入系テストタンク</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m</td></tr> <tr><td>3</td><td>復水貯蔵タンク</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m</td></tr> <tr><td>4</td><td>サブプレッション・チェンバ</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m</td></tr> <tr><td>5</td><td>低圧原子炉代替注水槽</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m</td></tr> <tr><td>6</td><td>1号ろ過水タンク</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m 消火用水源兼用</td></tr> <tr><td>7</td><td>2号ろ過水タンク</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m 消火用水源兼用</td></tr> <tr><td>8</td><td>非常用ろ過水タンク</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m 消火用水源兼用</td></tr> <tr><td>9</td><td>純水タンク</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m</td></tr> <tr><td>10</td><td>輪谷貯水槽(西1)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m</td></tr> <tr><td>11</td><td>輪谷貯水槽(西2)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>水位： m</td></tr> <tr><td>12</td><td>輪谷貯水槽(東1)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>輪谷貯水槽(東2)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>非常用取水設備</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>海水取水箇所</td></tr> <tr><td>15</td><td>荷揚場</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>海水取水箇所</td></tr> <tr><td>16</td><td>2号炉放水槽</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>海水取水箇所</td></tr> <tr><td>17</td><td>1号炉取水槽</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>海水取水箇所</td></tr> <tr><td>18</td><td>3号炉取水管点検立坑</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>海水取水箇所</td></tr> <tr><td>19</td><td>補助消火水槽</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td>消火用水源兼用</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある</p>	番号	項目	状態	備考	24	可搬型ストレナ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	25	小型船舶	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 隻	26	小型船舶運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	27	可搬式モニタリング・ポスト	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	28	モニタリング設備運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	29	可搬式気象観測装置	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	30	緊急時対策所用発電機	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	31	緊急時対策所空気浄化送風機	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	32	緊急時対策所空気浄化フィルタユニット	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台	33	緊急時対策所正圧化装置 (空気ポンペ)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 式	番号	項目	状態	備考	1	ほう酸水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m	2	ほう酸水注入系テストタンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m	3	復水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m	4	サブプレッション・チェンバ	使用可能・使用不可・不明	水位： m	5	低圧原子炉代替注水槽	使用可能・使用不可・不明	水位： m	6	1号ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m 消火用水源兼用	7	2号ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m 消火用水源兼用	8	非常用ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m 消火用水源兼用	9	純水タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m	10	輪谷貯水槽(西1)	使用可能・使用不可・不明	水位： m	11	輪谷貯水槽(西2)	使用可能・使用不可・不明	水位： m	12	輪谷貯水槽(東1)	使用可能・使用不可・不明		13	輪谷貯水槽(東2)	使用可能・使用不可・不明		14	非常用取水設備	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所	15	荷揚場	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所	16	2号炉放水槽	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所	17	1号炉取水槽	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所	18	3号炉取水管点検立坑	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所	19	補助消火水槽	使用可能・使用不可・不明	消火用水源兼用	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																												
24	可搬型ストレナ	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																												
25	小型船舶	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 隻																																																																																																																												
26	小型船舶運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																												
27	可搬式モニタリング・ポスト	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																												
28	モニタリング設備運搬車	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																												
29	可搬式気象観測装置	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																												
30	緊急時対策所用発電機	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																												
31	緊急時対策所空気浄化送風機	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																												
32	緊急時対策所空気浄化フィルタユニット	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 台																																																																																																																												
33	緊急時対策所正圧化装置 (空気ポンペ)	使用可能・使用不可・不明	使用可能： 式																																																																																																																												
番号	項目	状態	備考																																																																																																																												
1	ほう酸水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m																																																																																																																												
2	ほう酸水注入系テストタンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m																																																																																																																												
3	復水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m																																																																																																																												
4	サブプレッション・チェンバ	使用可能・使用不可・不明	水位： m																																																																																																																												
5	低圧原子炉代替注水槽	使用可能・使用不可・不明	水位： m																																																																																																																												
6	1号ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m 消火用水源兼用																																																																																																																												
7	2号ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m 消火用水源兼用																																																																																																																												
8	非常用ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m 消火用水源兼用																																																																																																																												
9	純水タンク	使用可能・使用不可・不明	水位： m																																																																																																																												
10	輪谷貯水槽(西1)	使用可能・使用不可・不明	水位： m																																																																																																																												
11	輪谷貯水槽(西2)	使用可能・使用不可・不明	水位： m																																																																																																																												
12	輪谷貯水槽(東1)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																													
13	輪谷貯水槽(東2)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																													
14	非常用取水設備	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所																																																																																																																												
15	荷揚場	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所																																																																																																																												
16	2号炉放水槽	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所																																																																																																																												
17	1号炉取水槽	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所																																																																																																																												
18	3号炉取水管点検立坑	使用可能・使用不可・不明	海水取水箇所																																																																																																																												
19	補助消火水槽	使用可能・使用不可・不明	消火用水源兼用																																																																																																																												

実際の運用では本例示のように記載内容をより具体化した様式を用いる。

作成責任者：総務班長

共通

目標：事業発生後、30分以内確認

確認時間

2. 対応可能な要員の確認

NO.	設備・機器・項目	状態	確認内容	作成者	提出先	備考
1	本部系(1名)	名	・警備状況・安否			※1 カコ内は発電所での必要最低人数
2	本部のOP/安全監視担当(1名)	名	・警備状況・安否			※2 6号及び7号炉の原子炉主任技師をそれぞれ1名は、原則に非常警備が可能なエリアに待機する
3	原子炉主任技術者(2名) ^{※1}	名	・警備状況・安否			
4	対外対応技師(1名) 通報班(2名) 立地・広域班(1名)	名	・警備状況・安否			
5	計画・情報班(1名) 計画班(1~3号)(2名) 計画班(6,7号)(2名) 保安班(2名) 保安班班長(1名)	名	・警備状況・安否			
6	1~3号炉 監視班(1名) 監視班(1名) 復旧班(1名)	名	・警備状況・安否	総務班長	計画班	
7	6号炉 監視班(1名) 監視班(3名) 復旧班(2名)	名	・警備状況・安否			
8	7号炉 監視班(1名) 監視班(3名) 復旧班(2名)	名	・警備状況・安否			
9	復旧班班長(1名) 復旧班(16名)	名	・警備状況・安否			
10	総務班(1名) 総務班(1名)	名	・警備状況・安否			
11	自衛消防班(10名)	名	・警備状況・安否			

(注)記載内容については、今後の運用によって見直し可能性がある

・記載表現の相違
【柏崎 6/7】
柏崎 6/7 は、使用する様式を記載

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: right;">添付資料 2. 1. 12</p> <p><u>個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧について</u></p> <p>大規模損壊発生時に初動対応フローから選択する個別戦略の決定に当たっては、要員及び設備を含めた残存する資源から必要な手順等を確認し、有効な戦略を迅速かつ確実に選定する必要がある。</p> <p><u>表 1 に示す個別戦略による対応が必要と判断された場合には、個別戦略フローに基づいて当該の手順書等を選択し、事故緩和措置を実施する。</u></p> <p>また、大規模損壊発生時の対応手順書等の体系図を示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2. 1. 11</p> <p>大規模損壊発生時に使用する対応手順書及び設備一覧について</p> <p>大規模損壊発生時に初動対応フローから選択する個別戦略の決定に当たっては、要員及び設備を含めた残存する資源から必要な手順等を確認し、有効な戦略を迅速かつ確実に選定する必要がある。</p> <p>第1表に個別戦略において必要な対応操作、対応操作に必要な設備とその容量、準備開始から必要となるまでの時間、必要な要員数をまとめた表を示す。</p> <p>また、第1図に大規模損壊発生時の対応手順書体系図を示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2. 1. 12</p> <p>大規模損壊発生時に使用する対応手順書及び設備一覧について</p> <p>大規模損壊発生時に初動対応フローから選択する個別戦略の決定に当たっては、要員及び設備を含めた残存する資源から必要な手順等を確認し、有効な戦略を迅速かつ確実に選定する必要がある。</p> <p>第 1 表に個別戦略において必要な対応操作、対応操作に必要な設備とその容量、準備開始から必要となるまでの時間、必要な要員数をまとめた表を示す。</p> <p>また、第 1 図に大規模損壊発生時の対応手順書体系図を示す。</p>	

表 1 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (7号炉の例) (2/14)

個別戦略	手順書等	技術的能力に係る書式等の該当項目	主要な使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
③ 原子炉停止戦略	「個々の設備の電動投入」		—	—	—	中機操作 全数全挿入又は16分以下まで継続	運転員 2名
	「原子炉水位制御」	(1.1)	<ul style="list-style-type: none"> 電動機駆動原子炉給水ポンプ 台数：2台 (容量：2340m³/h/台、揚程：85m) 高圧復水ポンプ 台数：3台 (容量：3300m³/h/台、揚程：22m) 低圧復水ポンプ 台数：3台 (容量：2700m³/h/台、揚程：15m) 制御機駆動水ポンプ 台数：2台 (容量：40m³/h/台、揚程：1420m) 原子炉内循環冷却系ポンプ 台数：1台 (容量：1850m³/h、揚程：高圧側900m、低圧側185m) 高圧炉心冷却水ポンプ 台数：1台 (容量：高圧側182m³/h、低圧側727m³/h、揚程：高圧側890m、低圧側190m) 	—	—	電源有の場合 中機操作	運転員 2名
④ 原子炉停止戦略への注水戦略	「原子炉注水」	(1.2) (1.3) (1.4) (1.13)	<ul style="list-style-type: none"> 高圧炉心冷却水ポンプ 台数：1台 (容量：高圧側182m³/h、低圧側727m³/h、揚程：高圧側890m、低圧側190m) 電動機駆動原子炉給水ポンプ 台数：2台 (容量：2340m³/h/台、揚程：85m) 高圧復水ポンプ 台数：3台 (容量：3300m³/h/台、揚程：22m) 低圧復水ポンプ 台数：3台 (容量：2700m³/h/台、揚程：15m) 高圧炉心冷却水ポンプ 台数：3台 (容量：954m³/h、揚程：125m) 	—	—	電源有の場合 中機操作	運転員 2名
	「注水戦略」		<ul style="list-style-type: none"> 復水移送ポンプ 台数：3台 (容量：150m³/h/台、揚程：103m) 	—	—	電源有の場合 中機操作	運転員 2名
	「二次ポンプによる原子炉注水」		「ディーゼル駆動消防ポンプ」 台数：1台 (容量：177m ³ /h、揚程：75m)	ろ過タンク	—	電源有の場合 中機操作	運転員 2名

第 1 表 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (2/11)

個別戦略	手順書等	技術的能力に係る書式等の該当項目	主要な使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
① 非常時運転手順書II (熱源ベース)	「原子炉注水」	(1.1)	<ul style="list-style-type: none"> ほうろく水注入ポンプ (容量：約9.7m³/h (1台当たり)、揚程：約370m、台数：2) ほうろく水貯蔵タンク (容量：約19.5m³、基数：1) 	—	—	中央操作	当直運転員 (中機) 1名
	「代替制御挿入機能の自動挿入操作」		—	—	—	中央操作	当直運転員 (中機) 2名
③ 原子炉停止戦略	「スクラム・バイロケット弁制御空気系統構築」	(1.1)	—	—	—	中央操作	当直運転員 (中機) 2名
	「スクラム・バイロケット後のスクラム個別スイッチの操作」		—	—	—	中央操作	当直運転員 (中機) 2名
	「制御機駆動水圧系の引込管ベント弁からの排水操作」		—	—	—	72分以内	当直運転員 (中機) 2名 当直運転員 (現機) 2名
	「原子炉水位低下操作」		<ul style="list-style-type: none"> 電動機駆動原子炉給水ポンプ (容量：2,157.5m³/h (1台当たり)、揚程：702m、台数：2) 高圧復水ポンプ (容量：3,792m³/h (1台当たり)、揚程：305.5m、台数：3) 低圧復水ポンプ (容量：3,792m³/h (1台当たり)、揚程：94.5m、台数：3) 制御機駆動水ポンプ (容量：46.3m³/h (1台当たり)、揚程：823m、台数：2) 原子炉内循環冷却系ポンプ (容量：約142m³/h、揚程：約890m～約185m、台数：1) 高圧炉心スプレイレイ系ポンプ (容量：約1,440m³/h、揚程：約257m、台数：1) 	—	—	139分以内	当直運転員 (中機) 2名 当直運転員 (現機) 2名 当直運転員 (中機) 2名 当直運転員 (現機) 2名
			—	—	—	995分以内	当直運転員 (中機) 2名 当直運転員 (現機) 2名

第 1 表 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (2/14)

個別戦略	手順書等	技術的能力に係る書式等の該当項目	主要な使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
① 原子炉停止戦略	「原子炉注水」	(1.1)	<ul style="list-style-type: none"> 高圧炉心冷却水ポンプ (容量：約100m³/h、揚程：約100m) 電動機駆動原子炉給水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 低圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 制御機駆動水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 原子炉内循環冷却系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧炉心スプレイレイ系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 	—	—	7分以内 6分以内 7分以内 15分以内 22分以内 27分以内 27分以内	必要人員(目安) 中央制御室運転員2名 中央制御室運転員2名 中央制御室運転員2名 中央制御室運転員2名 中央制御室運転員2名 中央制御室運転員2名 中央制御室運転員2名
	「原子炉注水」		<ul style="list-style-type: none"> 高圧炉心冷却水ポンプ (容量：約100m³/h、揚程：約100m) 電動機駆動原子炉給水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 低圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 制御機駆動水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 原子炉内循環冷却系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧炉心スプレイレイ系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 	—	—	電源有の場合 中央制御室操作	中央制御室運転員1名
② 原子炉停止戦略	「原子炉注水」	(1.2) (1.3) (1.4) (1.8)	<ul style="list-style-type: none"> 高圧炉心冷却水ポンプ (容量：約100m³/h、揚程：約100m) 電動機駆動原子炉給水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 低圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 制御機駆動水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 原子炉内循環冷却系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧炉心スプレイレイ系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 	—	—	電源有の場合 中央制御室操作	中央制御室運転員1名
	「原子炉注水」		<ul style="list-style-type: none"> 高圧炉心冷却水ポンプ (容量：約100m³/h、揚程：約100m) 電動機駆動原子炉給水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 低圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 制御機駆動水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 原子炉内循環冷却系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧炉心スプレイレイ系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 	—	—	電源有の場合 中央制御室操作	中央制御室運転員1名
	「原子炉注水」		<ul style="list-style-type: none"> 高圧炉心冷却水ポンプ (容量：約100m³/h、揚程：約100m) 電動機駆動原子炉給水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 低圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 制御機駆動水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 原子炉内循環冷却系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧炉心スプレイレイ系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 	—	—	電源有の場合 中央制御室操作	中央制御室運転員1名
	「原子炉注水」		<ul style="list-style-type: none"> 高圧炉心冷却水ポンプ (容量：約100m³/h、揚程：約100m) 電動機駆動原子炉給水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 低圧復水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 制御機駆動水ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 原子炉内循環冷却系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 高圧炉心スプレイレイ系ポンプ (容量：約1,000m³/h、揚程：約100m) 	—	—	電源有の場合 中央制御室操作	中央制御室運転員1名

注：各手順書、各設備の保管場所・数量等については、今後の改訂、維持管理等によって変更する可能性がある。

・設備及び運用の相違
【柏崎6/7, 東海第二】
 対応手段における対応設備及び運用の相違
 ・記載表現の相違
【東海第二】
 東海第二は、原子炉圧力容器への注水戦略を対応手順書等及び設備一覧(3/11)及び(4/11)に記載

第1表 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (4/11)

個別戦略	手順書等	「技術的能力に係る審査基準」の該当項目	主要な使用設備 (保管場所, 仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)		
④ 原子炉注水戦略	「低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉注水」	「技術的能力に係る審査基準」の該当項目	・可搬型代替注水大型ポンプ (容量: 約 1,320m ³ /h (1台当たり), 揚程: 約 10m, 台数: 3) (保管場所: 西側保管場所, 南側保管場所, 予備機置場)	・代替注水貯槽 ・西側取水貯水設備 ・海	系統構成を中央操作で実施する場合使用しない場合は 535分以内)	205分以内 (ホース運搬車を 535分以内)	当直運転員 (中機) 1名 当直運転員 (中機) 8名 重大事故等対応要員 8名		
			・可搬型代替注水中型ポンプ (容量: 約 210m ³ /h (1台当たり), 揚程: 約 100m, 台数: 5) (保管場所: 西側保管場所, 南側保管場所, 予備機置場)		系統構成を現場操作で実施する場合使用しない場合は 535分以内)		当直運転員 (中機) 3名 当直運転員 (中機) 11名 重大事故等対応要員 11名		
	「原子炉隔離時冷却系による原子炉注水」	(1.2) (1.3) (1.4) (1.13)	・原子炉隔離時冷却器ポンプ (容量: 約 142m ³ /h, 揚程: 約 80m~約 186m, 台数: 1)	・復水貯槽タンク ・サブプレッシャポンプ ・チェンバ	中央操作	中央操作	当直運転員 (中機) 1名	当直運転員 (中機) 1名	
			・常設高圧代替注水ポンプ (容量: 約 136.7m ³ /h, 揚程: 約 90m, 台数: 1)	・サブプレッシャポンプ ・チェンバ	中央操作が実施できない場合	中央操作が実施できない場合	125分以内	当直運転員 (中機) 1名 当直運転員 (中機) 2名 当直運転員 (中機) 2名 重大事故等対応要員 6名	
	「高圧代替注水系による原子炉注水」	(1.2) (1.3) (1.4) (1.13)	・透かし安全弁 (個数: 18 (自動減圧機能付: 7))	・タービン・バイパス弁 (個数: 5)	中央操作	中央操作	当直運転員 (中機) 1名	当直運転員 (中機) 1名	
			・透かし安全弁による原子炉減圧」	・タービン・バイパス弁による減圧」	中央操作	中央操作	当直運転員 (中機) 1名	当直運転員 (中機) 1名	
			「非常用蓄熱器供給系による減圧」	「非常用蓄熱器ポンプ (体数: 20)	中央操作	中央操作	282分以内	当直運転員 (中機) 1名 当直運転員 (中機) 2名	当直運転員 (中機) 1名
			「透かし安全弁用可搬型蓄電池による減圧」	「透かし安全弁用可搬型蓄電池 (個数: 2)	中央操作	中央操作	55分以内	当直運転員 (中機) 1名	当直運転員 (中機) 1名
	「非常用透かし安全弁駆動系による減圧」	「非常用透かし安全弁駆動系			中央操作	中央操作	120分以内	当直運転員 (中機) 1名 当直運転員 (中機) 2名 (機材) 2名	

・記載表現の相違
【東海第二】
島根2号炉は, 原子炉圧力容器への注水戦略を対応手順書等及び設備一覧 (2 / 13) 及び (3 / 13) に記載

表 1 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (7号炉の例) (6/14)

個別戦略	手順書等	技術的部材に 係る装置等 の設置位置	主たる使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
⑥-1 原子炉格納容器 除熱戦略	FCNS (S/C用)：副圧強化ライン使用]	(1.5) (1.6) (1.7) (1.8)	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 	-	-	空気駆動弁駆動 中継室の場合 2名	運転員 2名
	FCNS (D/C用)：副圧強化ライン使用]					運転員 中継室 現場2名	運転員 2名
	圧力低下による補熱冷却水確保]					運転員 中継室 現場2名	運転員 2名
	代管RSによる補熱冷却水確保]					運転員 中継室 現場2名	運転員 2名
⑥-2 原子炉格納容器 除熱戦略	FCNS (S/C用)：副圧強化ライン使用]	(1.5) (1.6) (1.7) (1.8)	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：T.M.S.L.435m以上) 台数：6台 (容量：1800t/h、揚程：35m) 	-	-	電源室の場合 中継室の場合 2名	運転員 2名
FCNS (D/C用)：副圧強化ライン使用]	電源室の場合 中継室の場合 2名					運転員 2名	
圧力低下による補熱冷却水確保]	電源室の場合 中継室の場合 2名					運転員 2名	
代管RSによる補熱冷却水確保]	電源室の場合 中継室の場合 2名					運転員 2名	

注) 本資料は、訓練等の実績により見直す可能性があり、使用設備、所要時間、必要人員等は最終的に各手順書に反映する。

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

- ・設備及び運用の相違
【柏崎6/7】
対応手段における対応設備及び運用の相違
- ・記載表現の相違
【東海第二】
東海第二は、格納容器除熱戦略 (炉心損傷前) を対応手順書等及び設備一覧 (6/11) に記載

第1表 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (6/14)

個別戦略	手順書等	技術的部材に 係る装置等 の設置位置	主たる使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
⑥-1 原子炉格納容器 除熱戦略	「原子炉格納容器冷却水ポンプによる除熱」	(1.5) (1.6) (1.7)	<ul style="list-style-type: none"> 大型送水ポンプ車 (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 配線数：3台 (容量：約1,800t/h/台、吐出圧力：約1.2MPa) 残圧調整弁 (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 配線数：2台 (伝送容量：約3,100) 残圧調整弁 (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 配線数：3台 (伝送容量：約2,200/台) 	-	<ul style="list-style-type: none"> 移動式管状交換機及び大型送水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 	電源室の場合 (復旧時) 1時間 6分以内	中央制御室運転員 1名 現場運転員 2名
	「大型送水ポンプ車による除熱」					電源室の場合 (復旧時) 7時間 30分以内	緊急時対応要員 15名
	「残圧調整弁による補熱冷却水確保」					電源室の場合 (復旧時) 7時間 30分以内	緊急時対応要員 6名
	「代管RSによる補熱冷却水確保」					電源室の場合 (復旧時) 7時間 30分以内	緊急時対応要員 6名
⑥-2 原子炉格納容器 除熱戦略	「原子炉格納容器冷却水ポンプによる除熱」	(1.5) (1.6) (1.7)	<ul style="list-style-type: none"> 大型送水ポンプ車 (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 配線数：3台 (容量：約1,800t/h/台、吐出圧力：約1.2MPa) 残圧調整弁 (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 配線数：2台 (伝送容量：約3,100) 残圧調整弁 (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 配線数：3台 (伝送容量：約2,200/台) 	-	<ul style="list-style-type: none"> 移動式管状交換機及び大型送水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所：E.L.50m、E.L.13~35m、E.L.8.5m) 	電源室の場合 (復旧時) 1時間 20分以内	中央制御室運転員 1名 現場運転員 4名
	「大型送水ポンプ車による除熱」					電源室の場合 (復旧時) 7時間 30分以内	緊急時対応要員 6名
	「残圧調整弁による補熱冷却水確保」					電源室の場合 (復旧時) 7時間 30分以内	緊急時対応要員 6名
	「代管RSによる補熱冷却水確保」					電源室の場合 (復旧時) 7時間 30分以内	緊急時対応要員 6名

注) 本資料は、訓練等の実績により見直す可能性があり、使用設備、所要時間、必要人員等は最終的に各手順書に反映する。

表 1 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (7号炉の例) (9/14)

個別戦略	手順書等	技術的能力に係る標準項目の標準項目	主な使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
⑥-2 原子炉格納容器除熱戦略	「代替NSによる循環冷却水確保」	(1.5) (1.6) (1.7) (1.8) (1.10)	・代替原子炉格納容器冷却水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 4台 (容量: 420m ³ /h/右, 揚程: 35m)	—	—	電源有の場合 中機操作 2名 電源無の場合 現場作業等 2時間以内 現員2名	運転員 2名 運転員 4名 運転員 4名
	「多様なベンチマークに要領」	(1.5)	・可搬型代替注水ポンプ (消防自動車) (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) A-2 台数: 13台 (容量: 120m ³ /h/右, 吐出圧力: 0.85MPa/右, 揚程: 40m)	—	—	現場操作 1時間30分以内 3時間以内 3時間以内	交代班員 3名 交代班員 6名
	「代替NSによる循環冷却水確保」	(1.5) (1.6) (1.7) (1.8)	・可搬型代替注水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 13台 (容量: 120m ³ /h/右, 吐出圧力: 0.85MPa/右, 揚程: 40m)	—	—	現場操作 1時間30分以内 3時間以内	交代班員 3名 交代班員 6名
	「代替NSによる循環冷却水確保」	(1.5) (1.6) (1.7) (1.8)	・可搬型代替注水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 13台 (容量: 120m ³ /h/右, 吐出圧力: 0.85MPa/右, 揚程: 40m)	—	—	現場操作 1時間30分以内 3時間以内	交代班員 3名 交代班員 6名
⑦ SFP注水戦略	「SFPによるSFP注水」	(1.11)	・サブプレッシャーポンプ (消防自動車) (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 1台 (容量: 250m ³ /h, 揚程: 90m)	—	—	電源有の場合 中機操作 2名 電源無の場合 現場作業等 2時間以内 現員2名	運転員 2名 運転員 4名 運転員 4名
	「FVによるSFP注水」	(1.11)	・燃料プールの冷却ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 2台 (容量: 250m ³ /h/右, 揚程: 80m)	—	—	電源有の場合 中機操作 2名 電源無の場合 現場作業等 2時間以内 現員2名	運転員 2名 運転員 4名 運転員 4名
	「FVによるSFP注水」	(1.11)	・燃料プールの冷却ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 2台 (容量: 250m ³ /h/右, 揚程: 80m)	—	—	電源有の場合 中機操作 2名 電源無の場合 現場作業等 2時間以内 現員2名	運転員 2名 運転員 4名 運転員 4名
	「FVによるSFP注水」	(1.11)	・燃料プールの冷却ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 2台 (容量: 250m ³ /h/右, 揚程: 80m)	—	—	電源有の場合 中機操作 2名 電源無の場合 現場作業等 2時間以内 現員2名	運転員 2名 運転員 4名 運転員 4名

注) 本資料は、訓練等の実績により見直し可能性があり、使用設備、所要時間、必要人員等は最終的に各手順書に反映する。

第 1 表 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (10/14)

個別戦略	手順書等	技術的能力に係る標準項目の標準項目	主な使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
⑥-2 原子炉格納容器除熱戦略	「代替NSによる循環冷却水確保」	(1.5) (1.6) (1.7) (1.8) (1.10)	・大流量注水車 (保管場所: E.L.4m, E.L.13~20m, E.L.5m) 配線数: 3台 (容量: 約 1080m ³ /h/右, 吐出圧力: 約 0.85MPa)	—	—	電源有の場合 (備用機) 25分以内 用不可な場合 電源無の場合 (現場作業等) 45分以内	中央制御室運転員 1名 現場運転員 2名
	「多様なベンチマークに要領」	(1.5)	・可搬型代替注水ポンプ (消防自動車) (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) A-2 台数: 13台 (容量: 120m ³ /h/右, 吐出圧力: 0.85MPa/右, 揚程: 40m)	—	—	現場操作 1時間30分以内 3時間以内 3時間以内	交代班員 3名 交代班員 6名
	「代替NSによる循環冷却水確保」	(1.5) (1.6) (1.7) (1.8)	・可搬型代替注水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 13台 (容量: 120m ³ /h/右, 吐出圧力: 0.85MPa/右, 揚程: 40m)	—	—	現場操作 1時間30分以内 3時間以内	交代班員 3名 交代班員 6名
	「代替NSによる循環冷却水確保」	(1.5) (1.6) (1.7) (1.8)	・可搬型代替注水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 13台 (容量: 120m ³ /h/右, 吐出圧力: 0.85MPa/右, 揚程: 40m)	—	—	現場操作 1時間30分以内 3時間以内	交代班員 3名 交代班員 6名
⑦ SFP注水戦略	「SFPによるSFP注水」	(1.11)	・サブプレッシャーポンプ (消防自動車) (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 1台 (容量: 250m ³ /h, 揚程: 90m)	—	—	電源有の場合 中機操作 2名 電源無の場合 現場作業等 2時間以内 現員2名	運転員 2名 運転員 4名 運転員 4名
	「FVによるSFP注水」	(1.11)	・燃料プールの冷却ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 2台 (容量: 250m ³ /h/右, 揚程: 80m)	—	—	電源有の場合 中機操作 2名 電源無の場合 現場作業等 2時間以内 現員2名	運転員 2名 運転員 4名 運転員 4名
	「FVによるSFP注水」	(1.11)	・燃料プールの冷却ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 2台 (容量: 250m ³ /h/右, 揚程: 80m)	—	—	電源有の場合 中機操作 2名 電源無の場合 現場作業等 2時間以内 現員2名	運転員 2名 運転員 4名 運転員 4名
	「FVによるSFP注水」	(1.11)	・燃料プールの冷却ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 2台 (容量: 250m ³ /h/右, 揚程: 80m)	—	—	電源有の場合 中機操作 2名 電源無の場合 現場作業等 2時間以内 現員2名	運転員 2名 運転員 4名 運転員 4名

①各手順書、各設備の保管場所、仕様等については、今後の訓練、検討結果等によって見直し可能である。

- ・設備及び運用の相違
【柏崎 6/7】
対応手段における対応設備及び運用の相違
- ・記載表現の相違
【柏崎 6/7】
島根 2号炉は、燃料プール注水戦略を対応手順書等及び設備一覧 (11/14) に記載
- 【東海第二】
東海第二は、格納容器除熱戦略 (炉心損傷後) について、対応手順書等及び設備一覧 (7/11) 及び (8/11) に記載

表 1 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (7号炉の例) (12/14)

個別戦略	手順書等	個別戦略に 係る装置等 の装置項目	主要な使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
⑥ 使用済燃料除熱 戦略	「代替機による補機冷却水確保」	(L.11)	・ 熱交換器ユニット (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (稼働機数: 2300) ・ 代替原子炉用機冷却水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 4台 (容量: 1200/台、揚程: 125m) ・ 代替原子炉用機冷却水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 4台 (容量: 420/台、揚程: 125m)	-	-	稼働機作 7時間以内	復旧班員 16名
	「代替機による補機冷却水確保」		・ 冷却水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 5台 ・ ホース搬送車 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 5台	-	-	復旧班員 7時間以内	復旧班員 16名
⑦ 放射性物質拡散 抑制のための戦略	① 放射能モニタリング手続 「放射性物質放出抑制へのアラート (冷却水/補 水)」	(L.12)	・ 可燃物貯蔵タンク (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (容量: 900m ³ 以上、吐出圧力: 0.9MPa) ・ 取水船 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 5台 ・ ホース搬送車 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 5台	海水取水船所	-	復旧班員 3時間以内	復旧班員 8名
	「海岸への放出抑制 (汚染防止機設置)」		・ 汚染防止機 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (容量: 1000/台、吐出圧力: 0.9MPa) ・ 汚染防止機 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (容量: 1000/台、吐出圧力: 0.9MPa) ・ 汚染防止機 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (容量: 1000/台、吐出圧力: 0.9MPa)	-	-	復旧班員 1時間以内 2時間以内 (取水口設置所 1重目)	復旧班員 13名
⑧ 電源確保戦略	「海岸への放出抑制 (放射性物質管理施設)」		・ 放射性物質管理施設 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 1000以上	-	-	復旧班員 3時間以内	復旧班員 4名
	② 緊急時電源確保手続 (電源確保)		・ 非常用ディーゼル発電機 台数: 2台 (容量: 8250kVA/台、電圧: 6.9kV) ・ 非常用ディーゼル発電機 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (容量: 8250kVA/台、電圧: 6.9kV) ・ 非常用ディーゼル発電機 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (容量: 8250kVA/台、電圧: 6.9kV)	-	-	中機操作	運転員 2名
	「他発電機からの受電確保」		・ 非常用ディーゼル発電機 台数: 2台 (容量: 8250kVA/台、電圧: 6.9kV) ・ 非常用ディーゼル発電機 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (容量: 8250kVA/台、電圧: 6.9kV)	-	-	中機操作	運転員 2名
	「発電機子機へ切り替え」		・ 非常用ディーゼル発電機 台数: 2台 (容量: 8250kVA/台、電圧: 6.9kV) ・ 非常用ディーゼル発電機 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (容量: 8250kVA/台、電圧: 6.9kV)	-	-	中機操作	運転員 2名
	「緊急用DCによるM/CTC、7D受電」		・ 非常用ディーゼル発電機 台数: 2台 (容量: 8250kVA/台、電圧: 6.9kV) ・ 非常用ディーゼル発電機 (保管場所: T.M.S.L.・35m以上) 台数: 2台 (容量: 8250kVA/台、電圧: 6.9kV)	-	-	復旧班員 1時間30分以内	運転員 2名

注) 本資料は、訓練等の実績により見直す可能性があり、使用設備、所要時間、必要人員等は最終的に各手順書に反映する。

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

・ 記載表現の相違
【柏崎 6/7】
島根 2号炉は、燃料プ
ール除熱戦略、放射性物
質拡散抑制戦略及び電
源確保戦略について、対
応手順書等及び設備一
覧 (11/14)、(12/14)
及び (13/14) に記載

表1 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (7号炉の例) (14/14)

個別戦略	手順書等	目的的能力に係る審査基準の該当項目	主たる使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
① 電源確保戦略	「可搬型直流電源設備による給電」 「可搬型直流電源設備による給電」	(1.14)	・可搬型代替圧水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 4台 (容量: 400kWh, 蓄電池120kWh, 電圧DC125V) ・可搬型代替圧水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) A-2 台数: 13台 (容量: 120kWh/94 m ³ /h, 吐出圧力: 0.83MPa/1.4MPa) B-2 台数: 13台 (容量: 120kWh/94 m ³ /h, 吐出圧力: 0.83MPa/1.4MPa)	-	-	電源確保 9時間以内	運転員 中継員 現場員 復旧員 計4名
② 人命救助戦略	「可搬型直流電源設備による給電」 「可搬型直流電源設備による給電」	(2.1)	-	-	-	-	-
③ 水質確保	「可搬型代替圧水ポンプによる給電」 「可搬型代替圧水ポンプによる給電」	(1.13)	・可搬型代替圧水ポンプ (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) A-2 台数: 13台 (容量: 120kWh/94 m ³ /h, 吐出圧力: 0.83MPa/1.4MPa) B-2 台数: 13台 (容量: 120kWh/94 m ³ /h, 吐出圧力: 0.83MPa/1.4MPa)	排水水塔 排水水塔 排水水塔	-	電源確保 3時間以内 電源確保 3時間以内	復旧員 4名 復旧員 3名 復旧員 2名
④ 燃料確保	「可搬型代替圧水ポンプによる給電」 「可搬型代替圧水ポンプによる給電」	(2.1)	・タンクローリー (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 1台 (容量: 16t/台) ・タンクローリー (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 1台 (容量: 16t/台) ・タンクローリー (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 1台 (容量: 16t/台) ・タンクローリー (保管場所: T.M.S.L.+35m以上) 台数: 1台 (容量: 16t/台)	-	-	電源確保 2時間以内 電源確保 30分以内 電源確保 30分以内 電源確保 30分以内	復旧員 2名 復旧員 2名 復旧員 2名 復旧員 2名

注) 本資料は、訓練等の実績により見直す可能性があり、使用設備、所要時間、必要人員等は最終的に各手順書に反映する。

第1表 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧 (13/14)

個別戦略	手順書等	目的的能力に係る審査基準の該当項目	主たる使用設備 (保管場所、仕様等)	水源	備考	所要時間 (目安)	必要人員 (目安)
① 高圧発電機によるSAロードセクタ及びSAロードセクタ交換	「可搬型代替圧水ポンプによる給電」 「可搬型代替圧水ポンプによる給電」	(1.14)	・高圧発電機 (保管場所: E.L.0m, E.L.13~23m, E.L.4.5m) 配線数: 7台 (容量: 約500kVA/台, 電圧: 6.6kV) ・A/C ・C ・緊急用メータ ・SAロードセクタ	-	原子炉建屋内の高圧発電機系統 プラズマ設備に接続する場合 原子炉建屋内の高圧発電機系統 プラズマ設備に接続する場合 ガスタービン発電機建物 (緊急用メータ)の緊急用メータ B-115V系発電機、B-115V系発電機 E-115V系発電機からB-115V系 上る配線 E-115V系発電機からB-115V系 配線(SA)と電圧受入及び不 負荷切替機に接続するまで A-115V系配線、中央制御室 配線に電圧受入完了まで B-115V系配線、B-115V系配 線、230V系配線(RC1C)及び19P 系配線に電圧受入完了まで E-115V系配線、E-115V系配 線、230V系配線(RC1C)及び19P 系配線に電圧受入完了まで	電源確保 4時間30分以内 電源確保 4時間30分以内 電源確保 4時間30分以内 電源確保 4時間30分以内	中央制御室運転員1名 緊急時対応要員3名
② 可搬型直流電源設備による給電	「可搬型代替圧水ポンプによる給電」 「可搬型代替圧水ポンプによる給電」	(1.14)	・高圧発電機 (保管場所: E.L.0m, E.L.13~23m, E.L.4.5m) 配線数: 7台 (容量: 約500kVA/台, 電圧: 6.6kV) ・B-115V系配線 (SA) ・E-115V系配線 (RC1C) ・E-115V系配線 (SA) ・SA用115V系配線 (RC1C) ・230V系配線 (RC1C)	-	原子炉建屋内の高圧発電機系統 プラズマ設備に接続する場合 ガスタービン発電機建物 (緊急用メータ)の緊急用メータ 接続プラズマに接続する場合 高圧発電機 (保管場所: E.L.0m, E.L.13~23m, E.L.4.5m) 配線数: 7台 (容量: 約500kVA/台, 電圧: 6.6kV) ・B-115V系配線 (SA) ・E-115V系配線 (RC1C) ・E-115V系配線 (SA) ・SA用115V系配線 (RC1C) ・230V系配線 (RC1C)	電源確保 5時間10分以内 電源確保 5時間10分以内 電源確保 5時間10分以内 電源確保 5時間10分以内	中央制御室運転員1名 緊急時対応要員3名
③ 可搬型直流電源設備による給電	「可搬型代替圧水ポンプによる給電」 「可搬型代替圧水ポンプによる給電」	(1.14)	・高圧発電機 (保管場所: E.L.0m, E.L.13~23m, E.L.4.5m) 配線数: 7台 (容量: 約500kVA/台, 電圧: 6.6kV) ・B-115V系配線 (SA) ・E-115V系配線 (RC1C) ・E-115V系配線 (SA) ・SA用115V系配線 (RC1C) ・230V系配線 (RC1C)	-	高圧発電機 (保管場所: E.L.0m, E.L.13~23m, E.L.4.5m) 配線数: 7台 (容量: 約500kVA/台, 電圧: 6.6kV) ・B-115V系配線 (SA) ・E-115V系配線 (RC1C) ・E-115V系配線 (SA) ・SA用115V系配線 (RC1C) ・230V系配線 (RC1C)	電源確保 4時間15分以内 電源確保 4時間15分以内 電源確保 4時間15分以内 電源確保 4時間15分以内	復旧員2名 緊急時対応要員3名
④ 可搬型直流電源設備による給電	「可搬型代替圧水ポンプによる給電」 「可搬型代替圧水ポンプによる給電」	(1.14)	・高圧発電機 (保管場所: E.L.0m, E.L.13~23m, E.L.4.5m) 配線数: 7台 (容量: 約500kVA/台, 電圧: 6.6kV) ・B-115V系配線 (SA) ・E-115V系配線 (RC1C) ・E-115V系配線 (SA) ・SA用115V系配線 (RC1C) ・230V系配線 (RC1C)	-	高圧発電機 (保管場所: E.L.0m, E.L.13~23m, E.L.4.5m) 配線数: 7台 (容量: 約500kVA/台, 電圧: 6.6kV) ・B-115V系配線 (SA) ・E-115V系配線 (RC1C) ・E-115V系配線 (SA) ・SA用115V系配線 (RC1C) ・230V系配線 (RC1C)	電源確保 5時間10分以内 電源確保 5時間10分以内 電源確保 5時間10分以内 電源確保 5時間10分以内	復旧員2名 緊急時対応要員3名

注) 各手順書、各設備の保管場所、数量等については、今後の訓練、検討結果等によって見直す可能性がある。

- ・設備及び運用の相違
【柏崎6/7】
対応手段における対応設備及び運用の相違
- ・記載表現の相違
【柏崎6/7】
島根2号炉は、水源確保戦略及び燃料確保戦略について、対応手順書等及び設備一覧(14/14)に記載

・記載表現の相違
【柏崎6/7】
 柏崎6/7は、水源確保戦略及び燃料確保戦略について、対応手順書等及び設備一覧(14/14)に記載

第1表 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧(14/14)

個別戦略	任務等	目的達成に必要となる設備	主が使用する設備(場所、仕様等)	本機	備考	所要時間(目安)	必要人員(目安)
水質管理	①原子力燃料貯蔵庫	①大東送水車による給水	・大東送水車(保管場所: E.L.4m, E.L.13~23m, E.L.8, 5m) 配線数: 3台(容量: 約100m ³ /h, 吐出圧力: 約0.5MPa)	輸送水車(表1)、輸送水車(表2) 輸送水タンク 1号輸送水タンク 2号輸送水タンク 非常用輸送水タンク	柏崎原子力発電所貯蔵水車又は輸送水タンクへの給水	現機操作 2時間以内	中核制御室乗員1名 緊急時対応要員1名
	②大東送水車又は大東送水ポンプ車による給水	(L.13)	・大東送水ポンプ車(保管場所: E.L.5m, E.L.13~23m, E.L.8, 5m) 配線数: 3台(容量: 約1,800m ³ /h, 吐出圧力: 約1.0MPa) ・大東送水車(保管場所: E.L.5m, E.L.13~23m, E.L.8, 5m) 配線数: 3台(容量: 約100m ³ /h, 吐出圧力: 約0.5MPa)	輸送水車(表1)、輸送水車(表2)	柏崎原子力発電所貯蔵水車への給水 大東送水車による輸送水車(表1)又は輸送水車(表2)への給水	現機操作 1時間以内 緊急時対応要員1名	緊急時対応要員1名
	③原子力燃料貯蔵庫	③タンクローリーによる給水	・タンクローリー(保管場所: E.L.13~23m, E.L.8, 5m) 配線数: 2台(容量: 約3,000m ³ /台) ・非常用ディーゼル発電機(燃料貯蔵タンク) 配線数: 2台(容量: 約110kW/台) ・高圧心スプレッドポンプ(ディーゼル発電機駆動) 配線数: 2台(容量: 約3,000m ³ /台)	輸送水車(表1)、輸送水車(表2) 非常用ディーゼル発電機駆動貯蔵タンク 高圧心スプレッドポンプ(ディーゼル発電機駆動)	大東送水車による輸送水タンクへの給水 大東送水ポンプ車による輸送水タンクへの給水	現機操作 2時間以内 緊急時対応要員1名 緊急時対応要員1名	中核制御室乗員1名 緊急時対応要員1名
水質管理	④大東送水車又は大東送水ポンプ車又は大東送水車(表1)による給水	(L.14)	・大東送水ポンプ車(保管場所: E.L.5m, E.L.13~23m, E.L.8, 5m) 配線数: 3台(容量: 約1,800m ³ /h, 吐出圧力: 約1.0MPa) ・大東送水車(保管場所: E.L.5m, E.L.13~23m, E.L.8, 5m) 配線数: 3台(容量: 約100m ³ /h, 吐出圧力: 約0.5MPa)	輸送水車(表1)、輸送水車(表2) 非常用ディーゼル発電機駆動貯蔵タンク 高圧心スプレッドポンプ(ディーゼル発電機駆動)	柏崎原子力発電所貯蔵水車への給水	現機操作 2時間以内 緊急時対応要員1名	中核制御室乗員1名 緊急時対応要員1名
	⑤タンクローリーによる給水	(L.14)	・タンクローリー(保管場所: E.L.13~23m, E.L.8, 5m) 配線数: 2台(容量: 約3,000m ³ /台) ・非常用ディーゼル発電機(燃料貯蔵タンク) 配線数: 2台(容量: 約110kW/台) ・高圧心スプレッドポンプ(ディーゼル発電機駆動) 配線数: 2台(容量: 約3,000m ³ /台)	輸送水車(表1)、輸送水車(表2) 非常用ディーゼル発電機駆動貯蔵タンク 高圧心スプレッドポンプ(ディーゼル発電機駆動)	大東送水車による輸送水タンクへの給水 大東送水ポンプ車による輸送水タンクへの給水	現機操作 2時間以内 緊急時対応要員1名	中核制御室乗員1名 緊急時対応要員1名

(注)各手帳、各設備の保管場所・数量等については、今後の改訂、検討結果等によって見直し可能性があります。

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>1. 柏崎刈羽原子力発電所マニュアル体系大規模損壊関連体系図</p> <p>大規模損壊発生時に必要となる手順書類について、発電所のQMS文書体系上の位置づけを図1に示す。</p> <p>図1 QMS 文書体系上の手順書の位置づけ</p>			<p>・記載表現の相違 【柏崎 6/7】 島根 2号炉は、QMS 手順とその概要について、添付資料 2.1.12 第 1 図に記載</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>2. 大規模損壊発生時の対応手順書体系図</p> <p>発電所対策本部で使用する対応フローに従った措置を講じるため、以下の手順書を用いて対応を行う。また、手順書の体系図を図2に、手順書のリストを表2に示す。</p> <p>(1) 発電所対策本部で使用する手順書</p> <p>① 緊急時対策本部運営要領</p> <p>重大事故、大規模損壊等が発生した場合、又はそのおそれがある場合に、緊急事態に関する発電所対策本部の責任と権限及び実施事項を定めた要領。</p> <p>また、発電所対策本部の運営及び各機能組織が実施する事項については、本要領の下位に紐づく各機能組織のガイドとして定める。</p> <p>② アクシデントマネジメントの手引き (AMG)</p> <p>プラントで発生した事故・故障等が拡大し、炉心損傷に至った際に、事故の進展防止、影響緩和のために実施すべき措置を判断、選択するための情報を定めた要領で、技術支援組織が使用する。炉心が損傷し、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の健全性を脅かす可能性のあるシビアアクシデント事象に適用する。</p> <p>③ 多様なハザード対応手順 (EHP)</p> <p>自然現象や大規模損壊等により、多数の恒設の電源設備・注水設備等が使用できない場合に、運転員のプラント対応に必要な支援を行うため、可搬設備等によるプラント対応支援を定めた手順書で、実施組織（運転員以外）が使用する。</p> <p>(2) 運転員が使用する手順書</p> <p>① 警報発生時操作手順書</p> <p>中央制御室及び現場制御盤に警報が発生した際に、警報発生原因の除去あるいはプラントを安全な状態に維持するために必要な操作を定めた手順書。</p> <p>② 事故時運転操作手順書（事象ベース）(AOP)</p> <p>単一の故障等で発生する可能性のある異常又は事故が発生した際に、事故の進展を防止するために必要な対応操作を定めた手順書。</p> <p>③ 事故時運転操作手順書（徴候ベース）(EOP)</p> <p>事故の起因事象を問わず、AOPでは対処できない複数の設備の故障等による異常又は事故が発生した際に、重大事故への進展を防止するために必要な対応操作を定めた手順書。</p>			<p>・記載表現の相違</p> <p>【柏崎 6/7】</p> <p>島根 2号炉は、QMS 手順とその概要について、添付資料 2.1.12 第 1 図に記載</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>④事故時運転操作手順書 (シビアアクシデント) (SOP) EOPで対応する状態から更に事象が進展し炉心損傷に至った際に、事故の拡大を防止し影響を緩和するために必要な対応操作を定めた手順書。</p> <p>⑤事故時運転操作手順書 (停止時徴候ベース) (停止時 EOP) 発電用原子炉が停止中の場合において、プラントの異常状態を検知する対応、異常状態発生防止に関する対応及び異常事象が発生した場合の対応操作に関する事項を定めた手順書。</p> <p>⑥AM 設備別操作手順書 自然現象や大規模損壊等により、多数の恒設の電源設備・注水設備等が使用できない場合に、実施組織 (運転員以外) の支援を受けて行う可搬型設備等による事故対応操作のうち、主に建屋内設備の操作内容を定めた手順書。</p> <p>(3) 発電所対策本部及び運転員が使用する手順書</p> <p>①火災防護計画 発電所の火災防護に係る全ての活動に適用され、設計基準対象施設、並びに重大事故等対処施設の火災防護対策を定め、万一火災が発生したとしても、プラントの安全停止能力を確保すること、発電所職員や環境への放射線の影響を防止することを目的に定めた業務文書。</p>			

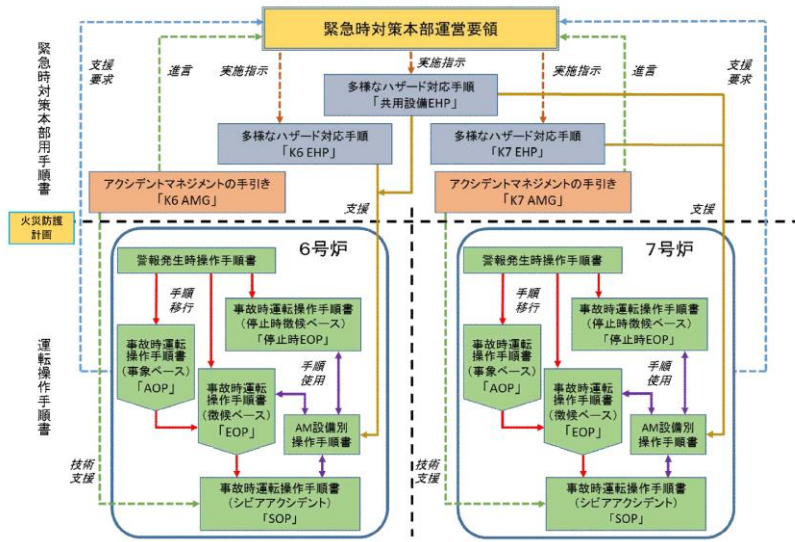
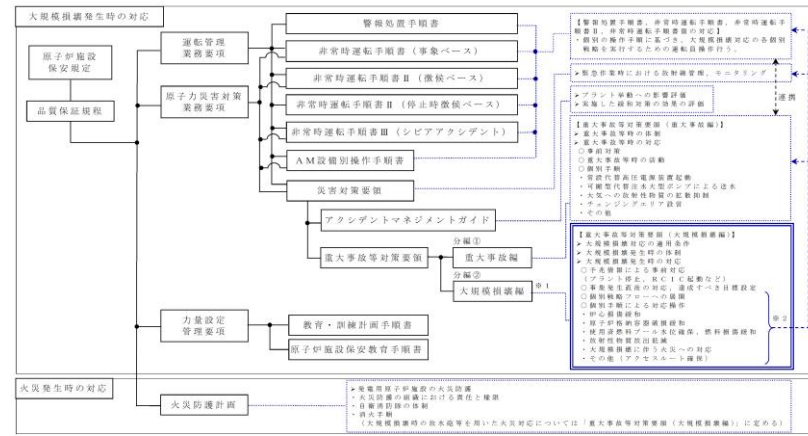
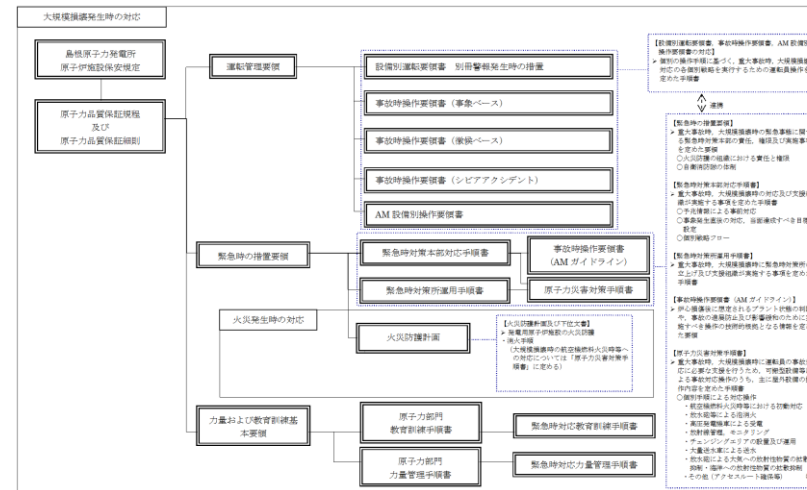


図2 大規模損壊発生時の対応手順書体系図



- ※1 原子力防災管理者又は発電長が適用条件を判断した場合に、重大事故等対策要領（大規模損壊編）を用いた緩和措置を講じる。
- ※2 個別戦略フローへの展開…使用可能な設備を加味し、初動対応フローに基づき事象進展に応じた対応を選定。個別手順による対応操作…上記により決定した対応操作に必要な各手順を用いて実施。

第1図 大規模損壊発生時の対応手順書体系図



第1図 大規模損壊発生時の対応手順書体系図

・手順書構成の相違
【柏崎6/7, 東海第二】
 島根2号炉は、停止時
 徴候ベースの内容を事
 故時操作要領書(徴候ベ
 ース)に合わせて記載し
 制定

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考				
<p style="text-align: center;"><u>表 2 大規模損壊発生時の対応手順書リスト(1/6)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">緊急時対策本部運営要領</td> </tr> <tr> <td> 計画班手順 保安班手順 号機班手順 復旧班手順 通報班手順 立地・広報班手順 資材班手順 総務班手順 大規模損壊発生時対応手順 </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">アクシデントマネジメントの手引き (AMG) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ</td> </tr> <tr> <td> 確認ガイド [確認ガイドー1] : 炉心損傷の確認ガイド [確認ガイドー2] : 損傷炉心の冷却性確認ガイド [確認ガイドー3] : 原子炉圧力容器破損の確認ガイド [確認ガイドー4] : 格納容器モニタの確認ガイド 確認ガイドー4. 1 格納容器内のパラメータの確認ガイド 確認ガイドー4. 2 格納容器健全性の確認ガイド 操作ガイド [操作ガイドー1] : 損傷炉心への注水操作ガイド [操作ガイドー2] : 原子炉減圧操作ガイド (注水手段がある場合) [操作ガイドー3] : 原子炉減圧操作ガイド (注水手段がない場合) [操作ガイドー4] : 機器復旧後の切り替え操作ガイド [操作ガイドー5] : (原子炉圧力容器破損後の) 原子炉への注水操作ガイド [操作ガイドー6] : 下部D/Wへの注水操作ガイド [操作ガイドー7] : 格納容器からの除熱操作ガイド [操作ガイドー8] : 耐圧強化格納容器ベント操作ガイド [操作ガイドー9] : 格納容器負圧抑制操作ガイド [操作ガイドー10] : 可燃性ガス濃度制御系 (FCS) 操作ガイド [操作ガイドー11] : 原子炉ウェルへの注水操作ガイド </td> </tr> </table>	緊急時対策本部運営要領	計画班手順 保安班手順 号機班手順 復旧班手順 通報班手順 立地・広報班手順 資材班手順 総務班手順 大規模損壊発生時対応手順	アクシデントマネジメントの手引き (AMG) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ	確認ガイド [確認ガイドー1] : 炉心損傷の確認ガイド [確認ガイドー2] : 損傷炉心の冷却性確認ガイド [確認ガイドー3] : 原子炉圧力容器破損の確認ガイド [確認ガイドー4] : 格納容器モニタの確認ガイド 確認ガイドー4. 1 格納容器内のパラメータの確認ガイド 確認ガイドー4. 2 格納容器健全性の確認ガイド 操作ガイド [操作ガイドー1] : 損傷炉心への注水操作ガイド [操作ガイドー2] : 原子炉減圧操作ガイド (注水手段がある場合) [操作ガイドー3] : 原子炉減圧操作ガイド (注水手段がない場合) [操作ガイドー4] : 機器復旧後の切り替え操作ガイド [操作ガイドー5] : (原子炉圧力容器破損後の) 原子炉への注水操作ガイド [操作ガイドー6] : 下部D/Wへの注水操作ガイド [操作ガイドー7] : 格納容器からの除熱操作ガイド [操作ガイドー8] : 耐圧強化格納容器ベント操作ガイド [操作ガイドー9] : 格納容器負圧抑制操作ガイド [操作ガイドー10] : 可燃性ガス濃度制御系 (FCS) 操作ガイド [操作ガイドー11] : 原子炉ウェルへの注水操作ガイド			<p>・記載表現の相違 【柏崎 6/7】 島根 2号炉は, 対応手順書一覧を添付資料 2.1.12 第1表に記載</p>
緊急時対策本部運営要領							
計画班手順 保安班手順 号機班手順 復旧班手順 通報班手順 立地・広報班手順 資材班手順 総務班手順 大規模損壊発生時対応手順							
アクシデントマネジメントの手引き (AMG) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ							
確認ガイド [確認ガイドー1] : 炉心損傷の確認ガイド [確認ガイドー2] : 損傷炉心の冷却性確認ガイド [確認ガイドー3] : 原子炉圧力容器破損の確認ガイド [確認ガイドー4] : 格納容器モニタの確認ガイド 確認ガイドー4. 1 格納容器内のパラメータの確認ガイド 確認ガイドー4. 2 格納容器健全性の確認ガイド 操作ガイド [操作ガイドー1] : 損傷炉心への注水操作ガイド [操作ガイドー2] : 原子炉減圧操作ガイド (注水手段がある場合) [操作ガイドー3] : 原子炉減圧操作ガイド (注水手段がない場合) [操作ガイドー4] : 機器復旧後の切り替え操作ガイド [操作ガイドー5] : (原子炉圧力容器破損後の) 原子炉への注水操作ガイド [操作ガイドー6] : 下部D/Wへの注水操作ガイド [操作ガイドー7] : 格納容器からの除熱操作ガイド [操作ガイドー8] : 耐圧強化格納容器ベント操作ガイド [操作ガイドー9] : 格納容器負圧抑制操作ガイド [操作ガイドー10] : 可燃性ガス濃度制御系 (FCS) 操作ガイド [操作ガイドー11] : 原子炉ウェルへの注水操作ガイド							

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考		
<p data-bbox="261 212 825 243">表 2 大規模損壊発生時の対応手順書リスト(2/6)</p> <table border="1" data-bbox="181 268 902 758"> <thead> <tr> <th data-bbox="181 268 902 296">6号炉 多様なハザード対応手順 (K6 EHP)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="181 296 902 758"> <p data-bbox="181 302 736 751"> 電源車による P/C 6C-1 及び P/C 6D-1 受電 号炉間電力融通ケーブルによる電力融通 (仮称) 可搬型直流電源装置による直流 125V 主母線盤 6A 受電 直流給電車による直流 125V 主母線盤 6A 受電 電源車による AM 用 MCC 受電 RCIC 現場起動後の排水 フィルタベント水位調整 (仮称) フィルタベント停止後の N2 バージ手順 熱交換器ユニットによる補機冷却水確保 大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) による補機冷却水確保 代替 R S W による補機冷却水確保 消防車による送水 水素対策 (トップベント) 消防車による CSP への補給 (淡水/海水) 消防車による防火水槽への海水補給 放射性物質放出箇所へのスプレイ (淡水/海水) 海水取水ポンプによる防火水槽への海水補給 内部溢水 </p> </td> </tr> </tbody> </table>	6号炉 多様なハザード対応手順 (K6 EHP)	<p data-bbox="181 302 736 751"> 電源車による P/C 6C-1 及び P/C 6D-1 受電 号炉間電力融通ケーブルによる電力融通 (仮称) 可搬型直流電源装置による直流 125V 主母線盤 6A 受電 直流給電車による直流 125V 主母線盤 6A 受電 電源車による AM 用 MCC 受電 RCIC 現場起動後の排水 フィルタベント水位調整 (仮称) フィルタベント停止後の N2 バージ手順 熱交換器ユニットによる補機冷却水確保 大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) による補機冷却水確保 代替 R S W による補機冷却水確保 消防車による送水 水素対策 (トップベント) 消防車による CSP への補給 (淡水/海水) 消防車による防火水槽への海水補給 放射性物質放出箇所へのスプレイ (淡水/海水) 海水取水ポンプによる防火水槽への海水補給 内部溢水 </p>			
6号炉 多様なハザード対応手順 (K6 EHP)					
<p data-bbox="181 302 736 751"> 電源車による P/C 6C-1 及び P/C 6D-1 受電 号炉間電力融通ケーブルによる電力融通 (仮称) 可搬型直流電源装置による直流 125V 主母線盤 6A 受電 直流給電車による直流 125V 主母線盤 6A 受電 電源車による AM 用 MCC 受電 RCIC 現場起動後の排水 フィルタベント水位調整 (仮称) フィルタベント停止後の N2 バージ手順 熱交換器ユニットによる補機冷却水確保 大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) による補機冷却水確保 代替 R S W による補機冷却水確保 消防車による送水 水素対策 (トップベント) 消防車による CSP への補給 (淡水/海水) 消防車による防火水槽への海水補給 放射性物質放出箇所へのスプレイ (淡水/海水) 海水取水ポンプによる防火水槽への海水補給 内部溢水 </p>					

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考		
<p style="text-align: center;"><u>表 2 大規模損壊発生時の対応手順書リスト(3/6)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">7号炉 多様なハザード対応手順 (K7 EHP)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;"> 電源車による P/C 7C-1 及び P/C 7D-1 受電 号炉間電力融通ケーブルによる電力融通 (仮称) 可搬型直流電源装置による直流 125V 主母線盤 7A 受電 直流給電車による直流 125V 主母線盤 7A 受電 電源車による AM 用 MCC 受電 RCIC 現場起動後の排水 フィルタベント水位調整 (仮称) フィルタベント停止後の N2 パージ手順 熱交換器ユニットによる補機冷却水確保 大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) による補機冷却水確保 代替 RSW ポンプによる補機冷却水確保 消防車による送水 水素対策 (トップベント) 消防車による CSP への補給 (淡水/海水) 消防車による防火水槽への海水補給 放射性物質放出箇所へのスプレイ (淡水/海水) 海水取水ポンプによる防火水槽への海水補給 内部溢水 </td> </tr> </tbody> </table>	7号炉 多様なハザード対応手順 (K7 EHP)	電源車による P/C 7C-1 及び P/C 7D-1 受電 号炉間電力融通ケーブルによる電力融通 (仮称) 可搬型直流電源装置による直流 125V 主母線盤 7A 受電 直流給電車による直流 125V 主母線盤 7A 受電 電源車による AM 用 MCC 受電 RCIC 現場起動後の排水 フィルタベント水位調整 (仮称) フィルタベント停止後の N2 パージ手順 熱交換器ユニットによる補機冷却水確保 大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) による補機冷却水確保 代替 RSW ポンプによる補機冷却水確保 消防車による送水 水素対策 (トップベント) 消防車による CSP への補給 (淡水/海水) 消防車による防火水槽への海水補給 放射性物質放出箇所へのスプレイ (淡水/海水) 海水取水ポンプによる防火水槽への海水補給 内部溢水			
7号炉 多様なハザード対応手順 (K7 EHP)					
電源車による P/C 7C-1 及び P/C 7D-1 受電 号炉間電力融通ケーブルによる電力融通 (仮称) 可搬型直流電源装置による直流 125V 主母線盤 7A 受電 直流給電車による直流 125V 主母線盤 7A 受電 電源車による AM 用 MCC 受電 RCIC 現場起動後の排水 フィルタベント水位調整 (仮称) フィルタベント停止後の N2 パージ手順 熱交換器ユニットによる補機冷却水確保 大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) による補機冷却水確保 代替 RSW ポンプによる補機冷却水確保 消防車による送水 水素対策 (トップベント) 消防車による CSP への補給 (淡水/海水) 消防車による防火水槽への海水補給 放射性物質放出箇所へのスプレイ (淡水/海水) 海水取水ポンプによる防火水槽への海水補給 内部溢水					

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考						
<p align="center">表 2 大規模損壊発生時の対応手順書リスト(4/6)</p> <table border="1" data-bbox="184 262 911 726"> <tr> <td align="center">(共通) 多様なハザード対応手順 (共用設備 EHP)</td> </tr> <tr> <td> 第二GTGによる緊急用M/C受電 電源車による緊急用M/C受電 各号機D/G(A)による緊急用M/C受電から各号機への送電 泡消火剤による消火及び延焼防止 (仮称) 純水移送ポンプ電源確保 電源車によるK3代替緊急時対策所への給電 貯水池から防火水槽への補給 貯水池から淡水タンクへの補給 淡水タンクから防火水槽への補給 軽油タンクからタンクローリーへの給油 タンクローリーから各機器等への給油 状況確認とアクセスルート確保 段差復旧・陥没箇所復旧 がれき除去 除灰手順 (道路部) フィルタ清掃・交換手順 (仮称) 海洋への放出抑制 (仮称) </td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="184 758 911 940"> <tr> <td align="center">6号炉 警報発生時操作手順書</td> </tr> <tr> <td> 重要警報編 系統別一括警報 H11-P703 編 系統別一括警報 H11-P704(L) 編 系統別一括警報 H11-P704(R) 編 系統別一括警報 H11-P705 編 廃棄物処理系編 </td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="184 972 911 1131"> <tr> <td align="center">7号炉 警報発生時操作手順書</td> </tr> <tr> <td> 重要警報編 系統別一括警報 H11-P703 編 系統別一括警報 H11-P704(L) 編 系統別一括警報 H11-P704(R) 編 系統別一括警報 H11-P705 編 </td> </tr> </table>	(共通) 多様なハザード対応手順 (共用設備 EHP)	第二GTGによる緊急用M/C受電 電源車による緊急用M/C受電 各号機D/G(A)による緊急用M/C受電から各号機への送電 泡消火剤による消火及び延焼防止 (仮称) 純水移送ポンプ電源確保 電源車によるK3代替緊急時対策所への給電 貯水池から防火水槽への補給 貯水池から淡水タンクへの補給 淡水タンクから防火水槽への補給 軽油タンクからタンクローリーへの給油 タンクローリーから各機器等への給油 状況確認とアクセスルート確保 段差復旧・陥没箇所復旧 がれき除去 除灰手順 (道路部) フィルタ清掃・交換手順 (仮称) 海洋への放出抑制 (仮称)	6号炉 警報発生時操作手順書	重要警報編 系統別一括警報 H11-P703 編 系統別一括警報 H11-P704(L) 編 系統別一括警報 H11-P704(R) 編 系統別一括警報 H11-P705 編 廃棄物処理系編	7号炉 警報発生時操作手順書	重要警報編 系統別一括警報 H11-P703 編 系統別一括警報 H11-P704(L) 編 系統別一括警報 H11-P704(R) 編 系統別一括警報 H11-P705 編			
(共通) 多様なハザード対応手順 (共用設備 EHP)									
第二GTGによる緊急用M/C受電 電源車による緊急用M/C受電 各号機D/G(A)による緊急用M/C受電から各号機への送電 泡消火剤による消火及び延焼防止 (仮称) 純水移送ポンプ電源確保 電源車によるK3代替緊急時対策所への給電 貯水池から防火水槽への補給 貯水池から淡水タンクへの補給 淡水タンクから防火水槽への補給 軽油タンクからタンクローリーへの給油 タンクローリーから各機器等への給油 状況確認とアクセスルート確保 段差復旧・陥没箇所復旧 がれき除去 除灰手順 (道路部) フィルタ清掃・交換手順 (仮称) 海洋への放出抑制 (仮称)									
6号炉 警報発生時操作手順書									
重要警報編 系統別一括警報 H11-P703 編 系統別一括警報 H11-P704(L) 編 系統別一括警報 H11-P704(R) 編 系統別一括警報 H11-P705 編 廃棄物処理系編									
7号炉 警報発生時操作手順書									
重要警報編 系統別一括警報 H11-P703 編 系統別一括警報 H11-P704(L) 編 系統別一括警報 H11-P704(R) 編 系統別一括警報 H11-P705 編									

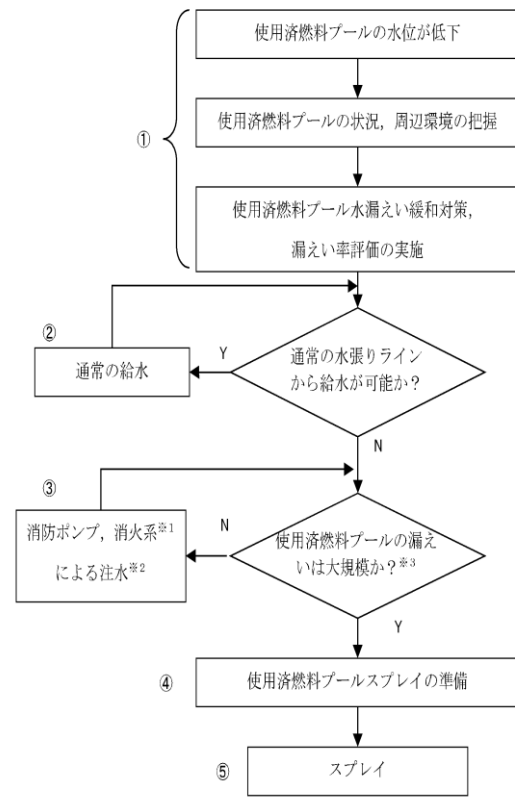
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考				
<p style="text-align: center;"><u>表 2 大規模損壊発生時の対応手順書リスト(5/6)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;"> 事故時運転操作手順書(事象ベース)(AOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ 原子炉編 タービン・電気編 火災編 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> 事故時運転操作手順書(徴候ベース)(EOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ 原子炉制御 格納容器制御 原子炉建屋制御 使用済燃料プール制御 不測事態 EOP/SOP インターフェース(ES/I) </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> 事故時運転操作手順書(シリアクティヴ)(SOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ AM 操作方針の全体流れ図 注水-1 「損傷炉心への注水」 注水-2 「長期の原子炉水位の確保」 注水-3a 「RPV 破損前の下部 D/W 注水」 注水-3b 「RPV 破損後の下部 D/W 注水」 注水-4 「長期の RPV 破損後の注水」 除熱-1 「損傷炉心冷却後の除熱」 除熱-2 「RPV 破損後の除熱」 放出 「PCV 破損防止」 水素 「R/B 水素爆発防止」 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> 事故時運転操作手順書(停止時徴候ベース)(停止時 EOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ 「停止時反応度制御」(RC/Q) 「RPV ヘッドオン/プールゲート閉/PCV 閉鎖」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオン/プールゲート閉/PCV 開放」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ/プールゲート閉/PCV 開放」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ/プールゲート開/PCV 開放」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ直後・ヘッドオン直前」時原子炉水位・温度制御 「交流/直流電源供給回路」(PS/R) </td> </tr> </table>	事故時運転操作手順書(事象ベース)(AOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ 原子炉編 タービン・電気編 火災編	事故時運転操作手順書(徴候ベース)(EOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ 原子炉制御 格納容器制御 原子炉建屋制御 使用済燃料プール制御 不測事態 EOP/SOP インターフェース(ES/I)	事故時運転操作手順書(シリアクティヴ)(SOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ AM 操作方針の全体流れ図 注水-1 「損傷炉心への注水」 注水-2 「長期の原子炉水位の確保」 注水-3a 「RPV 破損前の下部 D/W 注水」 注水-3b 「RPV 破損後の下部 D/W 注水」 注水-4 「長期の RPV 破損後の注水」 除熱-1 「損傷炉心冷却後の除熱」 除熱-2 「RPV 破損後の除熱」 放出 「PCV 破損防止」 水素 「R/B 水素爆発防止」	事故時運転操作手順書(停止時徴候ベース)(停止時 EOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ 「停止時反応度制御」(RC/Q) 「RPV ヘッドオン/プールゲート閉/PCV 閉鎖」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオン/プールゲート閉/PCV 開放」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ/プールゲート閉/PCV 開放」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ/プールゲート開/PCV 開放」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ直後・ヘッドオン直前」時原子炉水位・温度制御 「交流/直流電源供給回路」(PS/R)			
事故時運転操作手順書(事象ベース)(AOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ 原子炉編 タービン・電気編 火災編							
事故時運転操作手順書(徴候ベース)(EOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ 原子炉制御 格納容器制御 原子炉建屋制御 使用済燃料プール制御 不測事態 EOP/SOP インターフェース(ES/I)							
事故時運転操作手順書(シリアクティヴ)(SOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ AM 操作方針の全体流れ図 注水-1 「損傷炉心への注水」 注水-2 「長期の原子炉水位の確保」 注水-3a 「RPV 破損前の下部 D/W 注水」 注水-3b 「RPV 破損後の下部 D/W 注水」 注水-4 「長期の RPV 破損後の注水」 除熱-1 「損傷炉心冷却後の除熱」 除熱-2 「RPV 破損後の除熱」 放出 「PCV 破損防止」 水素 「R/B 水素爆発防止」							
事故時運転操作手順書(停止時徴候ベース)(停止時 EOP) ※6号及び7号炉ともに構成は同じ 「停止時反応度制御」(RC/Q) 「RPV ヘッドオン/プールゲート閉/PCV 閉鎖」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオン/プールゲート閉/PCV 開放」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ/プールゲート閉/PCV 開放」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ/プールゲート開/PCV 開放」時 SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ直後・ヘッドオン直前」時原子炉水位・温度制御 「交流/直流電源供給回路」(PS/R)							

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考				
<p style="text-align: center;"><u>表 2 大規模損壊発生時の対応手順書リスト(6/6)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">AM 設備別操作手順書※6号及び7号炉ともに構成は同じ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ①電源確保戦略 ②反応度制御戦略 ③Rx 注水戦略 ④圧力制御戦略 ⑤格納容器スプレイ戦略 ⑥格納容器水素・酸素制御戦略 ⑦SFP 注水, ウェル注水, SFP 監視戦略 ⑧代替除熱戦略 ⑨原子炉除熱戦略 ⑩格納容器除熱戦略 ⑪SFP 除熱戦略 ⑫水源確保戦略 ⑬代替計器戦略 ⑭その他戦略 ⑮中央制御室居住性確保戦略 ⑯下部 D/W 注水戦略 </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">火災防護計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・発電関連設備の火災防護対策 ・中央制御室盤内の火災防護対策 ・原子炉格納容器内の火災防護対策 ・重大事故等対処設備並びにこれらが設置されている火災区域に対する火災防護対策 ・その他の区域の火災防護対策 ・火災鎮火後の処置 </td> </tr> </tbody> </table>	AM 設備別操作手順書※6号及び7号炉ともに構成は同じ	<ul style="list-style-type: none"> ①電源確保戦略 ②反応度制御戦略 ③Rx 注水戦略 ④圧力制御戦略 ⑤格納容器スプレイ戦略 ⑥格納容器水素・酸素制御戦略 ⑦SFP 注水, ウェル注水, SFP 監視戦略 ⑧代替除熱戦略 ⑨原子炉除熱戦略 ⑩格納容器除熱戦略 ⑪SFP 除熱戦略 ⑫水源確保戦略 ⑬代替計器戦略 ⑭その他戦略 ⑮中央制御室居住性確保戦略 ⑯下部 D/W 注水戦略 	火災防護計画	<ul style="list-style-type: none"> ・発電関連設備の火災防護対策 ・中央制御室盤内の火災防護対策 ・原子炉格納容器内の火災防護対策 ・重大事故等対処設備並びにこれらが設置されている火災区域に対する火災防護対策 ・その他の区域の火災防護対策 ・火災鎮火後の処置 			
AM 設備別操作手順書※6号及び7号炉ともに構成は同じ							
<ul style="list-style-type: none"> ①電源確保戦略 ②反応度制御戦略 ③Rx 注水戦略 ④圧力制御戦略 ⑤格納容器スプレイ戦略 ⑥格納容器水素・酸素制御戦略 ⑦SFP 注水, ウェル注水, SFP 監視戦略 ⑧代替除熱戦略 ⑨原子炉除熱戦略 ⑩格納容器除熱戦略 ⑪SFP 除熱戦略 ⑫水源確保戦略 ⑬代替計器戦略 ⑭その他戦略 ⑮中央制御室居住性確保戦略 ⑯下部 D/W 注水戦略 							
火災防護計画							
<ul style="list-style-type: none"> ・発電関連設備の火災防護対策 ・中央制御室盤内の火災防護対策 ・原子炉格納容器内の火災防護対策 ・重大事故等対処設備並びにこれらが設置されている火災区域に対する火災防護対策 ・その他の区域の火災防護対策 ・火災鎮火後の処置 							

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: right;">添付資料 2. 1. 13</p> <p style="text-align: center;">使用済燃料プール大規模漏えい時の対応について</p> <p>1. 使用済燃料プールにおける事故対応 使用済燃料プールに大規模漏えいが発生した場合における、使用済燃料プールの優先順位に従った事故対応例について以下に示す。</p> <p>(1) <u>使用済燃料プールの漏えい緩和のための操作を実施するにあたり、最も重要な判断は使用済燃料プール（原子炉建屋）へのアクセス可否となる。これは現場の被害状態（火災の発生状況、線量等）に依存する。</u></p> <p>(2) <u>使用済燃料プールへアクセス可能な場合には、準備から注水するまでの時間が比較的短い恒設設備（復水補給水系）を用いた内部からの使用済燃料プール注水を行う。</u></p> <p>(3) <u>(2)の操作により使用済燃料プール水位の維持ができない場合、可搬型代替注水ポンプを用いた注水、消火系を用いた注水、サブプレッションプール浄化系を用いた注水を順次試みる。</u></p> <p>(4) <u>(3)による使用済燃料プールへの注水を行っても水位が維持できない場合、原子炉建屋内部からのスプレーが可能であれば、可搬型代替注水ポンプを既設の接続口に連結し、常設スプレーヘッドによるスプレーを行い、困難な場合は可搬型スプレーヘッドを用いたスプレーを行う。</u></p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2. 1. 12</p> <p style="text-align: center;">使用済燃料プール大規模漏えい時の対応について</p> <p>1. 使用済燃料プールにおける事故対応 使用済燃料プールに大規模漏えいが発生した場合における、優先順位に従った事故対応例について以下に示す。</p> <p>(1) <u>使用済燃料プールからの漏えいが発生した場合は、中央制御室から操作が可能であり、速やかな操作が可能である常設低圧代替注水系ポンプによる代替燃料プール注水系（注水ライン）を使用した使用済燃料プール注水を行う。</u></p> <p>(2) (1)による使用済燃料プール注水を行えない場合、<u>使用済燃料プールへのアクセスが可能であれば、準備から注水開始までの時間が比較的短い恒設設備（消火系）による使用済燃料プール注水を行う。なお、消火系による使用済燃料プールへの注水は、消火系による消火を必要とする火災が発生していないことが確認できた場合に実施する。</u></p> <p>(3) (2)による使用済燃料プールへの注水が行えない場合、<u>可搬型代替注水大型ポンプ又は可搬型代替注水中型ポンプによる代替燃料プール注水系（注水ライン）を使用した使用済燃料プール注水を行う。</u></p> <p>(4) (1), (2), (3)による使用済燃料プール注水により、<u>使用済燃料プール水位の維持ができない場合、常設低圧代替注水系ポンプによる代替燃料プール注水系（常設スプレーヘッド）を使用した使用済燃料プールのスプレーを行う。</u></p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2. 1. 13</p> <p style="text-align: center;">燃料プール大規模漏えい時の対応について</p> <p>1. 燃料プールにおける事故対応 燃料プールに大規模な漏えいが発生した場合における、<u>燃料プールの優先順位に従った事故対応例について以下に示す。</u></p> <p>(1) <u>燃料プールからの漏えいが発生した場合は、中央制御室から操作が可能であり、速やかな操作が可能である燃料プール補給水系、復水輸送系、消火系又は残留熱除去系による燃料プールへの注水を行う。なお、消火系による燃料プールへの注水は、消火系による消火を必要とする火災が発生していないことが確認できた場合に実施する。</u></p> <p>(2) (1)による燃料プールへの注水が行えない場合、<u>大量送水車による燃料プールのスプレー系（常設スプレーヘッド）を使用した燃料プールへの注水又はスプレーを行う。</u></p> <p>(3) (2)による燃料プールへの注水又はスプレーが行えない場合、<u>燃料プールへのアクセスが可能であれば、大量送水車による燃料プールのスプレー系（可搬型スプレーノズル）を使用した燃料プールへの注水又はスプレーを行う。</u></p>	<p>・設備の相違 【東海第二】 東海第二は、常設低圧代替注水系ポンプによる代替燃料プール注水系を使用した使用済燃料プールへの注水及びスプレー設備を整備</p> <p>・設備の相違 【柏崎 6/7】 島根 2号炉は、柏崎 6/7 のサブプレッションプール浄化系に相当する設備はない</p> <p>・記載表現の相違 【柏崎 6/7, 東海第二】 島根 2号炉は、燃料プールへの注水とスプレーは同様な操作になる</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>(5) (4)と並行して、使用済燃料プールの漏えいを緩和するため、あらかじめ準備している漏えい緩和のための資機材を用いた手段により、使用済燃料プール内側からの漏えい緩和を行う。</p> <p>(6) 使用済燃料プールへアクセスできない場合や建屋内部での使用済燃料プールスプレイが困難な場合、放水砲（大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）を使用）を用いた使用済燃料プールへの放水を行う。</p>	<p>(5) (4)による使用済燃料プールスプレイが行えない場合、使用済燃料プールへのアクセスが可能であれば、可搬型代替注水大型ポンプによる代替燃料プール注水系（可搬型スプレイノズル）を使用した使用済燃料プールスプレイを行い、困難な場合は、可搬型代替注水大型ポンプによる代替燃料プール注水系（常設スプレイヘッド）を使用した使用済燃料プールスプレイを行う。</p> <p>(6) また、使用済燃料プールへの注水により使用済燃料プール水位の維持ができない場合、(4)又は(5)の使用済燃料プールスプレイと並行して、使用済燃料プールの漏えいを緩和するため、あらかじめ準備している漏えい緩和のための資機材を用いた手段により、使用済燃料プール内側からの漏えい緩和を行う。</p> <p>(7) (1)～(5)の操作による建屋内部からの使用済燃料プールへの注水、スプレイにより使用済燃料プールの水位上昇が確認できない場合、可搬型代替注水大型ポンプ、放水砲等を用いた建屋外部からの使用済燃料プールへの放水を行う。</p>	<p>(4) 燃料プールからの漏えいが発生している場合は、(2)又は(3)の燃料プールへの注水又はスプレイと並行して、燃料プールの漏えいを緩和するため、あらかじめ準備している漏えい緩和のための資機材を用いた手段により、燃料プール内側からの漏えい緩和を行う。</p> <p>(5) (1)～(4)の操作による建物内部からの燃料プールへの注水又はスプレイにより燃料プールの水位上昇が確認できない場合において、大型航空機が原子炉建物に衝突する等して原子炉建物が損傷し開口部がある場合には、大型送水ポンプ車、放水砲等を用いて、開口部に対して建物外部からの燃料プールへの放水を行う。</p>	<p>ため、まとめて記載</p>

2. 重大事故を想定した使用済燃料プールの監視対応フロー



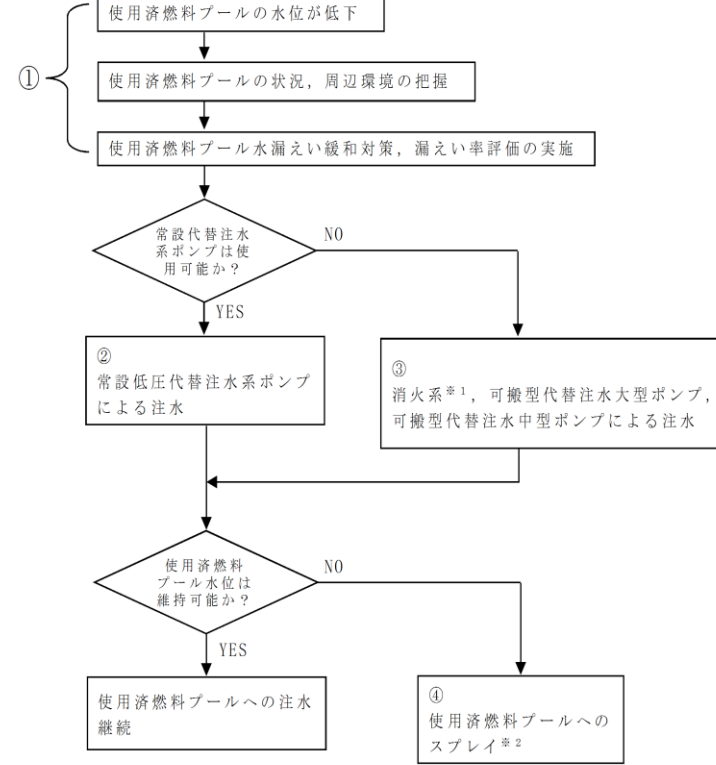
※1 重大事故等へ対処するために消火が必要な火災が発生していないこと。
 ※2 サプレッションプール浄化系による注水も含む。
 ※3 資機材等による漏れい緩和措置が有効な場合は実施する。

図1 使用済燃料プールの監視対応フロー

表1 各設備の監視機能

計器名称		①	②	③	④	⑤
水位	使用済燃料貯蔵プール水位計	○	○	○	-	-
	使用済燃料貯蔵プール水位計 (SA広域)	○	○	○	○	○
温度	使用済燃料貯蔵プール温度計 (SA)	○	○	○	○	-
	使用済燃料貯蔵プール温度計 (SA広域)	○	○	○	-	-
空間線量率	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (低レンジ)	○	○	○	○	-
	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ)	-	-	○	○	○
状態監視	使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	○	○	○	○	○

2. 重大事故を想定した使用済燃料プールの監視対応フロー



※1 重大事故等へ対処するために消火が必要な火災が発生していないこと。
 ※2 資機材等による漏れい緩和措置が有効な場合は実施する

第1図 使用済燃料プール水位低下時の監視対応フロー

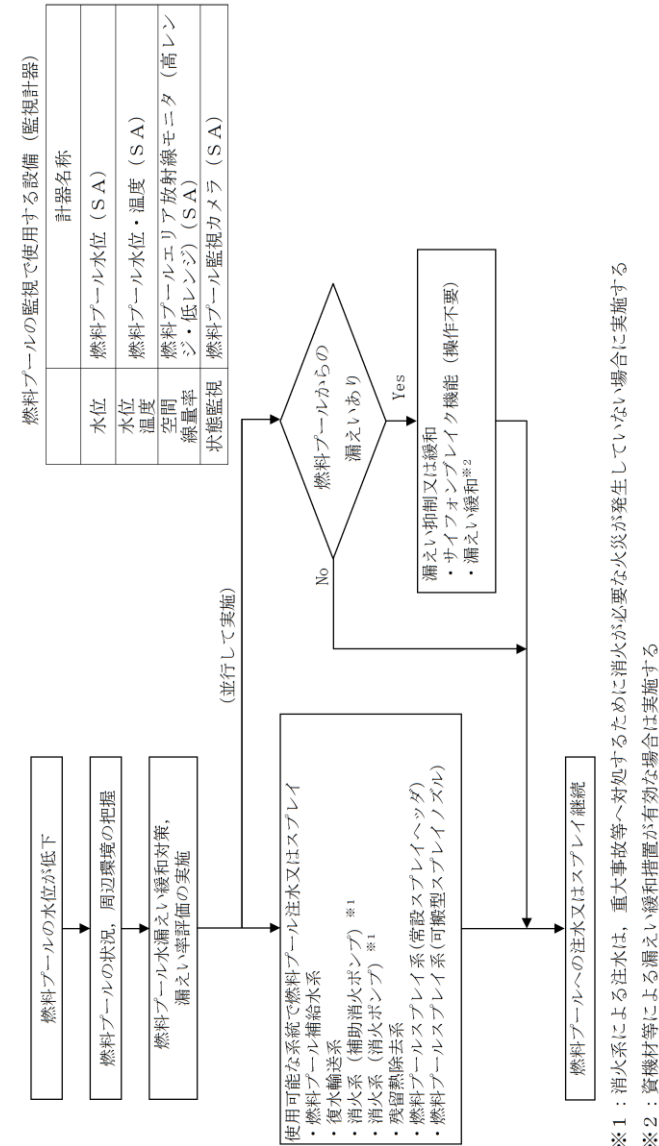
第1表 各設備の監視機能

計器名称		①	②	③	④
水位	使用済燃料プール水位 (SA広域)	○	○	○	○
	使用済燃料プール温度 (SA広域)	○	○	○	- ※3
温度	使用済燃料プール温度 (SA)	○	○	○	- ※3
	使用済燃料プールエリア放射線モニタ (低レンジ)	○	○	○	- ※3
空間線量率	使用済燃料プールエリア放射線モニタ (高レンジ)	-	-	○	○
	使用済燃料プール監視カメラ	○	○	○	- ※3

※3 使用済燃料プールからの漏れいにより、使用済燃料プールの水位が使用済燃料ラック上端の位置を超えて低下する場合、水位の低下量に応じて計測できなくなる場合がある。

・設備及び運用の相違
【柏崎6/7, 東海第二】
 判断基準及び対応設備の相違
 ・設備の相違
【東海第二】
 東海第二は、常設低圧代替注水系ポンプによる代替燃料プール注水系を使用した使用済燃料プールへの注水及びスプレー設備を整備
【柏崎6/7】
 島根2号炉は、柏崎6/7のサプレッションプール浄化系に相当する設備はない
 ・記載表現の相違
【柏崎6/7, 東海第二】
 島根2号炉は、燃料プールへの注水とスプレーは同様な操作になるため、まとめて記載

2. 重大事故等を想定した燃料プールの監視対応フロー



※1：消火系による注水は、重大事故等へ対処するために消火が必要な火災が発生していない場合に実施する
 ※2：資機材等による漏れい緩和措置が有効な場合は実施する

第1図 燃料プールの監視対応フロー

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>3. <u>使用済燃料プールへのスプレイ手順の妥当性について</u> <u>(1) 使用済燃料プール水の大規模漏えい時の未臨界評価</u> <u>柏崎刈羽6号及び7号炉の使用済燃料プール</u> (以下、本添付資料において「SFP」という。)では、ボロン添加ステンレス鋼製ラックセルに燃料が貯蔵される。SFPには、通常は限られた体数の新燃料と使用済燃料が貯蔵されるが、臨界設計については新燃料及びいかなる燃焼度の燃料を貯蔵しても十分安全側の評価を得るように、炉心装荷時の無限増倍率として1.30を仮定している。また、プール水温、ラック製造公差、ボロン添加率、ラックセル内燃料配置それぞれについて最も結果が厳しくなる状態で評価している。</p> <p>仮にSFPプール水が沸騰や喪失した状態、SFPスプレイが作動する状態を想定し、プールの水密度が減少した場合を考えると、ラックセル内で中性子を減速する効果が減少し、実効増倍率を低下させる効果がある。一方、ラックセル間では水及びラックセルによる中性子を吸収する効果が減少するため、隣接ラックへの中性子の流れ込みが強くなり、実効増倍率を増加させる効果が生じる。</p> <p>そこで、<u>柏崎刈羽6号及び7号炉のSFP</u>において水密度を1.0～0.0g/cm³と変化させて実効増倍率を計算したところ、中性子の強吸収体であるラックセル中のボロンの効果により、実効増倍率を増加させる効果がある隣接ラックへの中性子の流れ込みが抑制されることから、水密度の減少に伴い実効増倍率は単調に減少する効果が得られた。このため、水密度が減少する事象が生じた場合でも未臨界は維持されることを確認した。</p>	<p>4. <u>使用済燃料プール水の大規模漏えい時の未臨界性評価</u> <u>東海第二発電所の使用済燃料プール</u>では、ボロン添加ステンレス鋼製ラックセルを平成6年11月に設置(平成3年5月認可)し、現在に至るまで燃料を貯蔵している。使用済燃料プールには、通常は限られた体数の新燃料と照射済燃料を貯蔵するが、<u>臨界設計では、新燃料及びいかなる燃焼度の照射済燃料を貯蔵しても十分安全側の評価を得るように、炉心装荷時の無限増倍率が1.30となる燃料を用いて評価している。</u>また、<u>使用済燃料プール水温、ラック製造公差、ボロン添加率、ラックセル内燃料配置それぞれについて最も結果が厳しくなる状態で評価している。</u>未臨界性評価の基本計算条件を第6表に、ラック形状が確保された状態を前提とした計算体系を第2図に示す。</p> <p>仮に使用済燃料プール水が大規模漏えいし、<u>使用済燃料プール</u>のスプレイ設備が作動する状態となった場合には、<u>使用済燃料プール</u>の水密度が減少することにより、ラックセル内で中性子を減速する効果が減少し、実効増倍率を低下させる効果が生じる。一方、ラックセル間では水及びラックセルによる中性子を吸収する効果が減少するため、隣接ラックへの中性子の流れ込みが強くなり、実効増倍率を増加させる効果が生じる。</p> <p>低水密度状態を想定した場合の<u>使用済燃料プール</u>の実効増倍率は上記の2つの効果のバランスにより決定されるため、ラックの材質・ピッチの組合せによっては通常の冠水状態と比較して未臨界性評価結果が厳しくなる可能性がある。</p> <p>そこで、<u>東海第二発電所の使用済燃料プール</u>において水密度を一様に0.0～1.0g/cm³と変化させて実効増倍率を計算したところ、中性子の強吸収体であるラックセル中のボロンの効果により、実効増倍率を増加させる効果がある隣接ラックへの中性子の流れ込みが抑制されることから、<u>第3図に示すとおり、水密度の減少に伴い実効増倍率は単調に減少する結果が得られた。</u>ボロンは供用期間中に中性子を吸収し、中性子の吸収体としての効果が低下することが考えられるが、<u>仮に供用期間を60年としても効果の低下はごく僅かである。</u>このため、水密度が減少する事象が生じた場合でも未臨界は維持されることとなる。</p>	<p>3. <u>燃料プールへのスプレイ手順の妥当性について</u> <u>(1) 燃料プール水沸騰・喪失時の未臨界性評価</u> <u>島根2号炉の燃料プール</u>では、ボロン添加ステンレス鋼製ラックセルに燃料が貯蔵されている。燃料プールには、通常は限られた体数の新燃料と使用済燃料が貯蔵されるが、<u>臨界設計については新燃料及びいかなる燃焼度の燃料を貯蔵しても十分安全側の評価を得るように、炉心装荷時の無限増倍率として1.30(ウラン燃料の場合)、1.23(MOX燃料の場合)を仮定している。</u>また、<u>プール水温、ラック製造公差、ボロン添加率及びラックセル内燃料配置それぞれについて最も結果が厳しくなる状態で評価している。</u><u>未臨界性評価の基本計算条件を第1表に、ラック形状が確保された状態を前提とした計算体系を第2図に示す。</u></p> <p>仮に燃料プール水が沸騰や喪失した状態及び燃料プールのスプレイ系(常設スプレイヘッド)又は燃料プールのスプレイ系(可搬型スプレイノズル)が作動する状態を想定し、<u>プール</u>の水密度が減少した場合を考えると、ラックセル内で中性子を減速する効果が減少し、実効増倍率を低下させる効果がある。一方、ラックセル間では水及びラックセルによる中性子を吸収する効果が減少するため、隣接ラックへの中性子の流れ込みが強くなり、実効増倍率を増加させる効果が生じる。</p> <p>低水密度状態を想定した場合の燃料プールの実効増倍率は上述の2つの効果のバランスにより決定されるため、ラックの材質・ピッチの組合せによっては通常の冠水状態と比較して臨界評価結果が厳しくなる可能性がある。</p> <p>そこで、<u>島根2号炉の燃料プール</u>において水密度を一様に1.0～0.0g/cm³と変化させて実効増倍率を計算したところ、中性子の強吸収体であるラックセル中のボロンの効果により、実効増倍率を増加させる効果がある隣接ラックへの中性子の流れ込みが抑制されることから、水密度の減少に伴い実効増倍率は単調に減少する結果が得られた。このため、水密度が減少する事象が生じた場合でも未臨界は維持されることを確認した。<u>解析結果を第3-1図及び第3-2図に示す。</u>なお、ボロンは供用期間中に中性子を吸収し、中性子の吸収体としての効果が低下することが考えられるが、<u>仮に供用期間を60年としても効果の低下はごくわずかである。</u>このため、水密度が減少する事象が生じた場合でも未臨界は維持されることとなる。</p>	<p>・解析条件の相違 【柏崎6/7、東海第二】 島根2号炉は、MOX適用プラントであるため。</p> <p>・資料構成の相違 【柏崎6/7】 島根2号炉は計算条件を記載している</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																																																													
<p>なお、解析には米国オークリッジ国立研究所(ORNL)により米国原子力規制委員会(NRC)の原子力関連許認可評価用に作成された3次元多群輸送計算コードであり、米国内及び日本国内の臨界安全評価に広く使用されているSCALEシステムを用いた。</p>	<p>なお、解析には、米国オークリッジ国立研究所(ORNL)が米国原子力規制委員会(NRC)の原子力関連許認可評価用として作成したモンテカルロ法に基づく3次元多群輸送計算コードであり、米国内及び日本国内の臨界安全評価に広く使用されているSCALEシステムを用いた。</p>	<p>なお、解析には米国オークリッジ国立研究所(ORNL)により米国原子力規制委員会(NRC)の原子力関連許認可評価用に作成されたモンテカルロ法に基づく3次元多群輸送計算コードであり、米国内及び日本国内の臨界安全評価に広く使用されているSCALEシステムを用いた。</p>	<p>・資料構成の相違 【柏崎6/7】 島根2号炉は計算条件を記載している。 【東海第二】 島根2号炉は、MOX適用プラントであるため</p>																																																																																													
	<p style="text-align: center;"><u>第6表 未臨界性評価の基本計算条件</u></p> <table border="1" data-bbox="955 529 1700 1352"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">仕様</th> </tr> <tr> <th>ウラン燃料</th> <th>MOX燃料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">燃料仕様</td> <td>燃料種類</td> <td colspan="2">9×9燃料(A型)</td> </tr> <tr> <td>²³⁵U濃縮度</td> <td colspan="2">□ wt%^{※1}</td> </tr> <tr> <td>ペレット密度</td> <td colspan="2">理論密度の97%</td> </tr> <tr> <td>ペレット直径</td> <td colspan="2">0.96cm</td> </tr> <tr> <td>被覆管外径</td> <td colspan="2">1.12cm</td> </tr> <tr> <td>被覆管厚さ</td> <td colspan="2">0.71mm</td> </tr> <tr> <td>燃料有効長</td> <td colspan="2">3.71m</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">使用済燃料貯蔵ラック</td> <td>ラックタイプ</td> <td colspan="2">キャン型</td> </tr> <tr> <td>ラックピッチ</td> <td colspan="2">□ mm</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td colspan="2">ボロン添加ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>ボロン濃度</td> <td colspan="2">□ wt%^{※2}</td> </tr> <tr> <td>板厚</td> <td colspan="2">□ mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内のり</td> <td colspan="2">□ mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 未臨界性評価用燃料集合体 ($k_{\infty}=1.30$ 未燃焼組成, Gdなし) ※2 ボロン濃度の解析使用値は、製造公差下限値とする。</p>			項目	仕様		ウラン燃料	MOX燃料	燃料仕様	燃料種類	9×9燃料(A型)		²³⁵ U濃縮度	□ wt% ^{※1}		ペレット密度	理論密度の97%		ペレット直径	0.96cm		被覆管外径	1.12cm		被覆管厚さ	0.71mm		燃料有効長	3.71m		使用済燃料貯蔵ラック	ラックタイプ	キャン型		ラックピッチ	□ mm		材料	ボロン添加ステンレス鋼		ボロン濃度	□ wt% ^{※2}		板厚	□ mm			内のり	□ mm		<p style="text-align: center;"><u>第1表 未臨界性評価の基本計算条件</u></p> <table border="1" data-bbox="1742 525 2499 1041"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">仕様</th> </tr> <tr> <th>ウラン燃料</th> <th>MOX燃料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">燃料仕様</td> <td>燃料種類</td> <td>9×9燃料(A型)</td> <td>MOX燃料</td> </tr> <tr> <td>濃縮度</td> <td>²³⁵U濃縮度 □ wt%^{※1}</td> <td>核分裂性Pu富化度 □ wt%^{※2} ²³⁵U濃縮度 □ wt%</td> </tr> <tr> <td>ペレット密度</td> <td>理論密度の97%</td> <td>理論密度の95%</td> </tr> <tr> <td>ペレット直径</td> <td>0.96cm</td> <td>1.04cm</td> </tr> <tr> <td>被覆管外径</td> <td>1.12cm</td> <td>1.23cm</td> </tr> <tr> <td>被覆管厚さ</td> <td>0.71mm</td> <td>0.86mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">使用済燃料貯蔵ラック</td> <td>ラックタイプ</td> <td colspan="2">たて置ラック式</td> </tr> <tr> <td>ラックピッチ</td> <td colspan="2">□ mm</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td colspan="2">ボロン添加ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>ボロン濃度</td> <td colspan="2">□ wt%^{※3}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>板厚</td> <td colspan="2">□ mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内のり</td> <td colspan="2">□ mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 未臨界性評価用燃料集合体 ($k_{\infty}=1.30$ 未燃焼組成, Gdなし) ※2 未臨界性評価用燃料集合体 ($k_{\infty}=1.23$ 未燃焼組成, Gdなし) ※3 ボロン濃度の解析使用値は、製造公差下限値とする。</p>		項目	仕様		ウラン燃料	MOX燃料	燃料仕様	燃料種類	9×9燃料(A型)	MOX燃料	濃縮度	²³⁵ U濃縮度 □ wt% ^{※1}	核分裂性Pu富化度 □ wt% ^{※2} ²³⁵ U濃縮度 □ wt%	ペレット密度	理論密度の97%	理論密度の95%	ペレット直径	0.96cm	1.04cm	被覆管外径	1.12cm	1.23cm	被覆管厚さ	0.71mm	0.86mm	使用済燃料貯蔵ラック	ラックタイプ	たて置ラック式		ラックピッチ	□ mm		材料	ボロン添加ステンレス鋼		ボロン濃度	□ wt% ^{※3}			板厚	□ mm			内のり	□ mm
	項目		仕様																																																																																													
		ウラン燃料	MOX燃料																																																																																													
燃料仕様	燃料種類	9×9燃料(A型)																																																																																														
	²³⁵ U濃縮度	□ wt% ^{※1}																																																																																														
	ペレット密度	理論密度の97%																																																																																														
	ペレット直径	0.96cm																																																																																														
	被覆管外径	1.12cm																																																																																														
	被覆管厚さ	0.71mm																																																																																														
	燃料有効長	3.71m																																																																																														
使用済燃料貯蔵ラック	ラックタイプ	キャン型																																																																																														
	ラックピッチ	□ mm																																																																																														
	材料	ボロン添加ステンレス鋼																																																																																														
	ボロン濃度	□ wt% ^{※2}																																																																																														
	板厚	□ mm																																																																																														
	内のり	□ mm																																																																																														
	項目	仕様																																																																																														
		ウラン燃料	MOX燃料																																																																																													
燃料仕様	燃料種類	9×9燃料(A型)	MOX燃料																																																																																													
	濃縮度	²³⁵ U濃縮度 □ wt% ^{※1}	核分裂性Pu富化度 □ wt% ^{※2} ²³⁵ U濃縮度 □ wt%																																																																																													
	ペレット密度	理論密度の97%	理論密度の95%																																																																																													
	ペレット直径	0.96cm	1.04cm																																																																																													
	被覆管外径	1.12cm	1.23cm																																																																																													
	被覆管厚さ	0.71mm	0.86mm																																																																																													
使用済燃料貯蔵ラック	ラックタイプ	たて置ラック式																																																																																														
	ラックピッチ	□ mm																																																																																														
	材料	ボロン添加ステンレス鋼																																																																																														
	ボロン濃度	□ wt% ^{※3}																																																																																														
	板厚	□ mm																																																																																														
	内のり	□ mm																																																																																														

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="192 233 872 793" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="261 835 807 869" data-label="Caption"> <p>図2 柏崎刈羽6号炉 角管型ラックの計算体系</p> </div> <div data-bbox="184 936 887 1524" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="261 1556 807 1589" data-label="Caption"> <p>図3 柏崎刈羽6号炉 格子型ラックの計算体系</p> </div>	<div data-bbox="955 233 1694 848" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1130 884 1525 917" data-label="Caption"> <p>第2図 角管型ラックの計算体系</p> </div>	<div data-bbox="1751 264 2496 774" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1872 793 2365 827" data-label="Caption"> <p>第2図 使用済燃料貯蔵ラックの計算体系</p> </div>	<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載対象の相違 【柏崎6/7】 柏崎は複数種類のラックを使用しており、また複数号炉を記載している

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="184 289 884 856" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="246 926 813 963" data-label="Caption"> <p>図4 柏崎刈羽7号炉 角管型ラックの計算体系</p> </div> <div data-bbox="178 1041 884 1608" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="237 1642 825 1680" data-label="Caption"> <p>図5 柏崎刈羽6号炉 実効増倍率の水密度依存性</p> </div>	<div data-bbox="949 1033 1691 1759" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1104 1776 1543 1814" data-label="Caption"> <p>第3図 実効増倍率の水密度依存性</p> </div>	<div data-bbox="1751 1075 2487 1675" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1786 1688 2433 1726" data-label="Caption"> <p>第3図(1) 実効増倍率の水密度依存性 (ウラン燃料)</p> </div>	<div data-bbox="2522 1600 2819 1768" data-label="Text"> <p>・記載対象の相違 【柏崎6/7】 柏崎は複数号炉を記載している</p> </div>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="255 268 813 716" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="240 745 828 781" data-label="Caption"> <p>図6 柏崎刈羽7号炉 実効増倍率の水密度依存性</p> </div>		<div data-bbox="1754 226 2490 863" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1798 884 2436 919" data-label="Caption"> <p>第3図(2) 実効増倍率の水密度依存性 (MOX燃料)</p> </div>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>4. 必要スプレイ流量</p>	<p>3. <u>使用済燃料プールへの必要スプレイ流量について</u> <u>使用済燃料プールへの注水（代替燃料プール注水系等による注水）によっても使用済燃料プール水位を維持できないような漏えいが生じた場合に実施する使用済燃料プールスプレイ戦略について、使用済燃料プール内に保管されている照射済燃料の冷却に必要なスプレイ流量を算出する。</u></p> <p>(1) <u>評価条件</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>使用済燃料プール内の冷却水が流出して照射済燃料が全露出している状態を想定する。</u> ・<u>崩壊熱除去に必要なスプレイ流量を算出する。</u> ・<u>スプレイ水の温度は保守的に見積もっても 35℃であるが、顕熱冷却による効果は考慮せずに、保守的に飽和水（大気圧における）と仮定する。</u> ・<u>想定する崩壊熱は、第 2 表、第 3 表及び第 4 表に示すとおり、原子炉運転中（運転開始直後）と原子炉停止中（全炉心燃料取出後）の 2 ケースとする。</u> <p>(2) <u>必要注水量の評価式</u></p> <p><u>使用済燃料プールへの必要注水量は、崩壊熱による使用済燃料プールの保有水の蒸発量に等しいとして扱い、以下の式で評価した。評価結果を第 5 表に示す。</u></p> $\frac{\Delta V}{\Delta t} = Q \times 10^3 \times 3,600 / (hfg \times \rho)$ <p><u>$\frac{\Delta V}{\Delta t}$: 必要注水量 [m³/h]</u> <u>Q : 崩壊熱 [MW]</u> <u>hfg : 飽和水蒸発潜熱 [kJ/kg] (=2,257kJ/kg)</u> <u>ρ : 注水密度 [kg/m³] (=958kg/m³)</u></p>	<p>4. <u>必要スプレイ流量</u></p>	<p>・評価方法の相違 【東海第二】 島根 2 号炉では実機寸法を模擬した試験を実施し、評価しているが、東海第二では机上計算により評価している（以下、添 2.1.13-①の相違）</p> <p>・資料構成の相違 【東海第二】 島根 2 号炉では、評価条件については 54 条補足説明資料 6（容量設定根拠）に記載している</p> <p>・資料構成の相違 【東海第二】 島根 2 号炉では、必要注水量の評価式については 54 条補足説明資料 6（容量設定根拠）に記載している</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																																	
	<p style="text-align: center;"><u>第2表 崩壊熱評価条件</u></p> <table border="1" data-bbox="964 279 1673 705"> <thead> <tr> <th></th> <th>原子炉運転中</th> <th>原子炉停止中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>照射期間 / 1 サイクル</td> <td>14 ヶ月</td> <td>14 ヶ月</td> </tr> <tr> <td>冷却期間 / 1 サイクル</td> <td>13 ヶ月</td> <td>13 ヶ月</td> </tr> <tr> <td>停止期間^{*1}</td> <td>30 日</td> <td>30 日</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料体数</td> <td>1,486 体^{*2}</td> <td>1,486 体^{*3}</td> </tr> <tr> <td>施設定期検査時取出燃料体数</td> <td>—</td> <td>764 体^{*3}</td> </tr> <tr> <td>評価日</td> <td>運転開始直後</td> <td>原子炉停止 9 日後^{*4}</td> </tr> </tbody> </table> <p> <u>※1 過去の施設定期検査における発電機解列から併入までの期間の実績よりも短い日数を設定した。</u> <u>※2 使用済燃料プールの最大貯蔵量 (2,250 体) から 1 炉心の燃料 (764 体) を除いた体数 (1,486 体) が貯蔵されているものとする。</u> <u>※3 使用済燃料プールの最大貯蔵量 (2,250 体) の燃料が貯蔵 (前サイクルまで原子炉に装荷されていた取出燃料 (764 体) + 使用済燃料 (1,486 体)) されているものとする。</u> <u>※4 過去の全燃料取出完了日の実績を踏まえ余裕を見た日数を設定した。</u> </p> <p style="text-align: center;"><u>第3表 燃料取出スキーム (原子炉運転中)</u></p> <table border="1" data-bbox="964 1278 1644 1787"> <thead> <tr> <th>使用済燃料プール 貯蔵燃料</th> <th>冷却期間</th> <th>燃料体数</th> <th>崩壊熱 (MW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 サイクル冷却済燃料</td> <td>8 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日</td> <td>142 体</td> <td>0.047</td> </tr> <tr> <td>7 サイクル冷却済燃料</td> <td>7 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日</td> <td>168 体</td> <td>0.059</td> </tr> <tr> <td>6 サイクル冷却済燃料</td> <td>6 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日</td> <td>168 体</td> <td>0.064</td> </tr> <tr> <td>5 サイクル冷却済燃料</td> <td>5 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日</td> <td>168 体</td> <td>0.072</td> </tr> <tr> <td>4 サイクル冷却済燃料</td> <td>4 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日</td> <td>168 体</td> <td>0.085</td> </tr> <tr> <td>3 サイクル冷却済燃料</td> <td>3 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日</td> <td>168 体</td> <td>0.110</td> </tr> <tr> <td>2 サイクル冷却済燃料</td> <td>2 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日</td> <td>168 体</td> <td>0.161</td> </tr> <tr> <td>1 サイクル冷却済燃料</td> <td>1 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日</td> <td>168 体</td> <td>0.283</td> </tr> <tr> <td>施設定期検査時取出燃料</td> <td>30 日</td> <td>168 体</td> <td>1.214</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計 (使用済燃料及び施設定期検査時取出燃料)</td> <td>1,486 体</td> <td>2.095</td> </tr> </tbody> </table>		原子炉運転中	原子炉停止中	照射期間 / 1 サイクル	14 ヶ月	14 ヶ月	冷却期間 / 1 サイクル	13 ヶ月	13 ヶ月	停止期間 ^{*1}	30 日	30 日	使用済燃料体数	1,486 体 ^{*2}	1,486 体 ^{*3}	施設定期検査時取出燃料体数	—	764 体 ^{*3}	評価日	運転開始直後	原子炉停止 9 日後 ^{*4}	使用済燃料プール 貯蔵燃料	冷却期間	燃料体数	崩壊熱 (MW)	8 サイクル冷却済燃料	8 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	142 体	0.047	7 サイクル冷却済燃料	7 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.059	6 サイクル冷却済燃料	6 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.064	5 サイクル冷却済燃料	5 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.072	4 サイクル冷却済燃料	4 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.085	3 サイクル冷却済燃料	3 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.110	2 サイクル冷却済燃料	2 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.161	1 サイクル冷却済燃料	1 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.283	施設定期検査時取出燃料	30 日	168 体	1.214	合計 (使用済燃料及び施設定期検査時取出燃料)		1,486 体	2.095		
	原子炉運転中	原子炉停止中																																																																		
照射期間 / 1 サイクル	14 ヶ月	14 ヶ月																																																																		
冷却期間 / 1 サイクル	13 ヶ月	13 ヶ月																																																																		
停止期間 ^{*1}	30 日	30 日																																																																		
使用済燃料体数	1,486 体 ^{*2}	1,486 体 ^{*3}																																																																		
施設定期検査時取出燃料体数	—	764 体 ^{*3}																																																																		
評価日	運転開始直後	原子炉停止 9 日後 ^{*4}																																																																		
使用済燃料プール 貯蔵燃料	冷却期間	燃料体数	崩壊熱 (MW)																																																																	
8 サイクル冷却済燃料	8 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	142 体	0.047																																																																	
7 サイクル冷却済燃料	7 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.059																																																																	
6 サイクル冷却済燃料	6 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.064																																																																	
5 サイクル冷却済燃料	5 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.072																																																																	
4 サイクル冷却済燃料	4 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.085																																																																	
3 サイクル冷却済燃料	3 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.110																																																																	
2 サイクル冷却済燃料	2 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.161																																																																	
1 サイクル冷却済燃料	1 × (13 ヶ月 + 30 日) + 30 日	168 体	0.283																																																																	
施設定期検査時取出燃料	30 日	168 体	1.214																																																																	
合計 (使用済燃料及び施設定期検査時取出燃料)		1,486 体	2.095																																																																	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																																											
	<p align="center">第4表 燃料取出スキーム (原子炉停止中)</p> <table border="1" data-bbox="952 262 1670 982"> <thead> <tr> <th>使用済燃料プール 貯蔵燃料</th> <th>冷却期間</th> <th>燃料体数</th> <th>崩壊熱 (MW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>9 サイクル冷却済燃料</td><td>9×(13ヶ月+30日)+9日</td><td>142体</td><td>0.045</td></tr> <tr><td>8 サイクル冷却済燃料</td><td>8×(13ヶ月+30日)+9日</td><td>168体</td><td>0.056</td></tr> <tr><td>7 サイクル冷却済燃料</td><td>7×(13ヶ月+30日)+9日</td><td>168体</td><td>0.059</td></tr> <tr><td>6 サイクル冷却済燃料</td><td>6×(13ヶ月+30日)+9日</td><td>168体</td><td>0.065</td></tr> <tr><td>5 サイクル冷却済燃料</td><td>5×(13ヶ月+30日)+9日</td><td>168体</td><td>0.073</td></tr> <tr><td>4 サイクル冷却済燃料</td><td>4×(13ヶ月+30日)+9日</td><td>168体</td><td>0.086</td></tr> <tr><td>3 サイクル冷却済燃料</td><td>3×(13ヶ月+30日)+9日</td><td>168体</td><td>0.112</td></tr> <tr><td>2 サイクル冷却済燃料</td><td>2×(13ヶ月+30日)+9日</td><td>168体</td><td>0.165</td></tr> <tr><td>1 サイクル冷却済燃料</td><td>1×(13ヶ月+30日)+9日</td><td>168体</td><td>0.293</td></tr> <tr><td>施設定期検査時取出燃料5</td><td>9日</td><td>92体</td><td>1.089</td></tr> <tr><td>施設定期検査時取出燃料4</td><td>9日</td><td>168体</td><td>1.893</td></tr> <tr><td>施設定期検査時取出燃料3</td><td>9日</td><td>168体</td><td>1.800</td></tr> <tr><td>施設定期検査時取出燃料2</td><td>9日</td><td>168体</td><td>1.714</td></tr> <tr><td>施設定期検査時取出燃料1</td><td>9日</td><td>168体</td><td>1.608</td></tr> <tr><td>合計 (使用済燃料及び施設定期検査時取出燃料)</td><td></td><td>2,250体</td><td>9.058</td></tr> </tbody> </table> <p align="center">第5表 東海第二発電所において必要なスプレイ流量</p> <table border="1" data-bbox="952 1073 1679 1341"> <thead> <tr> <th></th> <th>原子炉運転中</th> <th>原子炉停止中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>崩壊熱</td> <td>約 2.1 [MW]</td> <td>約 9.1 [MW]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">必要なスプレイ流量</td> <td>約 3.5 [m³/h]</td> <td>約 15.1 [m³/h]</td> </tr> <tr> <td>約 15.4 [gpm]</td> <td>約 66.4 [gpm]</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) <u>まとめ</u></p> <p><u>東海第二発電所の使用済燃料プール内にある照射済燃料の冷却に必要なスプレイ流量を評価した。</u></p> <p><u>この結果、使用済燃料プールの熱負荷が最大となるような組合せで照射済燃料を貯蔵した場合でも、崩壊熱除去に必要なスプレイ流量は約15.1m³/hとなった。</u></p> <p><u>東海第二発電所で配備する可搬型スプレイ設備 (可搬型スプレイノズル (3個), 可搬型代替注水大型ポンプ) の流量は約 50m³/h であり、使用済燃料プール内にある照射済燃料はスプレイにより冷却可能である。また、NEI06-12の使用済燃料プールスプレイ要求において示されている必要流量 200gpm (約 45.4m³/h) を上回る流量になっている。</u></p>	使用済燃料プール 貯蔵燃料	冷却期間	燃料体数	崩壊熱 (MW)	9 サイクル冷却済燃料	9×(13ヶ月+30日)+9日	142体	0.045	8 サイクル冷却済燃料	8×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.056	7 サイクル冷却済燃料	7×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.059	6 サイクル冷却済燃料	6×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.065	5 サイクル冷却済燃料	5×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.073	4 サイクル冷却済燃料	4×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.086	3 サイクル冷却済燃料	3×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.112	2 サイクル冷却済燃料	2×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.165	1 サイクル冷却済燃料	1×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.293	施設定期検査時取出燃料5	9日	92体	1.089	施設定期検査時取出燃料4	9日	168体	1.893	施設定期検査時取出燃料3	9日	168体	1.800	施設定期検査時取出燃料2	9日	168体	1.714	施設定期検査時取出燃料1	9日	168体	1.608	合計 (使用済燃料及び施設定期検査時取出燃料)		2,250体	9.058		原子炉運転中	原子炉停止中	崩壊熱	約 2.1 [MW]	約 9.1 [MW]	必要なスプレイ流量	約 3.5 [m ³ /h]	約 15.1 [m ³ /h]	約 15.4 [gpm]	約 66.4 [gpm]		<p>・資料構成の相違</p> <p>【東海第二】</p> <p>島根2号炉では、必要スプレイ量のまとめについては54条補足説明資料6 (容量設定根拠) に記載している</p>
使用済燃料プール 貯蔵燃料	冷却期間	燃料体数	崩壊熱 (MW)																																																																											
9 サイクル冷却済燃料	9×(13ヶ月+30日)+9日	142体	0.045																																																																											
8 サイクル冷却済燃料	8×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.056																																																																											
7 サイクル冷却済燃料	7×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.059																																																																											
6 サイクル冷却済燃料	6×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.065																																																																											
5 サイクル冷却済燃料	5×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.073																																																																											
4 サイクル冷却済燃料	4×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.086																																																																											
3 サイクル冷却済燃料	3×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.112																																																																											
2 サイクル冷却済燃料	2×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.165																																																																											
1 サイクル冷却済燃料	1×(13ヶ月+30日)+9日	168体	0.293																																																																											
施設定期検査時取出燃料5	9日	92体	1.089																																																																											
施設定期検査時取出燃料4	9日	168体	1.893																																																																											
施設定期検査時取出燃料3	9日	168体	1.800																																																																											
施設定期検査時取出燃料2	9日	168体	1.714																																																																											
施設定期検査時取出燃料1	9日	168体	1.608																																																																											
合計 (使用済燃料及び施設定期検査時取出燃料)		2,250体	9.058																																																																											
	原子炉運転中	原子炉停止中																																																																												
崩壊熱	約 2.1 [MW]	約 9.1 [MW]																																																																												
必要なスプレイ流量	約 3.5 [m ³ /h]	約 15.1 [m ³ /h]																																																																												
	約 15.4 [gpm]	約 66.4 [gpm]																																																																												

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<p>5. <u>可搬型スプレインズル，常設スプレイヘッドの放水範囲について</u></p> <p><u>(可搬型スプレインズル)</u></p> <p><u>下記条件により，第4図，第5図に示すスプレイ分布を満足することを確認している。</u></p> <div data-bbox="1003 453 1605 669" style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 200px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="955 720 1688 1255" style="border: 1px solid black; height: 250px; width: 240px; margin: 10px auto;"></div> <p><u>第4図 可搬型スプレインズルの放水範囲 (単体)</u></p>		<p>・資料構成の相違</p> <p>【東海第二】</p> <p>島根2号炉では，放水範囲については54条補足説明資料6（容量設定根拠）に記載している</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>(1)測定方法 試験設備は、基準として床面を燃料頂部の高さとして仮定し、実機寸法を模擬して図7のようにポンプ、流量計、流量調整弁、ヘッド管、ノズルを設置した。また、実機 SFP と同様のスプレイ状態を模擬するため、足場とブルーシートにより SFP プール壁面の形状を構築した。</p>	<div data-bbox="952 226 1700 989" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1006 1016 1641 1050">第5図 可搬型スプレイノズルの放水範囲 (組合せ)</p> <p data-bbox="952 1106 1228 1140">(常設スプレイヘッド)</p> <p data-bbox="937 1152 1709 1230">下記条件により、第6図に示すスプレイ分布を満足することを確認している。</p> <ul data-bbox="973 1243 1605 1276" style="list-style-type: none"> ・ノズル使用本数、ノズル設置角度及びスプレイ流量 <div data-bbox="952 1289 1700 1493" data-label="Image"> </div>	<p>(1) 測定方法 試験設備は、基準としてスプレイ流量測定容器の頂部を燃料頂部の高さとして仮定し、実機寸法を模擬して第4図のようにポンプ、流量計、流量調整弁、スプレイヘッド、スプレイノズルを設置した。また、足場とブルーシートにより燃料プール壁面を模擬することで、実機燃料プールと同様のスプレイ状態で試験可能な考慮を実施した。</p>	<p>・評価方法の相違 【東海第二】 添 2.1.13-①の相違</p>

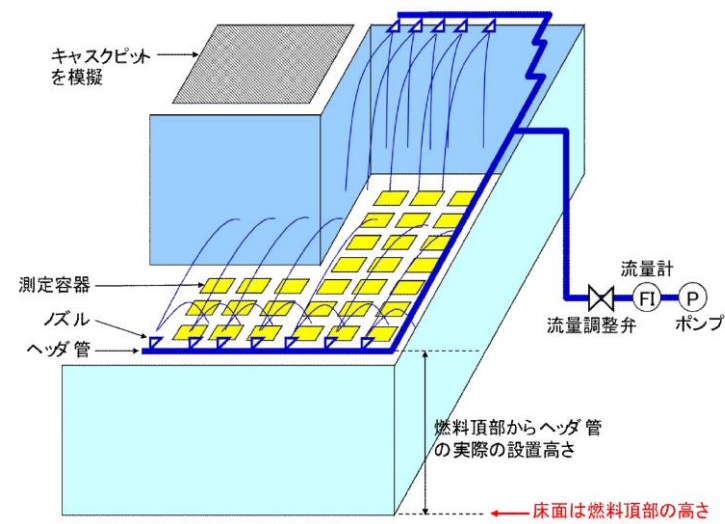


図7 試験設備概要図

(2) 測定条件

- ・ スpray時間 : 2min
- ・ 測定容器開口面積 : 318 mm×318 mm

(3) 判定基準

表2 Spray実証試験の判定基準

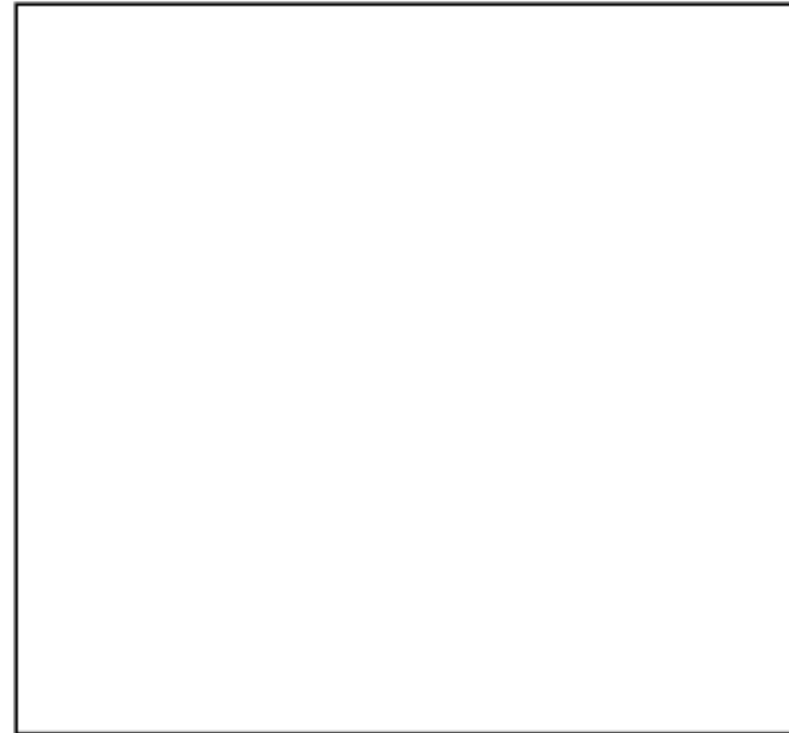
	単位面積当たりの必要Spray流量	必要Spray範囲
高温燃料域		2炉心以上の燃料
低温燃料域		全ての燃料

(4) 測定結果

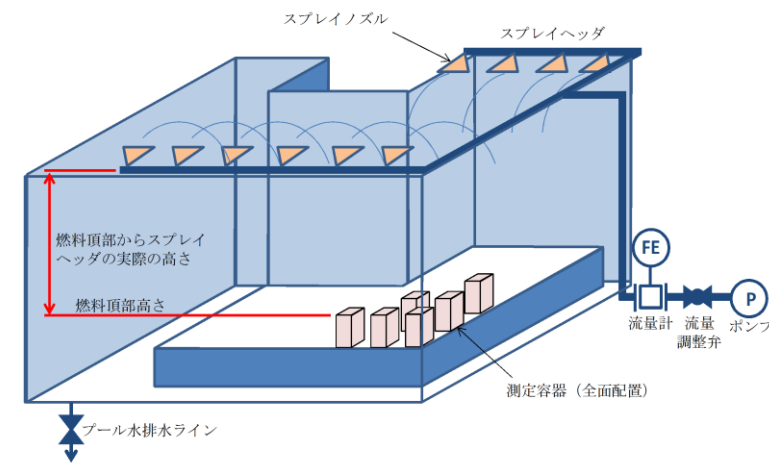
① Spray状態の確認

試験のSpray状態について、Spray前の状況を図8、Spray状態の状況を図9に示す。

図9のSpray状態から、Sprayヘッダの複数のノズルからのSpray水は互いに衝突等の干渉がなく、燃料域全体に広がることを確認した。



第6図 常設Sprayヘッダの放水範囲



第4図 試験設備概要図

(2) 測定条件

- ・ Spray時間 : 10分
- ・ 測定容器開口面積 : 167 mm×167 mm

(3) 判定基準

第2表 単位面積当たりの必要Spray流量

	単位面積当たりの必要Spray流量	必要Spray範囲
高温燃料域		2炉心以上の燃料
低温燃料域		すべての燃料

(4) 測定結果

① Spray状態の確認

試験のSpray状態について、Spray前の状況を第5図、Spray時の状況を第6図に示す。

第6図のSpray時の状況から、Sprayヘッダの複数のノズルからのSpray水は互いに衝突等による干渉がなく燃料域上部に均質に広がることを確認できる。



・ 設備の相違
【柏崎6/7】
設備の相違による試験装置の相違

・ 設備の相違
【柏崎6/7】
設備仕様の相違
・ 設備の相違
【柏崎6/7】
設備仕様の相違
・ 評価方法の相違
【東海第二】

添2.1.13-①の相違

・ 評価方法の相違
【東海第二】
添2.1.13-①の相違

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="172 268 902 726" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="388 789 676 829" data-label="Caption"> <p>図8 スプレイ前の状況</p> </div> <div data-bbox="172 1024 902 1488" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="201 1596 854 1633" data-label="Caption"> <p>図9 スプレイ状態の試験状況 (スプレイ量: 132m³/h)</p> </div> <div data-bbox="142 1774 540 1814" data-label="Section-Header"> <p>5. 必要スプレイ流量の測定結果</p> </div> <div data-bbox="142 1818 926 1900" data-label="Text"> <p>6号炉の実証試験結果を表3に, 7号炉の実証試験結果を表4に示す。</p> </div>		<div data-bbox="1792 224 2481 762" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1973 789 2303 829" data-label="Caption"> <p>第5図 スプレイ前の状況</p> </div> <div data-bbox="1792 993 2481 1562" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1780 1596 2436 1633" data-label="Caption"> <p>第6図 スプレイ時の試験状況(スプレイ量: 120m³/h)</p> </div> <div data-bbox="1745 1774 2169 1814" data-label="Section-Header"> <p>② 必要スプレイ流量の測定結果</p> </div> <div data-bbox="1792 1818 2190 1858" data-label="Text"> <p>実証試験結果を第3表に示す。</p> </div>	<div data-bbox="2513 789 2843 961" data-label="Text"> <p>・設備の相違 【柏崎 6/7】 設備の相違による試験装置の相違</p> </div> <div data-bbox="2513 1596 2843 1768" data-label="Text"> <p>・設備の相違 【柏崎 6/7】 設備の相違による試験装置の相違</p> </div>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																											
<p>6号及び7号炉ともに、単位面積当たりの必要スプレイ流量を満足する高温燃料域を2炉心以上確保し、全てのエリアに対し低温燃料域の単位面積当たりの必要スプレイ流量を満足することが可能である。</p> <p>また、必要スプレイ流量は、下記の範囲で上記単位面積当たりのスプレイ量を満足するスプレイ分布を一定に保つことが可能である。なお、7号炉のスプレイ分布と燃料配置を示す。</p> <p>・スプレイ流量：<u>2200～2450L/min (132～147m³/h)</u></p> <p><u>表3 スプレイ実証試験結果 (6号炉)</u></p> <table border="1" data-bbox="166 758 905 898"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位面積当たりの必要スプレイ流量</th> <th>必要スプレイ範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高温燃料域</td> <td></td> <td>2.36 炉心分</td> </tr> <tr> <td>低温燃料域</td> <td></td> <td>全燃料ラック</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>表4 スプレイ実証試験結果 (7号炉)</u></p> <table border="1" data-bbox="181 984 896 1125"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位面積当たりの必要スプレイ流量</th> <th>必要スプレイ範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高温燃料域</td> <td></td> <td>2.34 炉心分</td> </tr> <tr> <td>低温燃料域</td> <td></td> <td>全燃料ラック</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図10 スプレイ分布図及び燃料配置図 (7号炉の例)</p>		単位面積当たりの必要スプレイ流量	必要スプレイ範囲	高温燃料域		2.36 炉心分	低温燃料域		全燃料ラック		単位面積当たりの必要スプレイ流量	必要スプレイ範囲	高温燃料域		2.34 炉心分	低温燃料域		全燃料ラック		<p><u>単位面積当たりの必要スプレイ流量を満足する高温燃料域を2炉心以上確保し、すべてのエリアに対し低温燃料域の単位面積当たりの必要スプレイ流量を満足することが可能である。</u></p> <p><u>また、必要スプレイ流量は、下記の範囲で上記単位面積当たりのスプレイ量を満足するスプレイ分布を一定に保つことが可能である。なお、スプレイ分布と燃料配置図を第7図に示す。</u></p> <p>・スプレイ流量：<u>2,000L/min (120m³/h)</u></p> <p><u>第3表 スプレイ実証試験結果</u></p> <table border="1" data-bbox="1739 753 2496 861"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位面積当たりのスプレイ流量</th> <th>スプレイ範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高温燃料域</td> <td></td> <td>3.65 炉心分</td> </tr> <tr> <td>低温燃料域</td> <td></td> <td>全燃料ラック</td> </tr> </tbody> </table>  <p><u>第7図 燃料プールスプレイ系(常設スプレイヘッド)のスプレイ分布図及び燃料配置図</u></p>		単位面積当たりのスプレイ流量	スプレイ範囲	高温燃料域		3.65 炉心分	低温燃料域		全燃料ラック	<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の相違 【柏崎 6/7】 設備仕様の相違 ・設備の相違 【柏崎 6/7】 設備の相違によるスプレイ範囲の相違 ・設備の相違 【柏崎 6/7】 設備の相違によるスプレイ範囲の相違
	単位面積当たりの必要スプレイ流量	必要スプレイ範囲																												
高温燃料域		2.36 炉心分																												
低温燃料域		全燃料ラック																												
	単位面積当たりの必要スプレイ流量	必要スプレイ範囲																												
高温燃料域		2.34 炉心分																												
低温燃料域		全燃料ラック																												
	単位面積当たりのスプレイ流量	スプレイ範囲																												
高温燃料域		3.65 炉心分																												
低温燃料域		全燃料ラック																												